

結核ニ於ケル「アレルギー」ノ本態竝ニ免疫トノ 關係ニ關スル研究

第二報 「ツベルクリン・アレルギー」動物組織ノ「ツベルクリン」 親和性竝ニ之ニ及ボス諸種影響ニ就テ

(本論文ノ一部要旨ハ第 16 回日本結核病學會總會ニ於テ發表セリ)

九州帝國大學醫學部細菌學教室(主任 戸田教授)

大學院學生 醫學士 工藤友太郎

目 次

第一章 緒 言	第二節 實驗成績
第二章 實驗方法	第一項 血 清
(一) 供 試 獸	第二項 皮 膚
(二) 供 試 菌	第三項 各臟器
(三) 「ツベルクリン」	第三節 小 括
(四) 各海猿血清ノ「ツベルクリン」中和作用 有無試驗	第四章 非免疫性「ツベルクリン・アレルギー」海 猿及ビ非「アレルギー」性免疫海猿ノ血清 皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」中和性 又ハ親和性
(五) 皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和 性有無試驗	第一節 實驗記載
(六) 皮膚竝ニ各臟器ノ水浸出液ノ「ツベル クリン」中和性有無試驗	第二節 實驗成績
(七) 結核海猿ノ皮膚及ビ肝臟ノ「ツベルク リン」有效因子親和性有無試驗	第一項 血 清
(八) 成績判定法	第二項 皮 膚
(九) 「ツベルクリン」親和性ニ及ボス諸種影 響	第三項 各臟器
(イ) 乾燥トノ關係	第三節 小 括
(ロ) 屠殺後ノ時間的關係	第五章 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿ノ血 清、皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」中 和性又ハ親和性
(ハ) 熱トノ關係	第一節 實驗記載
(ニ) 補體トノ關係	第二節 實驗成績
(十) 脱感作結核海猿血清中「ツベルクリン」 親和作用阻止性抗體有無實驗	第一項 血 清
第三章 結核海猿及ビ健康海猿血清、皮膚竝ニ各 臟器ノ「ツベルクリン」中和性又ハ親和 性	第二項 皮 膚
第一節 實驗記載	第三項 各臟器
	第三節 小 括
	第六章 陰性「アレルギー」海猿ノ皮膚竝ニ各臟器 ノ「ツベルクリン」親和性

- 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第三節 小 括
- 第七章 結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第三節 小 括
- 第八章 非特異性「ツ、ア」海猿皮膚竝ニ肝臟ノ「ツベルクリン」親和性
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第三節 小 括
- 第九章 結核海猿及ビ健康海猿皮膚竝ニ肝臟ノ「ツベルクリン」有效因子親和性
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第三節 小 括
- 第十章 健康及ビ結核「マウス」皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第三節 小 括
- 第十一章 健康及ビ結核「ラッテ」皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第一項 皮膚
 第二項 各臟器
 第三節 小 括
- 第十二章 結核海猿皮膚及ビ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス乾燥ノ影響
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第三節 小 括
- 第十三章 屠殺後ノ時間的經過ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス影響
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第一項 屠殺後 24 時間
 第二項 屠殺後 1 時間
 第三項 屠殺後 2 時間
- 第四項 屠殺後 3 時間
 第五項 屠殺後 4 時間
 第六項 屠殺後 5 時間
 第七項 屠殺後 6 時間
 第八項 屠殺後 7 時間
- 第三節 小 括
- 第十四章 結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス熱ノ影響
 第一節 實驗記載
 第二節 實驗成績
 第一項 皮膚竝ニ各臟器ヲ 56°C 30 分間加熱セル場合
 第二項 皮膚竝ニ各臟器糜ト「ツベルクリン」トヲ混合シ 20 時間 37°C ニ保存後 56°C 30 分間加熱セル場合
 第三項 肝糜ヲ 0°C ニ 1 時間置キタル場合
 第四項 肝糜ヲ 40°C ニ 1 時間置キタル場合
 第五項 肝糜ヲ 42°C ニ 1 時間置キタル場合
 第六項 肝糜ヲ 45°C ニ 1 時間置キタル場合
 第七項 肝糜ヲ 50°C ニ 1 時間置キタル場合
 第八項 肝糜ト「ツベルクリン」混合 40°C 20 時間放置セル場合
- 第三節 小 括
- 第十五章 「ツベルクリン・アレルギー」動物組織ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス補體ノ影響
 第一節 56°C 30 分加熱及ビ乾燥後補體ヲ加ヘタル結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性
 第一項 實驗記載
 第二項 實驗成績
- 第二節 補體ヲ加ヘタル「屠殺後 24 時間經過後結核海猿」及ビ「脱感作海猿」皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性
 第一項 實驗記載
 第二項 實驗成績
- 第三節 補體ヲ加ヘタル結核「マウス」及ビ結核「ラッテ」皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性
 第一項 實驗記載
 第二項 實驗成績
- 第四節 結核海猿皮膚竝ニ肝臟糜中補體有無實

驗
第一項 實驗記載
第二項 實驗成績
第五節 小 括
第十六章 脱感作結核海猿血清中「ツベルクリン」 親和作用阻止性抗體有無實驗
第一節 實驗記載

第二節 實驗成績
第三節 小 括
第十七章 總 括
第十八章 考 按
第十九章 結 論
文 獻

第一章 緒 言

「アレルギー」疾患ニ於テ、血清中ニ「アレルギー」ノ作用ヲ減弱セシメル「レアギン」アリト云ヒ、此ノ現象ヲ「アレルギー」ノ中和作用デアルト名付ケタノハ W. Jadassohn⁽¹⁾ デアル。氏ハ蛔蟲ニ對スル「アレルギー」ヲ有スル患者ノ血清ト、ソノ「アレルギー」トヲ混ズルトキハ、ソノ「アンチゲン」ハ最早ヤ反應ヲ起スコトノ出來ヌコトヲ實驗シタ。ソレヨリ以前ニ Engwer⁽²⁾ ハ「トリコフィチン」患者ノ血清中ニ矢張り「アレルギー」ノ作用ヲ消失セシメル物質アルコトヲ報告シテキル。三澤氏⁽³⁾ ハ「アレルギー」喘息患者血清中ニモ「アレルギー」ヲ中和セシムル物質ノアルコトヲ實驗的ニ證明シテキル。

結核患者ニ「ツベルクリン」療法ヲ行フトキニハソノ血清中ニハ一種ノ抗體存在スルコトヲ證明シタノハ、E. Löwenstein u. M. Pickert⁽⁴⁾ デアル。即チ該血清ト「ツベルクリン」トヲ試験管内デ混合シ、之ヲ「ツベルクリン」反應陽性者ノ皮内ニ注射スルトキハ、反應が起ラヌコトヲ觀察シ、「ツベルクリン」ガ血清ニ依リ中和サレタノデアルト云ヒ、此ノ物質ヲ「アンチクチン」ト命名シタ。ソノ後 J. Citron⁽⁵⁾ ハ「ツベルクリン」療法ヲ行ヒシト否トニ拘ハラズ、又結核症ノ良不良トニ論ナク、ソノ血清中ニ「アンチクチン」アリト云ヒ、免疫ニ依リ生ジタルヤ否ヤ疑問デアルト云ツテキル。Bing u. Ellermann⁽⁶⁾ ハ健康者ノ血清ハ「ツベルクリン」反應ヲ抑制スル作用ヲ有シ、結核家兎ニ於テハ症狀ノ良不良トニ論ナク「アンチクチン」ヲ證明シ得ルト報ジテキル。Hamburger u. Monti⁽⁷⁾、White u.

Graham⁽⁸⁾ 等ハ結核小兒ニ「ツベルクリン」療法ヲ行フトキハ、ソノ血清中ニ多量ノ「アンチクチン」ガ產生サレルコトヲ認メテキル。W. Jadassohn⁽⁹⁾、W. Jadassohn u. H. Martenstein⁽¹⁰⁾ ハ健康者及ビ結核患者ノ血清ト舊「ツベルクリン」トヲ混合シテ、直後ニソノ 0.1 兎ヲ「ツベルクリン」反應陽性者ノ皮内ニ注射スルトキハ、「ツベルクリン」反應ヲ減弱スル作用が見ラレルガ、混合後 24 時間後ニ注射スルトキハ、返テソノ作用ハ増強サレルト云ヒ、之ハ「ツベルクリン」ガ血清中ノ抗體ニ依リ破壊サレタ爲デアルト述ベテキル。Römer u. V. Hofe⁽¹¹⁾ ハ豫後佳良ナル眼結核患者ノ血清ハ「ツベルクリン」ニ對シ、ソノ作用ヲ減弱シ、豫後不良ナル眼結核患者血清ハ、皮内ニ注射セル「ツベルクリン」作用ヲ變化セザルカ、又ハ増強スルト述ベテキル。吉澤⁽¹²⁾ ハ舊「ツベルクリン」ニ 3 倍量ノ飽和硫酸「アンモン」ヲ加ヘテ、皮内反應ヲ起スベキ物質ヲ沈澱セシメ、結核家兎及海猿ニ之ヲ數回注射スルトキハ、ソノ血清ト致死量ノ 4 倍ノ「ツベルクリン」トヲ混合シテ、結核家兎ニ注射スルモ死亡セズト云ヒ、之ハ「アンチクチン」ノ作用デアルト述ベテキル。貴島⁽¹³⁾ ハ舊「ツベルクリン」及ビ脱脂結核菌ヲ以テ適當ニ處置シ、陽性「アレルギー」化セル海猿ノ血清中ニハ、「アンチクチン」存在スルコトハ確カナルモ、結核動物及ビ健康動物ノ血清中ニモ少量乍ラ證明サレルト報告シテキル。本間⁽¹⁴⁾ ハ結核海猿ヲ舊「ツベルクリン」ヲ以テ脱感作シ、ソノ血清ト「ツベルクリン」トヲ混合シテ、結核海猿ノ皮下或ハ腹腔内ニ注射

スルモ、動物ハ死亡セザルコトヲ實驗シ、之ハ血清中ニ、「トキシン」ニ對スル「アンチトキシン」ト同様ニ、「アンチツベルクリン」ガ產生サレタ爲デアルト述ベテキル。

Eberson⁽¹⁵⁾, Eberson and Sweeney⁽¹⁶⁾ハ結核菌ニ依テ濾過性不安定ノ毒素ガ生ズルコトヲ記載シ、之ハ結核患者又ハ結核動物ニ一定ノ皮内反應ヲ起スコトヲ報告シタ。此ノ毒素ハ 70°C—73°Cニ1時間ニテ非動性トナル。コノ「トキシン」ヲ少量結核海狸ニ注射スルトキハ、定型ノ毒素症狀ガ起ル。更ニ此ノ「トキシン」ヲ反復山羊ニ注射スルトキハ、免疫抗毒血清ガ產生サレ該血清ハ毒素濾液ニ依ツテ生ズル皮内反應ヲ中和ヒシムル力ヲ保持シテキルガ、健常山羊血清或ハ家兎血清ニハカ、ルコトガ起ラヌト述ベテキル。結核動物ニ毒素濾液ヲ腹腔内ニ注射シテ起ル「アナフィラキシー」ハ、此ノ免疫山羊血清ニ依ツテ防グコトガ出來ルト報告シテキル。

一方 Kirch u. Spigiti⁽¹⁷⁾ハ多クノ結核患者ニ就テ研究セルガ、統一セル結果ヲ得ズト云ヒ、ソノ抗毒説ヲ疑ヒ、J. Sörgo⁽¹⁸⁾ハ血清中ニ「ツベルクリン」反應ヲ抑制セシムル物質ナシト述ベテキル。Moral u. Sarbadhikary⁽¹⁹⁾ハ Jadassohn⁽⁹⁾ノ觀察、即チ健康者及ビ結核患者血清ト「ツベルクリン」トヲ混合シ、24時間放置スルトキハ、「ツベルクリン」相當量ヨリモ作用強シト云フ點ニ對シテハ、之ヲ肯定シテキルガ、血清中ニ特異的抗體アリテ、「ツベルクリン」ヲ特異的ニ分解スル爲ニ「ツベルクリン」作用增強スルデアルト云フ點ニ對シテハ、「ツベルクリン」ト種々ノ蛋白體トヲ混合シテ、24時間放置スルモ矢張り、「ツベルクリン」反應增強スルコトヨリ、Jadassohnノ結論ハ根據ナキモノデアルト反駁シテキル。Schlegel⁽²⁰⁾ハ結核ノ形態及ビ輕重ト患者血清ト「ツベルクリン」トノ混合物ヲ皮内ニ注射セル際、該血清ニ對スル作用トノ間ニハ一定ノ關係ナシト云ヒ、豫後佳良ナル血清ハ規則正シク「ツベルクリン」作用ヲ減弱シ、重症例ノ血清ガ增強スル作用アリト云フ Römer u.

v. Hofe⁽¹¹⁾ノ説ニ對シ反對シテキル。H. J. Corper u. C. B. Vidal⁽²¹⁾ハ人間デモ動物デモ、免疫ノアルコトハ確實ナルモ、血清中ニ特異的抗體アリテ、「ツベルクリン」反應ヲ減弱セシムル作用ニ就テハ否定シテキルノデアル。

以上ハ血清ニ關スル諸家ノ説ナルモ、Fellner⁽²²⁾ハ「ヒルケー疹」ノ水泡液中ニハ「ツベルクリン」反應ヲ賦活スル物質アリト云ヒ、之ニ對シテ「プロクチン」ト名付ケタ。Martenstein u. Schapiro⁽²³⁾, Jadassohn⁽²⁴⁾ハ此ノ「プロクチン」説ニ贊成シ、Klemperer u. Peschic⁽²⁵⁾, Hoke u. Lang⁽²⁶⁾, Bessau u. Köhler⁽²⁷⁾ハ反對シテキル。Brieger u. Landau⁽²⁸⁾ハ結核患者ノ5個所ニ「ツベルクリン」皮内接種(0.002 疋)ヲ行ヒ、其ノ5個ノ水泡ヨリ1.0 疋ノ浸出液ヲ得、之ヲ1:50000ノ舊「ツベルクリン」ノ同量トヲ混合シ、ソノ0.1 疋ヲ他ノ5人ノ結核患者ノ皮内ニ注射シタル處、同一患者ノ血清ト舊「ツベルクリン」トヲ混合シテ注射セル場合ノ反應ハ、對照ノ舊「ツベルクリン」ノミノ場合ト殆ド差異ナキニ反シ、「ツベルクリン」及ビ水泡液ヲ注射セル局所ノ反應ハ甚シク減弱セルコトヲ認メ、「ツベルクリン」皮内接種ニヨリテ生ジタル浸出液中ニハ「アンチクチン」ガ存在スルト述ベテキル。

以上ノ如ク血清或ハ「ツベルクリン」疹中ノ水泡液中ニハ「アンチクチン」或ハ「プロクチン」アリトスル者ト反對スルモノトアツテ、決定サレテキナイデアル。

余ハ結核免疫ト「ツベルクリン・アレルギー」トノ關係ヲ研究中、「ツベルクリン・アレルギー」動物ノ血清中ニ「ツベルクリン」ノ作用ヲ減弱セシムル「アンチクチン」ノ如キ物質ガアルカ否カヲ見ント欲シ、更ニ皮膚竝ニ各臟器組織中ニ「ツベルクリン」作用ヲ減弱セシムル物質ノ有無ニ就テノ實驗ヲ企圖シタノデアル。皮膚ト「ツベルクリン」トノ關係ハ今日尙不明ノ點多キモ、密接ノ關係アルコトハ疑フコトガ出來ナイノデアル。血清ト「ツベルクリン」トノ關係ニ就テハ既ニ多數ノ研究發表アルガ、皮膚及ビ臟器組織

トノ關係ヲ研究シタモノハ無イカト思ヒ、實驗終了後文獻ヲ調査シタ處、本間⁽⁴⁾ハ結核海狸ニ「ツベルクリン」ヲ 147 日ニ亙リ、0.05 疋ヨリ大量 7.000 疋ニ至ル迄 20 數回ノ連續注射シタル海狸ノ肝糜ヲ作製シ、之ニ「ツベルクリン」ヲ加ハタモノヲ、他ノ結核海狸ニ皮下或ハ腹腔内注射スルトキハ、「ツベルクリン」ノミデハ死亡スルニ反シ、本實驗ニ於テハ生存ヲ續ケルコトヲ報告シテキル。然シ佐々氏ノ實驗ニ於テハ實驗例ノ少キコトト、結核海狸ニ注射スルモ全例生存シテ居ラスシ、又健康海狸ニ於テモ死亡シテキル等ノ點ヨリ、果シテ脱感作海狸ノ肝糜中ニ「ツベルクリン」作用ヲ中和セシメル抗體が存在シ居リタルヤ否ヤハ疑問デアル。若シ此ノ際肝糜加「ツ」ヲ濾過シ、ソノ濾液ニ就テ行ツタナラバ更ニ明瞭ニナツタコトト思ハレル。翌 1928 年 Königsfeld⁽⁵⁾ハ結核海狸ノ皮膚ヲ健康海狸ニ移植シタ後、10—20 倍ノ舊「ツベルクリン」ヲ接種シテ、24—48 時間後ノ反應ヲ檢シタル處陰性デアツタ。次ニ皮膚移植前ニ「ツベルクリン」ヲ接種シテ後、該局所ノ皮膚ヲ移植スルトキハ、「ツベルクリン」注射局所ハ移植後ニ於テ潮紅ノ増加スルヲ認メタ。第 2 ニ結核海狸ノ肝臓、腎臓及ビ淋巴腺ヲ細碎シ、之ニ同量ノ舊「ツベルクリン」ヲ混ジ、37°Cニ 24 時間保チ、之ヲ遠心沈澱シテ、ソノ上清ヲ結核海狸ノ皮膚ニ接種セシニ全く反應ヲ見ナカツタ。然シ健康海狸及ビ微毒患者ノ臟器乳劑ハ、此ノ現象無キコトヲ實證シ次ノ如ク結論シテキル。即チ結核海狸ノ「ツベ

ルクリン」反應ハ、主トシテソノ細胞變化ニ歸スバク、又ソノ一部分ハ體液ニ依ルコトヲ否定出來ナイ。即チ第 1 ノ實驗ニ於テ移植皮ハ陰性反應ヲ呈シ、移植前ニ「ツベルクリン」ヲ接種スルトキハ、移植後ニ於テソノ潮紅ヲ増加スルコトハ、ソノ反應ガ全く細胞ニノミ歸セズシテ結核病竈ヨリ產出スル或ル物質ガ體液ヲ介シ、「ツベルクリン」接種部位ニ達シ、「ツベルクリン」ト合シ茲ニ反應ヲ惹起スルモノデアルト云ツテキル。第 2 ノ實驗ハ結核病竈組織ト「ツベルクリン」トハ特異的ニ親和性ヲ有シ、試験管内ニ於テモ、ソノ性能ヲ發揮シ、結核組織細胞ニ「ツベルクリン」特異性ノ存在スルコトヲ推論シ得ト述ベテキル。

余ハ Königsfeld トハ別個ニ「ツベルクリン・アレルギー」動物組織ノ「ツベルクリン」親和性ニ就テ、實驗ヲ企圖シタル處、稍々見ルベキ成績ヲ得タル故、更ニ非「アレルギー」性結核免疫海狸或ハ非特異性「ツベルクリン・アレルギー」海狸、陰性「アレルギー」海狸或ハ天然結核免疫動物等ニ就テモ實驗ヲ試ミ、延イテ此ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス諸種影響ヲ檢シ、「ツベルクリン・アレルギー」ノ本態ノ一端ヲ窺知セントシタノデアアル。之ニ依リ結核免疫(狹義免疫即チ抵抗力)ト「ツベルクリン・アレルギー」トノ關係ヲ間接的ニ究明スバク本實驗ヲ進メタル處次ノ如キ成績ヲ得タル故此處ニ發表シ、諸先輩ノ叱正ヲ請ハントスルモノデアアル。

第二章 實驗方法

(一) 供試獸

300 瓦以上ノ成熟海狸 350 頭、15 瓦以上ノ成熟「マウス」及ビ 250 瓦内外ノ成熟「ラ、テ」各 9 頭ヲ實驗ニ供シタ。

(二) 供試菌

ペトラニアニ氏培地ニ 4 週間培養セル、教室保存ノ人型「フランクフルト」株結核菌、BCG 及ビソートン氏液體培地ニ 3 ケ月培養ノ人型 F 株結核菌ノ 100°C 1 時間加熱乾燥死菌ノ 3 種デアアル。

(三) 「ツベルクリン」

實驗ニ供シタ「ツベルクリン」ハ傳染病研究所製舊「ツベルクリン」及ビソートン氏無蛋白「ツベルクリン」ヲ 1/10ニ濃縮セルモノデアリ、「ツベルクリン」有效因子デアアル To-物質、Ha-物質竝ニ Np-物質ハ同僚村田氏ノ好意ニ依リ分讓サレタモノデアアル。

(四) 各海狸血清ノ「ツベルクリン」中和作用有無試驗

早朝空腹時ニ心臟穿刺ニ依リ採血、該血清ヲ以テ舊

「ツベルクリン」ヲ 20 倍ニ稀釋シ、37°C = 1 時間保チ 0.1 ㊦ヲ豫メ用意セル「ツベルクリン」反應陽性ノ結核海猿ノ皮内ニ注射スル。對照ニハ食鹽水ヲ以テ 20 倍ニ稀釋セル「ツベルクリン」ヲ用ヒ、48 時間後ノ發赤腫脹ヲ測定スルノテアル。

(五) 皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性有無試驗

海猿或ハ「マウス」、「ラット」ヲ固定シ脱毛シタ後、麻酔劑ヲ用ヒズニ側腹部ノ皮膚約 0.5 瓦切り取り縫合スル。切除皮膚ハ秤量後成可ク小サク刻ミ同量ノ金剛砂ト 20 倍ノ食鹽水ヲ加ヘ乍ラ、乳鉢内テ磨碎スルト灰白色ノ乳劑ガ出來ル。之ヲ以テ舊「ツベルクリン」ヲ 20 倍ノ割合ニ稀釋シ、20 時間 37°C = 放置シタ後遠心沈澱スル。上清ヲ更ニ「マーセン」型 S. B. 19 號ノ細菌濾過管ニテ濾過シ、濾液 0.1 ㊦ヲ結核海猿ノ皮内ニ注射シ、48 時間後ノ發赤腫脹ヲ精査スルノテアル。對照ニハ皮膚ヲ除イテ同様ノ處置ヲシタ「ツベルクリン」ヲ用ヒル。各臟器乳劑モ同様ニ處置シテ親和性ノ有無ヲ見ルノテアル。

(六) 皮膚竝ニ各臟器ノ水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性有無試驗

皮膚竝ニ各臟器乳劑ヲ 37°C = 1 時間放置シタル後、遠心沈澱シ上清ヲ更ニ細菌濾過管ニテ濾過シ、濾液ヲ以テ「ツベルクリン」ヲ 20 倍ノ割合ニ稀釋シタルモノ 0.1 ㊦ヲ結核動物ノ皮内ニ注射シ、48 時間ノ成績ヲ判定シタ。對照ニハ 20 倍ノ「ツベルクリン」食鹽水ヲ使用シタ。

(七) 結核海猿ノ皮膚及ビ肝臟ノ「ツベルクリン」有效因子親和性有無試驗

Ha-物質 30 ㊦、To-物質 6 ㊦、Np-物質 12 ㊦ヲ、皮膚及ビ肝臟乳劑 6.0 ㊦ニ溶解シ、20 時間 37°C = 放置後遠心沈澱シ、上清ヲ更ニ細菌濾過管ニテ濾過スル。濾液 0.1 ㊦ヲ結核海猿ノ皮内ニ注射シ、48 時間後ノ發赤度ヲ測定スルノテアル。對照ニハ食鹽水ニ溶解セルモノニ同様ノ處置ヲナシ最後ノ濾液ヲ使用シタ。

(八) 成績判定法

結核海猿ニ皮内注射セル後 48 時間目ノ發赤ガ、對照ヨリ 0.5 ㊦以下ニシテ、而モ 1.0 ㊦以上ナカツタ場合ニ中和性又ハ親和性陽性トシタノテアル。

(九) 「ツベルクリン」親和性ニ及ボス諸種影響

(イ) 乾燥トノ關係

結核海猿ノ皮膚竝ニ各臟器ヲ乳鉢内ニテ磨碎後乾燥

粉末トナシ、之レニ乾燥前重量ノ 20 倍ニ相當スル食鹽水ヲ加ヘテ乳劑トナシ、 $\frac{1}{20}$ ノ「ツベルクリン」ヲ加ヘタ後、20 時間 37°C = 放置シ、遠心沈澱後上清ヲ更ニ細菌濾過管ニテ濾過シ、濾液 0.1 ㊦ヲ結核海猿ノ皮内ニ注射スル。對照ニハ乾燥セザル皮膚竝ニ各臟器乳劑ヲ同様ニ處置セルモノト皮膚或ハ臟器ヲ加ヘズニ同様ニ處置セルモノヲ使用シタ。

(ロ) 屠殺後ノ時間的關係

結核海猿ヲ屠殺直後ヨリ時間ノ經過ニ從ヒ、皮膚乳劑ヲ作製シ、之レニ就テ「ツベルクリン」親和性ノ有無ヲ(五)ノ方法ニ從テ行ツタ。對照ニハ何レモ屠殺直後ニ作製セル皮膚乳劑ヲ用ヒタ。又皮膚ヲ加ヘズニ同様ノ處置ヲシタ「ツベルクリン」モ實驗ニ供シタ。

(ハ) 熱トノ關係

結核海猿皮膚乳劑ヲ 0°C, 40°C, 42°C, 45°C, 50°C = 1 時間加熱セル場合、56°C 30 分加熱セル場合及ビ「ツベルクリン」ト混合、37°C 20 時間放置後 56°C 30 分間加熱、ソノ後遠心沈澱上清ヲ細菌濾過管ニテ濾過セル濾液ニ就テ、親和性ノ有無ヲ實驗シタ。對照ニハ何レモ 37°C = 就テ行ツタモノヲ實驗ニ供シタ。加熱後ノ處置ハ前記ノ方法ト同一テアル。

(ニ) 補體トノ關係

「ツベルクリン」親和性陰性ノ海猿或ハ「マウス」、「ラット」等ノ皮膚竝ニ各臟器乳劑 5.2 ㊦ニ、健康海猿 3 頭ノ混合血清 0.5 ㊦及ビ舊「ツベルクリン」0.3 ㊦ヲ加ヘ良ク振盪シ 37°C = 20 時間放置後、遠心沈澱上清ヲ細菌濾過管ニテ濾過シ、濾液ニ就テ親和性ノ有無ヲ見タ。更ニ「ツベルクリン」親和性陽性海猿ノ皮膚及ビ肝臟乳劑中ニ補體ノ存在スルヤ否カラ檢シ、若シ存在セバ「ツベルクリン」ヲ加ヘテ 20 時間放置後、補體ガ減少スルカ否カラ檢査シテ、「ツベルクリン」親和作用ニ補體ガ必要ナルカドウカニ就テ實驗シタ。即チ最初ノ實驗ニヨリ「ツベルクリン」親和性ガ陽性トナレバ、組織性抗體ガ存在スルモ補體ガナイ爲ニ「ツベルクリン」親和性ガナキコトノ證明トナリ、陰性ナレバ組織性抗體ガ無イ爲ニ補體ヲ加ヘテモ「ツベルクリン」親和性ガ起ラヌコトノ證明トナル。第二ノ實驗ハ「ツベルクリン」親和作用ニハ、組織性抗體ト「ツベルクリン」ノミガ必要デ、補體ガ關與セズトモ反應スルコトノ證明トナル。何レモ溶血系ヲ以テ補體ノ有無ヲ檢査シタ。

(十) 脱感作結核海猿血清中「ツベルクリン」親和作用阻止性抗體有無實驗

人型 F 株結核菌 1.0 疋感染後 1 ヶ月経過セル結核海瘻ニ就テ「ツ」皮内反應ヲ檢シ、ソノ皮膚竝ニ肝臟 0.5 瓦ニ食鹽水 8.0 疋、脱感作結核海瘻血清 1.0 疋ヲ加ヘテ成可ク平等ナ乳糜ヲ調製スル。ソノ 5.7 疋ニ舊「ツベルクリン」0.3 疋混和後 37°C 20 時間放置後遠心沈

澱、上清ヲ細菌濾過管ニテ濾過、濾液 0.1 疋ヲ皮内反應用結核海瘻ノ皮内ニ注射スル。對照ニハ血清ヲ加ヘザルモノ及ビ皮膚竝ニ肝臟ヲ加ヘズニ同様ノ處置ヲナセル「ツベルクリン」ヲ使用スル。

第三章 結核海瘻及ビ健康海瘻血清、皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」

中和性又ハ親和性

第一節 實驗記載

5 頭ノ健康海瘻ニ人型 F 株結核菌 1.0 疋ヲ左下腹部皮下ニ接種シ、3 週間後ニ 10% 舊「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ヒ、陽性ナルコトヲ確カメタ後各海瘻ノ血清ニ就テ「ツベルクリン」中和性有無試驗ヲ行ツタ。又 5 頭ノ健康海瘻ノ血清ニ就テモ同様ノ試驗ヲ行ツタノデアル。即チ豫メ用意セル結核海瘻 15 頭ノ側腹部ヲ成ルベク廣

ク缺毛シ、前記 5 頭ノ結核海瘻血清及ビ 5 頭ノ健康海瘻血清ヲ加ヘタル「ツベルクリン」0.1 疋及ビ對照「ツベルクリン」ヲ 3 ヶ所ニ皮内注射シ 48 時間後ノ發赤腫脹ヲ測定シタノデアル。次ニ各海瘻ノ皮膚竝ニ各臟器ニ就テ「ツベルクリン」親和性ノ有無ヲ見タ處、次ノ如キ實驗成績ヲ得タ。

第二節 實驗成績

第一項 血清

第 1 表ガ本項ノ實驗成績デアル。5 頭ノ結核海瘻及ビ健康海瘻ノ血清ハ何レモ「ツベルクリン」作用ヲ減弱又ハ増強スルガ如キ作用ヲ認めナイノデアル。即チ「アンチクチン」又ハ「プロクチン」ノ如キ物質ヲ證明スルコトガ出來ナカツタ。

第二項 皮膚

第 2 表ガ本項ノ實驗成績デアル。5 頭ノ結核海瘻ノ皮膚ニハ「ツベルクリン」反應ヲ著シク減弱セシムル處ノ作用、即チ「ツベルクリン」親和性が著明ニ證明サレルニ反シ、健康海瘻ノ皮膚ニハカ、ル作用ヲ認ムルコトガ出來ナイ。結核海

瘻ノ皮膚乳劑ヲ加ヘタル「ツベルクリン」ノ反應ハ何レモ 1.0 種以下デアリ、0.5—1.2 種對照ヨリモ小デアルガ、健康海瘻ノ皮膚乳劑ヲ加ヘタ處ノ「ツベルクリン」ニ於テハ殆ド對照ト變リガナイノデアル。

第三項 各臟器

肺臟、肝臟、脾臟、腎臟、心臟、筋肉、腸、子宮、腦ニ關スル實驗成績ハ夫々第 3 表ヨリ第 11 表ニ記載シテアル如ク、結核海瘻ノ各臟器ハ何レモ「ツベルクリン」親和性ヲ認ムルモ、健康海瘻ニ於テハ證明スルコトガ出來ナカツタ。

第三節 小 括

結核海瘻及ビ健康海瘻ノ血清ハ「ツベルクリン」ヲ中和シテ、ソノ作用ヲ減弱スル「アンクチン」又ハ増強スル「プロクチン」ノ如キ物質ヲ含有シ

テキナイ。之レニ反シ結核海瘻ノ皮膚竝ニ各臟器ハ「ツベルクリン」親和性強キモ、健康海瘻ノソレニハカ、ル性質ヲ認めナイ。

第 1 表 結核海猿及ヒ健常海猿血清ト舊「ツベルクリン」トノ中和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル中和性試驗								
				R	I	皮内反應番號	結核海猿血清			健常海猿血清			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	101	0.8×0.8	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.7×0.7	
					102	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
健常	51♀	340	-	-	103	0.7×0.7	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8	-	0.8×0.8	0.5×0.5	
					104	0.8×0.8	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
結核	2♀	310	1.5×1.5	1.5×1.5	105	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.7×1.7	1.5×1.5	
					106	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.6×1.6	
健常	52♀	360	-	-	107	1.6×1.6	1.2×1.2	-	2.0×2.0	1.6×1.6	-	1.8×1.8	1.6×1.6	
					108	1.8×1.8	1.5×1.5	-	2.0×2.0	1.8×1.8	-	1.7×1.7	1.5×1.5	
結核	3♀	380	2.3×2.3	2.0×2.0	109	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.5×1.6	1.0×1.2	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
					110	1.0×1.0	0.8×0.8	-	0.9×0.8	0.6×0.5	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
健常	53♀	300	-	-	111	0.9×0.9	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.6×0.6	-	1.0×1.0	0.6×0.6	
					112	1.7×1.5	1.2×1.3	-	1.8×1.8	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.0×1.0	
結核	4♀	345	2.5×2.5	2.0×2.0	113	2.5×2.5	2.0×2.0	-	2.3×2.4	2.0×2.0	-	2.4×2.4	2.0×2.0	
					114	3.0×3.0	2.5×2.5	-	2.8×2.8	2.5×2.5	-	2.5×2.5	2.0×2.0	
健常	54♀	370	-	-	115	2.0×2.0	1.5×1.5	-	2.0×2.0	1.5×1.5	-	2.0×2.0	1.8×1.8	
					116	3.0×3.0	2.5×2.5	-	2.8×2.8	2.5×2.5	-	2.5×2.5	2.0×2.0	

備考 表中 R=發赤 I=硬結ヲ示ス 以下之ニ準ズ 皮内反應ノ單位ハ種ヲ示ス

第 2 表 結核海猿及ヒ健常海猿皮膚ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮内反應番號	結核海猿皮膚			健常海猿皮膚			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	116	0.4×0.4	-	+	1.4×1.4	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.0×1.0	
					117	0.4×0.3	-	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
健常	51♀	340	-	-	118	0.2×0.2	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.1×1.1	0.8×0.8	
					119	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.0×1.0	0.8×0.8	+	1.7×1.7	1.5×1.5	
結核	2♀	310	1.5×1.5	1.2×1.2	120	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
					121	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.5×1.5	1.3×1.3	
健常	52♀	360	-	-	122	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	0.8×0.8	
					123	0.2×0.2	-	+	0.8×0.8	0.5×0.5	-	0.7×0.7	0.4×0.4	
結核	3♀	380	2.3×2.3	2.0×2.0	124	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
					125	0.4×0.4	-	+	1.6×1.6	1.3×1.3	-	1.5×1.5	1.0×1.0	
健常	53♀	300	-	-	126	0.4×0.3	-	+	1.0×1.0	0.7×0.7	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
					127	0.7×0.7	0.3×0.3	+	1.4×1.4	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
結核	4♀	345	2.5×2.5	2.0×2.0	128	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					129	0.4×0.4	-	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
健常	54♀	370	-	-	130	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.5×1.5	1.0×1.0	-	1.7×1.7	1.5×1.5	
					131	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.5×1.5	1.0×1.0	-	1.7×1.7	1.5×1.5	

第 3 表 結核海猿及ヒ健常海猿肺臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮内海猿反應番號	結核海猿肺臟			健常海猿肺臟			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	131	0.5×0.5	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0
					132	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.6×1.6	1.2×1.2
					133	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
健常	51♀	340	—	—	158	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.1×1.1	0.9×0.9
					159	—	—	+	1.2×1.2	0.8×0.8	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					160	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7
結核	3♀	390	2.3×2.3	2.0×2.0	185	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2
					186	0.3×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.8×0.8	0.5×0.5
					187	0.2×0.4	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0
健常	53♀	310	—	—	212	—	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					213	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					214	—	—	+	1.2×1.2	0.8×0.8	—	1.5×1.5	1.0×1.0
結核	4♀	330	2.5×2.5	2.0×2.0	212	—	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					213	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					214	—	—	+	1.2×1.2	0.8×0.8	—	1.5×1.5	1.0×1.0
健常	54♀	360	—	—	239	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5
					240	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.8×1.8	1.5×1.5
					241	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0

第 4 表 結核海猿及ヒ健常海猿肝臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮内海猿反應番號	結核海猿肝臟			健常海猿肝臟			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	134	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.2×1.2
					135	—	—	+	2.0×2.0	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5
					136	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
健常	51♀	340	—	—	161	0.3×0.4	—	+	0.9×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.8×0.8
					162	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.0×1.0
					163	—	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.2×1.2
結核	3♀	390	2.3×2.3	2.0×2.0	188	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					189	0.3×0.3	—	+	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					190	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.7×1.7	1.3×1.3
健常	53♀	310	—	—	215	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.5×0.5
					216	—	—	+	1.7×1.7	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2
					217	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	0.8×0.8	—	1.3×1.3	1.0×1.0
結核	4♀	330	2.5×2.5	2.0×2.0	242	0.2×0.2	—	+	1.7×1.5	1.5×1.3	—	2.0×2.0	1.5×1.5
					243	—	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
					244	—	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.2×1.2
健常	54♀	360	—	—	242	0.2×0.2	—	+	1.7×1.5	1.5×1.3	—	2.0×2.0	1.5×1.5
					243	—	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
					244	—	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.2×1.2

第 5 表 結核海猿及ビ健全海猿脾臓ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮内反應番號	結核海猿脾臓			健全海猿脾臓			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	137	—	—	+	0.7×0.7	0.4×0.4	—	1.0×1.0	0.5×0.5
					138	—	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.5×0.5
					139	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.5×0.5	—	1.2×1.2	1.0×1.0
健全	51♀	340	—	—	164	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					165	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.2×1.2	1.0×1.0
					166	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.8	1.4×1.5
結核	2♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	191	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0
					192	0.2×0.3	—	+	1.3×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2
					193	0.3×0.2	—	+	1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
健全	53♀	310	—	—	218	0.2×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					219	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.4×1.4
					220	0.4×0.3	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5
結核	4♀	330	2.5×2.5	2.0×2.0	245	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.5×1.5
					246	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.7×0.7	—	1.2×1.2	1.0×1.0
					247	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.6×1.6	1.2×1.2
健全	55♀	360	—	—	194	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					195	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.8×0.8	0.5×0.5
					196	—	—	+	1.0×1.0	0.6×0.6	—	1.2×1.2	1.0×1.0
結核	3♀	390	2.3×2.3	2.0×2.0	221	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					222	—	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					223	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.6×0.6	—	1.2×1.2	0.8×0.8
健全	54♀	360	—	—	248	0.3×0.2	—	+	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.5×1.5	1.0×1.0
					249	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2
					250	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0

第 6 表 結核海猿及ビ健全海猿腎臓ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮内反應番號	結核海猿腎臓			健全海猿腎臓			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	140	—	—	+	1.0×1.0	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.6×0.6
					141	—	—	+	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.2×1.2	1.0×1.0
					142	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.8×0.8	0.5×0.5
健全	51♀	340	—	—	167	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.7×0.7	—	1.0×1.0	0.8×0.8
					168	—	—	+	0.9×0.9	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					169	—	—	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.0×1.0
結核	2♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	194	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					195	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.8×0.8	0.5×0.5
					196	—	—	+	1.0×1.0	0.6×0.6	—	1.2×1.2	1.0×1.0
健全	52♀	370	—	—	221	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					222	—	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					223	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.6×0.6	—	1.2×1.2	0.8×0.8
結核	3♀	390	2.3×2.3	2.0×2.0	248	0.3×0.2	—	+	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.5×1.5	1.0×1.0
					249	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2
					250	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0
健全	53♀	310	—	—	194	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					195	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.8×0.8	0.5×0.5
					196	—	—	+	1.0×1.0	0.6×0.6	—	1.2×1.2	1.0×1.0
結核	4♀	330	2.5×2.5	2.0×2.0	221	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					222	—	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					223	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.6×0.6	—	1.2×1.2	0.8×0.8
健全	54♀	360	—	—	248	0.3×0.2	—	+	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.5×1.5	1.0×1.0
					249	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2
					250	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0

第 7 表 結核海狸及ビ健常海狸心臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海狸種類	海狸番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮海狸反應用番號	結核海狸心臟			健常海狸心臟			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	143	0.3×0.3	—	+	1.7×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					144	0.3×0.2	—	+	2.0×2.0	1.6×1.6	—	1.8×1.8	1.5×1.5	
					145	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.2×1.2	
健常	51♀	340	—	—	170	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	
					171	—	—	+	1.0×1.0	0.5×0.5	—	1.1×1.1	0.8×0.8	
					172	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.8	1.5×1.6	—	1.8×1.8	1.5×1.5	
結核	2♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	197	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					198	0.3×0.3	—	+	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.6×1.6	1.3×1.3	
					199	0.6×0.6	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.6×1.6	—	2.2×2.2	2.0×2.0	
健常	52♀	370	—	—	224	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.6×0.6	
					225	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					226	0.2×0.2	—	+	1.0×1.3	0.8×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0	
結核	3♀	390	2.3×2.3	2.0×2.0	251	—	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
					252	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8	
					253	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
健常	53♀	310	—	—	227	0.2×0.2	—	+	1.9×1.8	1.5×1.5	—	1.6×1.7	1.3×1.4	
					228	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.0	1.0×0.8	
					229	0.4×0.3	0.2×0.2	+	2.0×2.0	1.7×1.7	—	1.8×1.8	1.5×1.5	
結核	4♀	330	2.5×2.5	2.0×2.0	200	—	—	+	1.0×1.0	0.7×0.7	—	1.0×1.0	0.6×0.6	
					201	—	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.8×0.8	
					202	0.4×0.3	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.5	1.5×1.2	
健常	54♀	360	—	—	254	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.4	1.0×1.1	
					255	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	
					256	—	—	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.7×1.5	1.4×1.2	

第 8 表 結核海狸及ビ健常海狸筋肉ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海狸種類	海狸番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮海狸反應用番號	結核海狸筋肉			健常海狸筋肉			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	146	0.4×0.4	0.2×0.2	+	2.2×2.0	1.6×1.5	—	2.0×2.0	1.5×1.5	
					147	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.5×1.6	1.2×1.4	—	1.6×1.6	1.3×1.3	
					148	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
健常	51♀	340	—	—	173	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0	
					174	0.6×0.5	0.3×0.2	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×1.8	1.8×1.5	
					175	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	0.8×0.8	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
結核	2♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	200	—	—	+	1.0×1.0	0.7×0.7	—	1.0×1.0	0.6×0.6	
					201	—	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.8×0.8	
					202	0.4×0.3	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.5	1.5×1.2	
健常	52♀	370	—	—	254	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.4	1.0×1.1	
					255	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	
					256	—	—	+	1.5×1.5	1.0×1.0	—	1.7×1.5	1.4×1.2	

第 9 表 結核海猿及ビ健常海猿腸ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内反應番號	皮内反應 = 依ル親和性試驗														
			R	I		結核海猿腸			健常海猿腸			對照								
						R	I	成績	R	I	成績	R	I							
結核	核 1♀	320	2.0	2.0	1.6	149	0.2	0.2	—	+	1.6	1.6	1.4	—	1.5	1.5	1.2	1.2		
							150	0.3	0.3	—	+	1.3	1.3	1.0	1.0	—	1.4	1.4	1.1	1.1
健常	常 51♀	340	—	—	—	151	0.3	0.3	—	+	1.2	1.3	1.0	1.0	—	1.3	1.3	1.0	1.0	
							176	0.5	0.4	0.2	0.2	+	1.5	1.5	1.2	1.2	—	1.5	1.5	1.3
結核	核 2♀	320	1.5	1.5	1.2	177	0.3	0.3	—	+	1.0	1.0	0.8	0.8	—	1.2	1.2	1.0	1.0	
							178	0.6	0.6	0.4	0.4	+	2.0	2.0	1.7	1.7	—	1.8	1.8	1.5
健常	常 52♀	370	—	—	—	203	0.7	0.6	0.4	0.3	+	2.5	2.5	2.0	2.0	—	2.3	2.3	2.0	2.0
							204	0.5	0.4	0.3	0.2	+	1.5	1.5	1.2	1.2	—	1.8	1.8	1.5
結核	核 3♀	390	2.3	2.3	2.0	205	0.4	0.3	0.2	0.2	+	1.7	1.7	1.5	1.5	—	1.6	1.6	1.3	1.3
							230	—	—	—	+	1.0	1.0	0.8	0.8	—	1.2	1.2	1.0	1.0
健常	常 54♀	360	—	—	—	231	0.2	0.2	—	+	1.5	1.5	1.2	1.2	—	1.4	1.3	1.2	1.1	
							232	0.3	0.3	—	+	1.2	1.2	1.0	1.0	—	1.3	1.3	1.0	1.0
結核	核 4♀	330	2.5	2.5	2.0	257	0.4	0.2	—	+	1.5	1.3	1.2	1.0	—	1.7	1.7	1.4	1.4	
							258	—	—	—	+	1.3	1.2	1.0	1.0	—	1.0	1.0	0.8	0.8
健常	常 55♀	360	—	—	—	259	0.3	0.2	—	+	1.4	1.4	1.0	1.0	—	1.3	1.3	1.0	1.0	

第 10 表 結核海猿及ビ健常海猿子宮ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内反應番號	皮内反應 = 依ル親和性試驗														
			R	I		結核海猿子宮			健常海猿子宮			對照								
						R	I	成績	R	I	成績	R	I							
結核	核 1♀	320	2.0	2.0	1.6	152	0.3	0.2	—	+	1.2	1.2	1.0	1.0	—	1.0	1.0	0.8	0.8	
							153	0.2	0.2	—	+	1.5	1.5	1.2	1.2	—	1.6	1.6	1.3	1.3
健常	常 51♀	340	—	—	—	151	0.2	0.3	—	+	1.0	1.0	0.7	0.7	—	1.2	1.2	1.0	1.0	
							179	0.3	0.3	—	+	1.0	1.0	0.8	0.8	—	1.3	1.3	1.0	1.0
結核	核 2♀	320	1.5	1.5	1.2	180	—	—	—	+	1.5	1.5	1.3	1.3	—	1.3	1.3	1.0	1.0	
							181	0.5	0.4	0.3	0.2	+	2.0	2.0	1.6	1.6	—	1.8	1.8	1.5
健常	常 52♀	370	—	—	—	206	0.3	0.3	—	+	1.3	1.3	1.0	1.0	—	1.7	1.7	1.4	1.4	
							207	0.5	0.5	0.3	0.3	+	1.8	1.8	1.5	1.5	—	1.5	1.5	1.2
結核	核 3♀	390	2.3	2.3	2.0	208	0.4	0.3	0.2	0.2	+	1.7	1.7	1.5	1.5	—	1.5	1.5	1.2	1.2
							233	0.2	0.2	—	+	1.0	1.0	0.7	0.7	—	1.2	1.2	1.0	1.0
健常	常 53♀	310	—	—	—	231	0.2	0.4	—	+	1.3	1.3	1.0	1.0	—	1.5	1.5	1.2	1.2	
							235	0.3	0.3	—	+	1.5	1.5	1.2	1.2	—	1.6	1.6	1.3	1.3
結核	核 4♀	330	2.5	2.5	2.0	260	0.3	0.3	—	+	1.2	1.2	1.0	1.0	—	1.0	1.0	0.8	0.8	
							261	0.4	0.5	0.2	0.3	+	1.5	1.5	1.3	1.3	—	1.4	1.4	1.2
健常	常 54♀	360	—	—	—	262	0.3	0.2	—	+	1.6	1.6	1.3	1.3	—	1.5	1.5	1.3	1.3	

第 11 表 結核海猿及ビ健康海猿腦ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	實驗時體重(式)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
			R	I	皮内海猿反應番號	結核海猿腦			健康海猿腦			對照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核	1♀	320	2.0×2.0	1.6×1.6	155	0.2×0.2	--	+1.0×1.0	0.7×0.7	-1.0×1.0	0.8×0.8		
						156	0.5×0.5	0.3×0.3	+2.0×2.0	1.6×1.6	-1.8×1.8	1.5×1.5	
健康	51♀	340	--	--	157	0.3×0.3	--	+1.5×1.5	1.2×1.2	-1.4×1.4	1.2×1.2		
結核	2♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	182	0.1×0.1	--	+1.4×1.4	1.2×1.2	-1.5×1.5	1.3×1.3		
						183	0.5×0.5	0.3×0.3	+1.8×1.8	1.6×1.6	-1.7×1.7	1.5×1.5	
健康	52♀	370	--	--	184	0.4×0.4	--	+1.7×1.7	1.5×1.5	-1.6×1.6	1.3×1.3		
結核	3♀	390	2.3×2.3	2.0×2.0	209	0.5×0.5	0.3×0.3	+1.9×1.9	1.5×1.5	-1.5×1.5	1.3×1.3		
						210	0.3×0.3	--	+2.0×2.0	1.8×1.8	-2.1×2.1	1.5×1.5	
健康	53♀	310	--	--	211	--	--	+1.2×1.2	1.0×1.0	-1.3×1.3	1.0×1.0		
結核	4♀	330	2.5×2.5	2.0×2.0	236	--	--	+1.0×1.0	0.8×0.8	-1.2×1.2	1.0×1.0		
						237	0.3×0.3	--	+1.3×1.3	1.0×1.0	-1.5×1.5	1.2×1.2	
健康	54♀	360	--	--	238	0.2×0.2	--	+1.3×1.3	1.0×1.0	-1.4×1.4	1.2×1.2		
結核	5♀	380	3.0×3.0	2.5×2.5	263	0.3×0.3	--	+1.3×1.3	1.0×1.0	-1.4×1.4	1.2×1.2		
						264	0.5×0.5	0.2×0.2	+1.6×1.6	1.3×1.3	-1.5×1.5	1.3×1.3	
健康	55♀	360	--	--	265	0.3×0.3	--	+1.4×1.4	1.0×1.0	-1.3×1.3	1.0×1.0		

第四章 非免疫性「ツベルクリン・アレルギー」海猿及ビ非「アレルギー」性免疫海猿ノ血清、皮膚竝ニ各臓器ノ「ツベルクリン」中和性又ハ親和性

第一節 實驗記載

余ハ先ニ人型 F 株加熱乾燥死菌 1.0 疋及ビ流動「バラフィン」ヲ海猿ノ皮下ニ注射スルトキハ「ツベルクリン・アレルギー」(以後「ツ・ア」ト記載ス)著明ニ發現スルモ結核免疫無ク、同死菌ヲ多量ニ靜脈内ニ接種スルトキハ「ツ・ア」無キニ拘ハラズ結核免疫アルコトヲ記載シタ。依テ此ノ二種ノ海猿各 5 頭宛ヲ用意シ、之レニ就テ血清、皮膚竝ニ各臓器ニ就キ「ツベルクリン」中和作用又ハ親和性ノ有無ニ就キ實驗シタノデア

ル。即チ 5 頭ノ健康海猿ノ皮下ニ人型 F 株加熱乾燥死菌 1.0 疋及ビ流動「バラフィン」1.0 疋ヲ注射シ、他ノ 5 頭ノ健康海猿ノ靜脈内ニハ同死菌 4 疋毎ニ 1.0、2.0、3.0、4.0 疋ヲ注射シタ。前者ヲ「アレルギー」海猿、後者ヲ非「アレルギー」性免疫海猿ト假稱スルコトニシタ。何レモ處置完了後 10 日毎ニ 10% 舊「ツベルクリン」皮内反應ヲ檢査シ、ソノ後本實驗ヲ行ツタ。

第二節 實驗成績

第一項 血清

第 12 表ガ本項ノ實驗成績デア。兩者共ニ「ツ

ベルクリン」中和作用又ハ增強作用ヲ認メナイノデア。

第 12 表 非免疫性「ツベルクリン・アレルギー」海猿及ヒ非「アレルギー」性免疫海猿血清ノ「ツベルクリン」中和性有無試験成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル中和性試験						
				R	I	皮海猿反應番號	「アレルギー」海猿血清		非「アレルギー」性免疫海猿血清		對照	
							R	I	成績	R	I	成績
「アレルギー」海猿	6♀	380	1.2×1.21.0×1.0	266	1.5×1.51.0×1.0	—	1.3×1.31.0×1.0	—	1.5×1.51.2×1.2	—	—	
非「アレルギー」性免疫海猿	56♀	390	—	—	267	1.2×1.21.0×1.0	—	1.2×1.21.0×1.0	—	1.3×1.41.0×1.2	—	
「アレルギー」海猿	7♀	400	1.5×1.51.2×1.2	269	1.3×1.31.0×1.0	—	1.0×1.00.8×0.8	—	1.3×1.31.0×1.0	—	—	
非「アレルギー」性免疫海猿	57♀	410	—	—	270	1.4×1.41.2×1.2	—	1.4×1.41.0×1.0	—	1.2×1.21.0×1.0	—	
「アレルギー」海猿	8♀	370	1.3×1.31.0×1.0	272	1.3×1.31.0×1.0	—	1.2×1.21.0×1.0	—	1.3×1.31.0×1.0	—	—	
非「アレルギー」性免疫海猿	58♀	400	—	—	273	1.2×1.21.0×1.0	—	1.0×1.00.8×0.8	—	1.1×1.10.9×0.9	—	
「アレルギー」海猿	9♀	420	1.5×1.51.3×1.3	275	1.5×1.51.3×1.3	—	1.7×1.71.5×1.5	—	1.8×1.81.5×1.5	—	—	
非「アレルギー」性免疫海猿	59♀	410	—	—	276	1.1×1.11.0×1.0	—	1.0×1.00.8×0.8	—	1.2×1.21.0×1.0	—	
「アレルギー」海猿	10♀	430	1.4×1.41.2×1.2	278	0.8×0.80.5×0.5	—	1.0×1.00.8×0.8	—	0.8×0.80.5×0.5	—	—	
非「アレルギー」性免疫海猿	60♀	360	—	—	279	1.2×1.21.0×1.0	—	1.3×1.31.0×1.0	—	1.5×1.51.2×1.2	—	
					280	1.3×1.31.0×1.0	—	1.5×1.51.2×1.2	—	1.2×1.21.0×1.0	—	

第二項 皮膚

第 13 表が本項ノ實驗成績デアル。「アレルギー」海猿ノ皮膚ハ「ツベルクリン」親和性アルモ、非「アレルギー」性免疫海猿ノ皮膚ハ對照ト何等變リガナイ。即チ「アレルギー」海猿ノ皮膚乳劑ト「ツベルクリン」トヲ混合スレバ、20 時間後ニハ「ツベルクリン」ガ皮膚ニ親和スル爲ニソノ濾過液ヲ結核海猿ノ皮内ニ注射スルモ無反應カ、現ハレテモ極ク輕微ナルニ反シ、非「アレルギー」性海猿ニ於テハカ、ル作用ナク對照ト大差ガナイ。此處ニ於テ「ツ」親和作用ト「ツ・ア」トハ密

接ノ關係ガアルガ、免疫トハ無關係ノ様ニ推論サレルノデアル。

第三項 各臟器

第 14 表ヨリ第 22 表迄ハ「アレルギー」海猿ト非「アレルギー」性免疫海猿ノ肺、肝、脾、腎、心、筋肉、腸、子宮及ヒ腦ニ關スル實驗成績デアル。皮膚ト同様ニ「アレルギー」海猿ノ各臟器ハ著明ノ「ツベルクリン」親和作用アルモ、非「アレルギー」性免疫海猿ニ於テハカ、ル作用ハ毫モ認メラレナイノデアル。

第三節 小 括

「ツベルクリン・アレルギー」(「ツ・ア」ト稱ス)海猿及ヒ非「ツ・ア」性免疫海猿ノ血清ニハ「ツベルクリン」中和作用或ハ增強作用ナキモ、「ツ・ア」陽性海猿ノ皮膚並ニ各臟器ニハ「ツベルクリン」

親和作用著明ニ認メラレル。併シ非「ツ・ア」性免疫海猿ノ皮膚並ニ各臟器ニハカ、ル作用ヲ證明スルコトハ出来ナイ。

第 15 表 「アレルギー」及ビ免疫海猿肝臓ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験								
				R	I	皮内海猿肝臓反應番號	「アレルギー」海猿肝臓			非「アレルギー」性免疫海猿肝臓			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
「アレルギー」海猿	6♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	299	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
					300	-	-	+	1.6×1.6	1.3×1.3	-	1.7×1.7	1.5×1.5	
					301	-	-	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	56♀	390	-	-	326	0.2×0.2	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
					327	0.3×0.3	-	+	1.4×1.4	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
					328	0.4×0.2	-	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.4×1.5	1.2×1.3	
「アレルギー」海猿	7♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	353	0.3×0.2	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.4	1.2×1.2	
					354	-	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
					355	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	57♀	410	-	-	380	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					381	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					382	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
「アレルギー」海猿	8♀	370	1.3×1.3	1.0×1.0	407	-	-	+	1.5×1.5	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
					408	0.5×0.6	0.2×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.6×1.6	1.2×1.2	
					409	0.3×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	58♀	400	-	-	380	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					381	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					382	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
「アレルギー」海猿	9♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	407	-	-	+	1.5×1.5	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
					408	0.5×0.6	0.2×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.6×1.6	1.2×1.2	
					409	0.3×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	59♀	410	-	-	380	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					381	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					382	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
「アレルギー」海猿	10♀	430	1.4×1.4	1.2×1.2	407	-	-	+	1.5×1.5	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
					408	0.5×0.6	0.2×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.6×1.6	1.2×1.2	
					409	0.3×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.4×1.4	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	60♀	360	-	-	380	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					381	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					382	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	

第 16 表 「アレルギー」及ビ免疫海猿脾臓ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験								
				R	I	皮内海猿脾臓反應番號	「アレルギー」海猿脾臓			非「アレルギー」性免疫海猿脾臓			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
「アレルギー」海猿	6♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	302	0.6×0.5	0.3×0.2	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.7×1.7	1.5×1.5	
					303	0.3×0.3	-	+	1.8×1.8	1.5×1.5	-	2.0×2.0	1.6×1.6	
					304	0.2×0.2	-	+	0.8×0.8	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
非「アレルギー」性免疫海猿	56♀	390	-	-	329	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.3×1.2	1.0×1.0	
					330	-	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					331	-	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
「アレルギー」海猿	7♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	356	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
					357	0.3×0.3	-	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0	
					358	0.3×0.4	-	+	1.6×1.6	1.2×1.2	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
非「アレルギー」性免疫海猿	57♀	410	-	-	383	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.4×1.4	1.2×1.2	
					384	0.3×0.3	-	+	0.8×0.8	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
					385	0.4×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
「アレルギー」海猿	8♀	370	1.3×1.3	1.0×1.0	410	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.6×1.6	1.3×1.3	
					411	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					412	-	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	58♀	400	-	-	380	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					381	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					382	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
「アレルギー」海猿	9♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	383	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.4×1.4	1.2×1.2	
					384	0.3×0.3	-	+	0.8×0.8	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8	
					385	0.4×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
非「アレルギー」性免疫海猿	59♀	410	-	-	410	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.6×1.6	1.3×1.3	
					411	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					412	-	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
「アレルギー」海猿	10♀	430	1.4×1.4	1.2×1.2	410	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.6×1.6	1.3×1.3	
					411	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					412	-	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	1.0×1.0	
非「アレルギー」性免疫海猿	60♀	360	-	-	380	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	1.8×1.8	1.5×1.5	
					381	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.5×1.5	1.2×1.2	
					382	0.3×0.3	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.0×1.0	0.8×0.8	

第 17 表 「アレルギー」及ビ免疫海猴腎臓ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海 猴 種 類	海 性 番 號	實 驗 時 體 重 (瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試験								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	「アレルギ-」 海 猴 腎 臓		非「アレルギ-」性 免 疫 海 猴 腎 臓		對 照			
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
「アレルギ-」 海 猴	6 ♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	305	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.8×1.8	1.5×1.5
					306	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0
					307	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
非「アレルギ-」 性免疫海猴	56 ♀	390	—	—	332	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3
					333	0.3×0.3	—	+	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3
					334	0.6×0.6	0.4×0.4	+	2.5×2.5	2.0×2.0	—	2.3×2.3	2.0×2.0
「アレルギ-」 海 猴	7 ♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	359	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.7×1.7
					360	0.3×0.3	—	+	1.5×1.6	1.2×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					361	0.4×0.4	—	+	1.3×1.4	1.0×1.1	—	1.0×1.0	0.8×0.8
非「アレルギ-」 性免疫海猴	58 ♀	400	—	—	386	0.3×0.3	—	+	2.0×2.0	1.6×1.6	—	1.8×1.8	1.5×1.5
					387	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					388	0.3×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
「アレルギ-」 海 猴	9 ♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	413	0.5×0.6	0.2×0.3	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0
					414	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
					415	0.4×0.4	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.3	1.0×1.1
非「アレルギ-」 性免疫海猴	60 ♀	360	—	—	359	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.7×1.7
					360	0.3×0.3	—	+	1.5×1.6	1.2×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					361	0.4×0.4	—	+	1.3×1.4	1.0×1.1	—	1.0×1.0	0.8×0.8

第 18 表 「アレルギー」及ビ免疫海猴心臓ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海 猴 種 類	海 性 番 號	實 驗 時 體 重 (瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試験								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	「アレルギ-」 海 猴 心 臓		非「アレルギ-」性 免 疫 海 猴 心 臓		對 照			
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
「アレルギ-」 海 猴	6 ♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	308	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					309	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					310	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.3×1.2	1.0×1.0
非「アレルギ-」 性免疫海猴	56 ♀	390	—	—	335	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.4×1.6	1.2×1.3
					336	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0
					337	0.5×0.3	0.3×0.2	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3
「アレルギ-」 海 猴	7 ♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	362	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
					363	0.4×0.4	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3
					364	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
非「アレルギ-」 性免疫海猴	58 ♀	400	—	—	389	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					390	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.8×0.8
					391	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.6×1.6
「アレルギ-」 海 猴	9 ♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	416	0.4×0.4	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.0×1.0
					417	0.3×0.4	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7
					418	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0
非「アレルギ-」 性免疫海猴	60 ♀	360	—	—	359	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.7×1.7
					360	0.3×0.3	—	+	1.5×1.6	1.2×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					361	0.4×0.4	—	+	1.3×1.4	1.0×1.1	—	1.0×1.0	0.8×0.8

第 19 表 「アレルギー」及ビ免疫海猿筋肉ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海 猿 種 類	海 猿 番 號	性 質 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試験								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	「アレルギ-」 海 猿 筋 肉		非「アレルギ-性」 免 疫 海 猿 筋 肉		對 照			
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
「アレルギー」 海 猿	6 ♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	311	0.4×0.4	0.2×0.2	+	2.0×2.0	1.5×1.5	-	2.2×2.2	2.0×2.0
						312	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猿	56 ♀	390	-	-	313	0.3×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0
「アレルギー」 海 猿	7 ♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	338	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	1.6×1.6	1.3×1.3
						339	0.3×0.3	-	+	1.4×1.4	1.0×1.0	-	1.3×1.3
非「アレルギー」 性免疫海猿	57 ♀	410	-	-	340	0.5×0.4	0.3×0.2	+	1.8×1.8	1.5×1.5	-	1.7×1.7	1.5×1.5
「アレルギー」 海 猿	8 ♀	370	1.3×1.3	1.0×1.0	365	0.2×0.2	-	+	1.0×1.0	0.8×0.8	-	1.2×1.2	1.0×1.0
						366	0.3×0.3	-	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.4×1.4
非「アレルギー」 性免疫海猿	58 ♀	400	-	-	367	0.2×0.3	-	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0
「アレルギー」 海 猿	9 ♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	392	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	2.0×2.0	1.7×1.7
						393	0.4×0.3	0.2×0.2	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.4×1.4
非「アレルギー」 性免疫海猿	59 ♀	410	-	-	394	0.6×0.5	0.3×0.2	±	1.0×1.0	0.5×0.5	-	1.0×1.0	0.8×0.8
「アレルギー」 海 猿	10 ♀	430	1.4×1.4	1.2×1.2	419	0.3×0.3	-	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.6×1.6	1.3×1.3
						420	0.4×0.4	-	+	1.6×1.6	1.4×1.4	-	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猿	60 ♀	360	-	-	421	0.3×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.2×1.2	1.0×1.0

第 20 表 「アレルギー」及ビ免疫海猿腸ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海 猿 種 類	海 猿 番 號	性 質 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試験								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	「アレルギ-」 海 猿 腸		非「アレルギ-性」 免 疫 海 猿 腸		對 照			
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
「アレルギー」 海 猿	6 ♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	314	0.6×0.6	0.4×0.4	+	2.0×2.0	1.8×1.8	-	1.8×1.8	1.5×1.5
						315	0.3×0.3	-	+	1.8×1.8	1.5×1.5	-	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猿	56 ♀	390	-	-	316	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.8×1.7	1.5×1.4	-	2.0×2.0	1.6×1.6
「アレルギー」 海 猿	7 ♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	341	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.9×2.0	1.6×1.7	-	1.7×1.8	1.5×1.6
						342	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.7×1.7	1.5×1.5	-	2.0×2.0
非「アレルギー」 性免疫海猿	57 ♀	410	-	-	343	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.5×1.5	1.2×1.2	-	1.7×1.7	1.5×1.6
「アレルギー」 海 猿	8 ♀	370	1.3×1.3	1.0×1.0	368	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.2×1.2	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0
						369	0.3×0.3	-	+	1.4×1.4	1.2×1.2	-	1.3×1.3
非「アレルギー」 性免疫海猿	58 ♀	400	-	-	370	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.4×1.5	1.2×1.3
「アレルギー」 海 猿	9 ♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	395	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.8×1.8	1.6×1.6	-	1.7×1.7	1.5×1.5
						396	0.8×0.8	0.5×0.5	+	2.3×2.3	2.0×2.0	-	2.0×2.0
非「アレルギー」 性免疫海猿	59 ♀	410	-	-	397	0.3×0.3	-	+	1.6×1.5	1.3×1.2	-	1.5×1.4	1.3×1.2
「アレルギー」 海 猿	10 ♀	430	1.4×1.4	1.2×1.2	422	0.4×0.3	-	+	1.5×1.5	1.3×1.3	-	1.3×1.4	1.0×1.1
						423	1.0×1.0	0.6×0.6	-	1.4×1.4	1.2×1.2	-	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猿	60 ♀	360	-	-	424	0.3×0.3	-	+	1.3×1.3	1.0×1.0	-	1.3×1.3	1.0×1.0

第 21 表 「アレルギー」及ビ免疫海猴子宮ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海 猴 種 類	海 猴 番 號	性 實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試験								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	「アレルギー」 海 猴 子 宮			非「アレルギー」性 免 疫 海 猴 子 宮			對 照	
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
「アレルギー」 海 猴	6 ♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	317	0.3×0.3	—	+	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2
						318	0.4×0.4	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0
非「アレルギー」 性免疫海猴	56 ♀	390	—	—	319	0.3×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
「アレルギー」 海 猴	7 ♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	344	0.6×0.6	0.3×0.3	+	2.5×2.5	2.0×2.0	—	2.3×2.3	2.0×2.0
						345	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6
非「アレルギー」 性免疫海猴	57 ♀	410	—	—	346	0.3×0.3	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
「アレルギー」 海 猴	8 ♀	370	1.3×1.3	1.0×1.0	371	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.2	1.3×1.0
						372	0.3×0.2	—	+	0.8×0.8	0.5×0.5	—	1.0×1.0
非「アレルギー」 性免疫海猴	58 ♀	400	—	—	373	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.3×1.3
「アレルギー」 海 猴	9 ♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	398	0.7×0.7	0.4×0.4	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
						399	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3
非「アレルギー」 性免疫海猴	59 ♀	410	—	—	400	0.5×0.5	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3
「アレルギー」 海 猴	10 ♀	430	1.4×1.4	1.2×1.2	425	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3
						426	0.4×0.3	—	+	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.3×1.3
非「アレルギー」 性免疫海猴	60 ♀	360	—	—	427	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7

第 22 表 「アレルギー」及ビ免疫海猴腦ノ「ツベルクリン」親和性有無試験成績

海 猴 種 類	海 猴 番 號	性 實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試験								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	「アレルギー」 海 猴 腦			非「アレルギー」性 免 疫 海 猴 腦			對 照	
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
「アレルギー」 海 猴	6 ♀	380	1.2×1.2	1.0×1.0	320	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.5	1.3×1.2
						321	0.3×0.3	—	+	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猴	56 ♀	390	—	—	322	—	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.5	1.3×1.2
「アレルギー」 海 猴	7 ♀	400	1.5×1.5	1.2×1.2	347	—	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.8×0.8
						348	0.3×0.3	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猴	57 ♀	410	—	—	349	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
「アレルギー」 海 猴	8 ♀	370	1.3×1.3	1.0×1.0	374	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.6×0.6
						375	0.3×0.3	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7
非「アレルギー」 性免疫海猴	58 ♀	400	—	—	376	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.4×1.5	1.2×1.3
「アレルギー」 海 猴	9 ♀	420	1.5×1.5	1.3×1.3	401	0.5×0.5	0.2×0.2	+	1.6×1.6	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						402	—	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.5×1.5
非「アレルギー」 性免疫海猴	59 ♀	410	—	—	403	0.3×0.3	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
「アレルギー」 海 猴	10 ♀	430	1.4×1.4	1.2×1.2	428	0.8×0.8	0.4×0.4	+	2.0×2.0	1.7×1.7	—	1.8×1.8	1.6×1.6
						429	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7
非「アレルギー」 性免疫海猴	60 ♀	360	—	—	430	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3

第五章 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿ノ血清、皮膚竝ニ各臓器ノ「ツベルクリン」中和性又ハ親和性

第一節 實驗記載

5 頭ノ健康海猿ニ 10 分ノ 1 疋ノ人型 F 株結核菌ヲ皮下接種シ、1 ヶ月後「ツベルクリン」皮内反應ヲ檢シ強陽性ナルコトヲ確カメテカラ、2—3 日毎ニ 50 倍稀釋「ツベルクリン」0.1 疋ヨリ始メ漸増的ニ皮下注射シ 1 ヶ月後ニハ原液 0.5 疋注射スルモ無反應ノ状態トナツタ處ノ脱感作

結核海猿ト 5 頭ノ健康海猿ニ 1.0 疋ノ BCG ヲ接種シ、3 週間後ニ「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ヒ陽性デアツタ兩群ノ海猿ノ血清ニ就テ、「ツベルクリン」中和性有無試験、皮膚竝ニ各臓器ニ就テハ「ツベルクリン」親和性有無試験ヲ行ツタ。

第二節 實驗成績

第一項 血清

本項ノ實驗成績ハ第 23 表ニ記載シテアル如ク、脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿共ニソノ血清中ニ「アンチクチン」又ハ「プロクチン」ヲ證明スルコトガ出来ナカツタ。中ニ 2, 3 ノ例ニ於テ對照ヨリ反應ガ或ハ小或ハ大ナルモノアルモ全體カラ見ルト統一の結果ハ見ラレナイ。

第二項 皮膚

兩群ノ皮膚ニ於ケル實驗成績ハ第 24 表ニ記載シテアル。脱感作結核海猿ノ皮膚ニハ「ツベルクリン」親和性ハ認めラレヌガ、BCG 接種海猿ノ皮膚ニハ證明サレルノデアル。對照ニ於ケル

反應ヨリモ著シク輕微デアアルコトガ分ル。特ニ浸潤ニ於テ著明デアアル。即チ皮膚乳劑ト「ツベルクリン」トヲ混合シ、20 時間 37°C ニ放置スルトキハ「ツ」皮内反應ヲ起ス能力ガ消失サレルノデアアル。

第三項 各臓器

兩群ノ肺、肝、脾、腎、心、筋肉、腸、腦ニ關スル實驗成績ハ第 25 表ヨリ第 33 表迄ニ記載シテアル。即チ脱感作結核海猿ノ各臓器ニハ皮膚同様「ツベルクリン」親和性ハ認めラレナイガ、BCG 接種海猿ニ於テハ陽性デアアル。

第三節 小 括

脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿ノ血清ニハ「ツベルクリン」中和性ヲ認めナイ。脱感作海猿ノ皮膚竝ニ各臓器ニハ「ツベルクリン」親和性無

キモ、BCG 接種海猿ニハ「ツ」親和性陽性デアアル。

第 23 表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿血清ノ舊「ツベルクリン」中和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應用番號	皮内反應ニ依ル中和性試驗							
				R	I		脱感作海猿血清			BCG 接種海猿血清			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海	11	♀	330	—	—	431	2.0×2.0	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	2.0×2.0	1.5×1.5
						432	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
BCG 接種海	61	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	433	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.0×1.0	0.8×0.8
						434	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.7×0.7
脱感作結核海	12	♀	370	—	—	435	2.0×2.0	1.7×1.7	—	2.0×2.0	1.8×1.8	—	2.0×2.0	1.7×1.7
						436	2.0×2.0	1.6×1.6	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2
BCG 接種海	62	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	437	2.0×2.0	1.6×1.6	—	1.6×1.6	1.4×1.4	—	2.0×2.0	1.6×1.6
						438	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	2.2×2.2	2.0×2.0
脱感作結核海	13	♀	350	—	—	439	2.0×2.0	1.7×1.7	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.8×1.8	1.6×1.6
						440	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.5×1.5
BCG 接種海	63	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	441	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						442	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.3×1.3	1.0×1.0
脱感作結核海	14	♀	340	—	—	443	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5
						444	2.2×2.2	2.0×2.0	—	2.0×2.0	1.7×1.7	—	2.0×2.0	1.8×1.8
BCG 接種海	64	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	445	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
						446	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5

第 24 表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿皮膚ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應用番號	皮内反應ニ依ル親和性試驗							
				R	I		脱感作結核海猿皮膚			BCG 接種海猿皮膚			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海	11	♀	330	—	—	446	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
						447	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5
BCG 接種海	61	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	448	1.0×0.7	0.8×0.5	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						449	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
脱感作結核海	12	♀	370	—	—	450	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						451	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.6×1.5	1.3×1.2
BCG 接種海	62	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	452	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
						453	1.7×1.7	1.4×1.4	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.7	1.2×1.3
脱感作結核海	13	♀	350	—	—	454	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
						455	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.5×0.4	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
BCG 接種海	63	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	456	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						457	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.3×1.3
脱感作結核海	14	♀	340	—	—	458	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.4×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
						459	1.5×1.5	1.2×1.2	—	—	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
BCG 接種海	64	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	460	2.0×2.0	1.6×1.6	—	0.3×0.3	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						461	1.6×1.6	1.3×1.3	—	—	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3

第 25 表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿肺臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 - 依ル親和性試驗								
				R	I	皮内反應番號	脱感作結核海猿肺臟			BCG 接種海猿肺臟			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海	11	♀	330	—	—	461	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.3×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
						462	1.4×1.4	1.1×1.1	—	0.2×0.4	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接種海	61	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	463	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						488	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.2×0.3	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
脱感作結核海	12	♀	370	—	—	489	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5
						490	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.4×0.3	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
BCG 接種海	62	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	491	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
						515	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
脱感作結核海	13	♀	350	—	—	516	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.6×1.6	1.4×1.4
						517	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.7	1.2×1.3
BCG 接種海	63	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	542	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.3×0.4	—	+	1.4×1.5	1.2×1.3
						543	2.0×2.0	1.6×1.6	—	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.9×1.8	1.7×1.5
脱感作結核海	14	♀	340	—	—	544	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.7×0.7	0.4×0.4	+	2.0×2.0	1.7×1.7
						569	2.3×2.3	2.0×2.0	—	—	—	+	2.0×2.0	1.8×1.8
BCG 接種海	64	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	570	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.4×1.4
						571	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2

第 26 表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿肝臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 - 依ル親和性試驗								
				R	I	皮内反應番號	脱感作結核海猿肝臟			BCG 接種海猿肝臟			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海	11	♀	330	—	—	464	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.5×0.6	0.3×0.2	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						465	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接種海	61	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	466	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.4×1.5	1.2×1.3
						491	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
脱感作結核海	12	♀	370	—	—	492	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						493	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.4×0.5	0.2×0.3	+	1.0×1.0	0.8×0.8
BCG 接種海	62	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	518	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.2×0.2	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						519	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.8	1.5×1.6
脱感作結核海	13	♀	350	—	—	520	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.4×0.3	0.2×0.1	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						545	1.7×1.7	1.4×1.4	—	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接種海	63	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	546	1.5×1.8	1.3×1.5	—	0.6×0.5	0.3×0.2	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						547	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.4×0.4	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
脱感作結核海	14	♀	340	—	—	572	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
						573	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.7×1.7
BCG 接種海	64	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	574	2.0×2.0	1.6×1.6	—	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.6×1.6

第 27 表 脱感作結核海猴及ビ BCG 接種海猴脾臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 猴 種 類	海 猴 番 號	性 質 驗 時 體 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	脱感作結核海猴脾臟			BCG 接種海猴脾臟			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作 結核海 猴	11♀	330	—	—	467	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
					468	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.2×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
BCG 接 種海 猴	61♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	469	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5
					491	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.4×0.4	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
脱感作 結核海 猴	12♀	370	—	—	495	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
					496	1.4×1.5	1.2×1.3	—	—	—	+	1.5×1.6	1.3×1.3
BCG 接 種海 猴	62♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	521	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.7	1.3×1.4
					522	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.6×1.6
脱感作 結核海 猴	13♀	350	—	—	523	2.0×2.0	1.7×1.7	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5
					548	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5
BCG 接 種海 猴	63♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	549	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
					550	1.2×1.3	1.0×1.1	—	—	—	+	1.4×1.5	1.2×1.3
脱感作 結核海 猴	14♀	340	—	—	575	1.9×1.8	1.7×1.5	—	—	—	+	2.0×2.0	1.7×1.7
					576	1.5×1.7	1.3×1.5	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.8×1.8	1.6×1.6
BCG 接 種海 猴	64♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	577	1.4×1.5	1.2×1.3	—	0.3×0.4	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0

第 28 表 脱感作結核海猴及ビ BCG 接種海猴腎臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 猴 種 類	海 猴 番 號	性 質 驗 時 體 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮海 内 反 應 番 用 號	脱感作結核海猴腎臟			BCG 接種海猴腎臟			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作 結核海 猴	11♀	330	—	—	470	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
					471	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.5×0.4	0.3×0.2	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接 種海 猴	61♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	472	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.2×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
					497	1.3×1.4	1.0×1.1	—	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
脱感作 結核海 猴	12♀	370	—	—	498	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.6×1.6	1.3×1.3
					499	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.4×0.3	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
BCG 接 種海 猴	62♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	524	1.0×1.0	0.8×0.8	—	—	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
					525	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.5×1.8
脱感作 結核海 猴	13♀	350	—	—	526	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3
					551	1.7×1.8	1.5×1.6	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	2.2×2.2	2.0×2.0
BCG 接 種海 猴	63♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	552	1.6×1.7	1.3×1.4	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
					553	1.4×1.4	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
脱感作 結核海 猴	14♀	340	—	—	578	2.0×2.0	1.7×1.7	—	0.2×0.2	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5
					579	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.3×0.5	0.1×0.2	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接 種海 猴	64♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	580	1.4×1.6	1.2×1.3	—	0.4×0.3	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2

第 29 表 脱感作結核海狸及ヒ BCG 接種海狸心臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 狸 種 類	海 狸 番 號	性 別	實 驗 時 體 重 (<small>瓦</small>)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮 海 狸 反 應 番 用 號	脱感作結核海狸心臟			BCG 接種海狸心臟			對 照	
							R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
脱感作 結核海 狸	11	♀	330	—	—	473	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.4×0.4	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						474	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.3×0.3	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						475	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.2×0.2	—	+	2.0×2.0	1.6×1.6
BCG 接 種海 狸	61	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	475	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.2×0.2	—	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						500	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						501	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
BCG 接 種海 狸	62	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	502	1.4×1.4	1.2×1.2	—	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						527	1.5×1.5	1.3×1.3	—	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						528	1.7×1.8	1.5×1.6	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.6×1.6
脱感作 結核海 狸	13	♀	350	—	—	529	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
						554	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						555	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.3×0.2	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
BCG 接 種海 狸	63	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	556	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.4×0.3	—	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						581	2.0×2.0	1.8×1.8	—	0.4×0.4	—	+	1.8×1.8	1.6×1.6
						582	2.3×2.3	2.0×2.0	—	0.2×0.2	—	+	2.0×2.0	1.8×1.8
脱感作 結核海 狸	14	♀	340	—	—	583	1.9×1.8	1.6×1.5	—	0.3×0.2	—	+	1.6×1.6	1.4×1.4
						556	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.4×0.3	—	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						557	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3
BCG 接 種海 狸	64	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	559	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						584	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						585	1.0×1.0	0.7×0.7	—	0.2×0.2	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
脱感作 結核海 狸	15	♀	350	—	—	536	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.3×0.4	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						530	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.4×0.4	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						531	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接 種海 狸	65	♀	390	1.6×1.6	1.3×1.3	532	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						505	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						504	1.4×1.4	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3

第 30 表 脱感作結核海狸及ヒ BCG 接種海狸筋肉ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 狸 種 類	海 狸 番 號	性 別	實 驗 時 體 重 (<small>瓦</small>)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮 海 狸 反 應 番 用 號	脱感作結核海狸筋肉			BCG 接種海狸筋肉			對 照	
							R	I	成 績	R	I	成 績	R	I
脱感作 結核海 狸	11	♀	330	—	—	476	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						477	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						478	1.3×1.3	1.0×1.0	—	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接 種海 狸	61	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	478	1.3×1.3	1.0×1.0	—	—	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						503	1.5×1.5	1.2×1.2	—	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						504	1.4×1.4	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
脱感作 結核海 狸	12	♀	370	—	—	505	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						530	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.4×0.4	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						531	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接 種海 狸	62	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	532	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						557	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						558	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
脱感作 結核海 狸	13	♀	350	—	—	559	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						584	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						585	1.0×1.0	0.7×0.7	—	0.2×0.2	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
BCG 接 種海 狸	63	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	536	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.3×0.4	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						505	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						504	1.4×1.4	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3

第 31 表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿腸ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應用番號	脱感作結核海猿腸			BCG 接種海猿腸			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海猿	11 ♀	♀	330	—	—	479	1.8×1.8	1.6×1.6	—	0.4×0.3	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						480	1.3×1.4	1.0×1.2	—	0.5×0.4	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						481	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
BCG 接種海猿	61 ♀	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	481	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2
						506	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						507	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.3×0.4	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
脱感作結核海猿	12 ♀	♀	370	—	—	506	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.2×0.2	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						507	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.3×0.4	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						508	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.6×1.6
BCG 接種海猿	62 ♀	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	508	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.6×1.6
						533	1.6×1.6	1.4×1.4	—	0.4×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						534	1.6×1.7	1.1×1.5	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.6	1.3×1.4
脱感作結核海猿	13 ♀	♀	350	—	—	533	1.6×1.6	1.4×1.4	—	0.4×0.3	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						534	1.6×1.7	1.1×1.5	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.6	1.3×1.4
						535	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2
BCG 接種海猿	63 ♀	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	535	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2
						560	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						561	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
脱感作結核海猿	14 ♀	♀	340	—	—	560	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						561	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
						562	1.2×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
BCG 接種海猿	64 ♀	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	562	1.2×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
						587	1.8×1.9	1.5×1.6	—	0.7×0.7	0.5×0.5	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						588	2.0×2.0	1.6×1.6	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	2.3×2.3	2.0×2.0
脱感作結核海猿	15 ♀	♀	350	—	—	587	1.8×1.9	1.5×1.6	—	0.7×0.7	0.5×0.5	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						588	2.0×2.0	1.6×1.6	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	2.3×2.3	2.0×2.0
						589	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5
BCG 接種海猿	65 ♀	♀	390	1.6×1.6	1.3×1.3	589	1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5

第 32 表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿子宮ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應用番號	脱感作結核海猿子宮			BCG 接種海猿子宮			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海猿	11 ♀	♀	330	—	—	482	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.2×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						483	1.5×1.5	1.3×1.3	—	—	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
						484	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.4	0.3×0.2	+	1.5×1.5	1.3×1.3
BCG 接種海猿	61 ♀	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	484	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.4	0.3×0.2	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						509	1.4×1.4	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						510	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2
脱感作結核海猿	12 ♀	♀	370	—	—	509	1.4×1.4	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
						510	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2
						511	1.8×1.6	1.6×1.5	—	0.3×0.4	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
BCG 接種海猿	62 ♀	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	511	1.8×1.6	1.6×1.5	—	0.3×0.4	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3
						536	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.2×0.3	—	+	1.5×1.7	1.3×1.4
						537	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.6	1.3×1.4
脱感作結核海猿	13 ♀	♀	350	—	—	536	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.2×0.3	—	+	1.5×1.7	1.3×1.4
						537	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.6	1.3×1.4
						538	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
BCG 接種海猿	63 ♀	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	538	1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.4×0.4	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
						563	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.6×0.5	0.3×0.2	+	2.0×2.0	1.7×1.7
						564	2.0×2.1	1.8×1.8	—	0.7×0.7	0.5×0.5	+	2.2×2.2	2.0×2.0
脱感作結核海猿	14 ♀	♀	340	—	—	563	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.6×0.5	0.3×0.2	+	2.0×2.0	1.7×1.7
						564	2.0×2.1	1.8×1.8	—	0.7×0.7	0.5×0.5	+	2.2×2.2	2.0×2.0
						565	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.6×0.8	0.3×0.4	+	2.0×2.0	1.6×1.6
BCG 接種海猿	64 ♀	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	565	1.7×1.7	1.5×1.5	—	0.6×0.8	0.3×0.4	+	2.0×2.0	1.6×1.6
						590	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						591	1.4×1.5	1.2×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
脱感作結核海猿	15 ♀	♀	350	—	—	590	1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5
						591	1.4×1.5	1.2×1.3	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
						592	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.2×0.3	—	+	1.0×1.0	0.7×0.7
BCG 接種海猿	65 ♀	♀	390	1.6×1.6	1.3×1.3	592	1.0×1.0	0.8×0.8	—	0.2×0.3	—	+	1.0×1.0	0.7×0.7

第33表 脱感作結核海猿及ビ BCG 接種海猿腦ノ併「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應番號	皮内反應ニ依ル親和性試驗							
				R	I		脱感作結核海猿腦			BCG 接種海猿腦			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
脱感作結核海猿	11♀	♀	330	—	—	485	2.0×2.0	1.8×1.8	-	0.1×0.4	0.2×0.2	+	1.8×1.8	1.5×1.5
							486	1.5×1.5	1.2×1.2	-	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3
BCG 接種海猿	61♀	♀	320	1.5×1.5	1.2×1.2	487	1.7×1.7	1.5×1.5	-	0.3×0.3	—	+	1.8×1.8	1.6×1.6
脱感作結核海猿	12♀	♀	370	—	—	512	1.3×1.3	1.0×1.0	-	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0
							513	1.4×1.4	1.0×1.0	-	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5
BCG 接種海猿	62♀	♀	340	2.0×2.0	1.6×1.6	514	1.5×1.5	1.3×1.3	-	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5
脱感作結核海猿	13♀	♀	350	—	—	539	1.6×1.6	1.3×1.3	-	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5
							540	1.2×1.2	1.0×1.0	-	0.2×0.2	—	+	1.0×1.0
BCG 接種海猿	63♀	♀	360	1.5×1.5	1.3×1.3	541	1.3×1.3	1.0×1.0	-	0.5×0.6	0.3×0.4	+	1.2×1.2	1.0×1.0
脱感作結核海猿	14♀	♀	340	—	—	566	1.6×1.6	1.3×1.3	-	0.3×0.3	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5
							567	1.5×1.6	1.3×1.4	-	0.3×0.2	—	+	1.8×1.7
BCG 接種海猿	64♀	♀	380	1.7×1.7	1.5×1.5	568	1.4×1.4	1.2×1.2	-	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3
脱感作結核海猿	15♀	♀	350	—	—	593	1.3×1.3	1.0×1.0	-	0.7×0.7	0.5×0.5	±	1.6×1.6	1.3×1.3
							594	1.5×1.7	1.3×1.4	-	0.7×0.6	0.5×0.3	+	1.9×1.8
BCG 接種海猿	65♀	♀	390	1.6×1.6	1.3×1.3	595	1.8×1.8	1.5×1.5	-	0.3×0.3	—	+	2.0×2.0	1.8×1.8

第六章 陰性「アネルギー」海猿ノ皮膚竝ニ各臓器ノ「ツベルクリン」親和性

重症結核例ヘハ肺癆、粟粒結核、結核性腦膜炎及ビ其ノ他重症疾患ニヨリ惡液質ニ陥リタル場合ニ於テ、「ツ」皮内反應ガ屢々陰性トナルコトハ既ニ知ラレテキルコトデアル。此ノ陰性「アネルギー」(v. Hayek³²)ハ Urbach³³ニ從ヘバ抗體產生場所デアル臓器ニ、ソノ能力ガ失ハレル爲ニ、抗體ガ缺乏スルカラデアルト云ヒ Naegeli³⁴ハ重症結核ニ於テハ抗體產生ガ停止スル爲ニ、「ツ」皮内反應ガ現ハレナイノデハナク、臓器ガ結核菌ニ依テ過度ニ充滿サレル爲ニ抗體形成ガ防禦ニ間ニ合ハナクナル爲デアルト述ベテキル。

亦 Lehmann-Facijs³⁵ハ次ノ如ク述ベテキル。結核血清中ニハ抗原トノ結合ニ依テ證明サレル特異性抗體ガ存在スルガ、ソレハ病初ニ於テデアツテ、末期ニナレバ陰性トナル。是ハ患者血

清内ニ於テ初期ニハ遊離抗體存在シ、之ニ加ヘラレタ抗原ト結合シ反應ヲ呈スル様ニナルガ、末期ニナレバ病竈ヨリ出ル抗原量ガ多クナル爲ニ、遊離抗體ガ全クナクナリ、返テ遊離抗原ガ存在スル様ニナルカラデアルト云ツテキルノデアル。Pilcher³⁶ハ重症結核ノ際「ツベルクリン」反應ガ消失スルノハ、皮膚及ビ皮下組織ノ血液循環ガ緩慢トナツテキルコトガ、ソノ原因ノ一ツデアルト云ヒ、小林³⁷ハ陰性「アネルギー」患者ノ喀痰中ニハ「ツベルクリン」様物質ガ最モ著明ニ證明サレルコトヨリ、陰性「アネルギー」ハ細胞ノ反應能力ノ減退ト云フヨリモ、寧ロ患者自身ノ病竈ヨリ產生スル「ツベルクリン」ノ吸收ニヨリ、之ニ耐性トナリ遂ニ接種サレタ「ツベルクリン」ノ少量ニ對シテハ反應ヲ惹起シ難クナル爲デアルト述ベテキル。

第一節 實驗記載

余ハ「ツベルクリン」親和性試験ニ用意セル海猿中、重症トナリテ、「ツ」皮内反應陰性トナツタ所謂陰性「アレルギー」化セル 3 頭ノ結核海猿ニ

就テ、皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗ヲ行ヒ、陰性「アレルギー」ノ本態ノ一端ヲ窺知セントシタノデアル。

第二節 實驗成績

皮膚及ビ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績ハ第 34 表ヨリ第 37 表迄ニ記載シテアル如ク何レモ「ツベルクリン」親和性ヲ認ムルコトガ出来ナイ。返ツテ對照ヨリモ反應強キ例サハアル。此ノ實驗成績ヨリ陰性「アレルギー」ノ成因

ハ、Lehmann-Faciue, 小林等ガ説ク如ク、重症結核ノ場合ハ「ツベルクリン」ニ對スル「レアギン」ノ如キ物質ガ、體內ニ於テ産出サレル「ツベルクリン」ニ依リ消失セシメラル、爲ニ起ルモノト思ハレル。

第 34 表 陰性「アレルギー」海猿皮膚及ビ肺臟ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験									
			R	I	皮海内反應番號	皮 膚			肺 臟			對 照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
陰性「アレルギー」海猿	16 ♀	300	—	—	596	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—
					597	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	—
					598	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	—	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	—
					608	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	—	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	—	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	—
..	17 ♀	290	—	—	609	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—
					610	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—	1.4 × 1.3	1.2 × 1.1	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	—
					620	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	—
..	18 ♀	280	—	—	621	1.6 × 1.5	1.3 × 1.2	—	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	—	1.4 × 1.5	1.2 × 1.3	—
					622	1.7 × 1.6	1.5 × 1.4	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	—

第 35 表 陰性「アレルギー」海猿肝臟及ビ脾臟ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験									
			R	I	皮海内反應番號	肝 臟			脾 臟			對 照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
陰性「アレルギー」海猿	16 ♀	300	—	—	599	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.6 × 1.6	1.4 × 1.4	—	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	—
					600	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	—	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	—	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	—
					601	1.6 × 1.5	1.3 × 1.2	—	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—
					611	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—	1.4 × 1.3	1.2 × 1.1	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	—
..	17 ♀	290	—	—	612	1.4 × 1.5	1.2 × 1.3	—	1.6 × 1.5	1.3 × 1.2	—	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	—
					613	1.8 × 1.9	1.5 × 1.6	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.6 × 1.7	1.3 × 1.4	—
					623	2.0 × 2.0	1.8 × 1.8	—	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	—	1.7 × 1.8	1.5 × 1.6	—
..	18 ♀	280	—	—	624	1.8 × 1.7	1.5 × 1.4	—	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	—	1.6 × 1.5	1.3 × 1.2	—
					625	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	—

第 36 表 陰性「アレルギー」海猿腎臓及ヒ心臓ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番號	腎 臟			心 臟			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
陰性「アレルギー」海猿	16♀	300	—	—	602	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	
					603	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.5	1.2×1.3	—	1.6×1.6	1.2×1.2	
					604	1.7×1.6	1.5×1.4	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
..	17♀	290	—	—	614	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
					615	1.6×1.4	1.3×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.3×1.3	1.0×1.0	
					616	1.8×1.9	1.5×1.6	—	2.0×2.0	1.7×1.7	—	2.0×2.0	1.8×1.8	
..	18♀	280	—	—	626	1.5×1.6	1.4×1.4	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.4	1.1×1.2	
					627	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					628	1.5×1.0	1.2×0.8	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.8×1.8	1.5×1.5	

第 37 表 陰性「アレルギー」海猿腸及ヒ子宮ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番號	腸			子 宮			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
陰性「アレルギー」海猿	16♀	300	—	—	605	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					606	1.3×1.5	1.1×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	
					607	1.7×1.8	1.4×1.5	—	1.4×1.5	1.1×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
..	17♀	290	—	—	617	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.4×1.4	
					618	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.2×1.3	1.0×1.1	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					619	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5	
..	18♀	280	—	—	629	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					630	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.6	1.2×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	
					631	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	

第三節 小 括

陰性「アレルギー」海猿ノ皮膚竝ニ各臟器ニハ「ツベルクリン」親和性ヲ認メナイ。

第七章 結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性

第一節 實驗記載

結核海猿血清ニハ「ツベルクリン」親和性ナキモ皮膚竝ニ各臟器ニ之ヲ證明スルコトハ、第一章ニ於テ述ベタ。依テ組織ノ浸出液中ニ此ノ親和性物質ガアルカ否カナ見ルベク本實驗ヲ行ツタ

ノデアル。即チ人型F株結核菌1.0 疋感染後3週間目ニ「ツ」皮内反應ヲ見タ後、皮膚竝ニ各臟器ノ食鹽水浸出液ニ就テ「ツ」中和性ノ有無ヲ實驗シタノデアル。

第二節 實驗成績

結核海猿ノ皮膚、肺臟、肝臟、脾臟、腎臟、心臓、腸及ビ子宮ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性ニ關スル實驗成績ハ、第 38 表ヨリ第

41 表ニ記載シテアル如ク何レモ陰性デアル。又「プロクチン」ノ如キ物質モ含有スルモノトハ思ハレナイ。

第三節 小 括

結核海猿ノ皮膚竝ニ各臟器ノ食鹽水浸出液ニハ「ツベルクリン」親和性ヲ認メナイ。即チ「ツベ

ルクリン」親和性抗體ハ遊離シナイデ、組織ニ鈎著シテキルモノト思ハレル。

第 38 表 結核海猿皮膚及ビ肺臟ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性試驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 - 依ル中和性試驗								
				R	I	皮海猿内反應用番號	皮膚浸出液			肺臟浸出液			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猿	75 ♀	380	3.0×3.0	2.5×2.5	846	1.8×1.5	1.5×1.5	1.7	1.7	1.3×1.3	1.5	1.5	1.2×1.2	
					847	1.2×1.2	1.0×1.0	1.3	1.3	1.0×1.0	1.4	1.4	1.0×1.0	
					848	1.0×1.0	0.8×0.8	1.2	1.2	1.0×1.0	0.8	0.8	0.5×0.5	
,,	76 ♀	400	3.2×3.2	3.0×3.0	858	1.5×1.5	1.3×1.3	1.6	1.6	1.3×1.3	1.4	1.4	1.2×1.2	
					859	1.7×1.7	1.5×1.5	1.6	1.6	1.3×1.3	1.5	1.5	1.2×1.2	
					860	1.5×1.5	1.3×1.3	1.3	1.3	1.0×1.0	1.5	1.5	1.3×1.3	
,,	77 ♀	370	2.6×2.6	2.3×2.3	870	1.4×1.4	1.2×1.2	1.5	1.5	1.3×1.3	1.3	1.3	1.0×1.0	
					871	1.5×1.3	1.2×1.0	1.4	1.4	1.2×1.2	1.4	1.4	1.2×1.2	
					872	1.3×1.4	1.0×1.1	1.2	1.3	1.0×1.0	1.3	1.3	1.0×1.0	

第 39 表 結核海猿肝臟及ビ脾臟ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル中和性試驗								
				R	I	皮海猿内反應用番號	肝臟浸出液			脾臟浸出液			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猿	75 ♀	380	3.0×3.0	2.5×2.5	849	1.3×1.3	1.0×1.0	1.3	1.3	1.0×1.0	1.5	1.5	1.3×1.3	
					850	1.5×1.5	1.2×1.2	1.6	1.6	1.3×1.3	1.4	1.4	1.2×1.2	
					851	1.6×1.6	1.3×1.3	1.5	1.5	1.2×1.2	1.8	1.8	1.5×1.5	
,,	76 ♀	400	3.2×3.2	3.0×3.0	861	1.4×1.4	1.2×1.2	1.3	1.3	1.0×1.0	1.5	1.5	1.3×1.3	
					862	1.0×1.0	0.8×0.8	1.2	1.2	1.0×1.0	1.2	1.2	1.0×1.0	
					863	1.3×1.3	1.0×1.0	1.5	1.5	1.2×1.2	1.6	1.6	1.3×1.3	
,,	77 ♀	370	2.6×2.6	2.3×2.3	873	1.5×1.5	1.2×1.2	1.7	1.7	1.5×1.5	1.8	1.8	1.5×1.5	
					874	1.7×1.7	1.5×1.5	1.7	1.7	1.5×1.5	1.6	1.6	1.3×1.3	
					875	2.0×2.0	1.7×1.7	1.8	1.8	1.5×1.5	1.7	1.7	1.4×1.4	

第 40 表 結核海猴腎臟及ヒ心臓ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性實驗成績

海 猴 種 類	海 性 實 驗 番 號	實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮 海 内 反 應 番 號	皮内反應ニ依ル中和性試驗							
			R	I		腎臟浸出液			心臓浸出液			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猴	75♀	380	3.0	3.0	2.5	2.5	852 1.0×1.0 0.8×0.8 + 1.5×1.5 1.3×1.3 - 1.6×1.6 1.3×1.3						
							853 1.5×1.5 1.2×1.2 - 1.3×1.3 1.0×1.0 - 1.4×1.4 1.2×1.2						
							854 1.3×1.2 1.0×1.0 - 1.4×1.4 1.2×1.2 - 1.5×1.5 1.2×1.2						
..	76♀	400	3.2	3.2	3.0	3.0	864 1.6×1.6 1.3×1.3 - 1.5×1.5 1.2×1.2 - 1.2×1.2 1.0×1.0						
							865 1.3×1.4 1.1×1.2 - 1.2×1.2 1.0×1.0 - 1.3×1.3 1.0×1.0						
							866 1.7×1.7 1.5×1.5 - 1.7×1.7 1.3×1.3 - 1.7×1.7 1.5×1.5						
..	77♀	370	2.6	2.6	2.3	2.3	876 1.0×1.0 0.8×0.8 - 1.2×1.2 1.0×1.0 - 1.0×1.0 0.8×0.8						
							877 1.3×1.5 1.0×1.2 - 1.6×1.5 1.3×1.2 - 1.7×1.5 1.5×1.2						
							878 1.8×1.8 1.5×1.5 - 1.5×1.5 1.3×1.3 - 1.6×1.6 1.3×1.3						

第 41 表 結核海猴腸及ヒ子宮ノ食鹽水浸出液ノ「ツベルクリン」中和性實驗成績

海 猴 種 類	海 性 實 驗 番 號	實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮 海 内 反 應 番 號	皮内反應ニ依ル中和性試驗							
			R	I		腸浸出液			子宮浸出液			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猴	75♀	380	3.0	3.0	2.5	2.5	855 1.0×1.0 0.8×0.8 - 1.2×1.2 1.0×1.0 - 1.3×1.3 1.0×1.0						
							856 1.5×1.5 1.2×1.2 - 1.4×1.4 1.2×1.2 - 1.5×1.5 1.3×1.3						
							857 1.7×1.7 1.5×1.5 - 1.8×1.8 1.6×1.6 - 1.6×1.6 1.3×1.3						
..	76♀	400	3.2	3.2	3.0	3.0	867 1.2×1.2 1.0×1.0 - 1.3×1.3 1.0×1.0 - 1.4×1.4 1.2×1.2						
							868 1.4×1.4 1.2×1.2 - 1.5×1.5 1.2×1.2 - 1.6×1.6 1.3×1.3						
							869 1.7×1.7 1.4×1.4 - 1.6×1.6 1.3×1.3 - 1.5×1.5 1.2×1.2						
..	77♀	370	2.6	2.6	2.3	2.3	879 1.3×1.3 1.0×1.0 - 1.3×1.5 1.2×1.2 - 1.3×1.3 1.0×1.0						
							880 1.3×1.4 1.0×1.1 - 1.2×1.2 1.0×1.0 - 1.3×1.3 1.0×1.0						
							881 1.8×1.8 1.6×1.6 - 1.7×1.7 1.5×1.5 - 1.4×1.4 1.2×1.2						

第八章 非特異性「ツベルクリン・アレルギー」海猴皮膚竝ニ肝臓ノ

「ツベルクリン」親和性

舊「ツベルクリン」ヲ健常海猴ニ何回注射セルモ「ツ・ア」ハ發現シナイコトハ既ニ知ラレテキルトコロデアル。Herbert Koch³¹ハ此ノ理由トシテ「ツベルクリン」ガ速カニ吸收セラルル爲ニ「ツ・ア」ガ發現シナイノデアルトシ、「ツ」ノ吸收ヲ遅延セシムル目的ニ「ヒヨレスチン」、「ミリチン」、「オリブ」油ノ合劑ヲ「ツ」ニ加ヘテ海猴ニ注射シタル處、著明ニ「ツ・ア」ヲ發現セシメル

コトガ出來ル故、「ツ・ア」ハ抗原抗體反應デアルト述ベテキル。同僚若菜ハ之ヲ追試シテ見タ際、「ミリチン」ノ代リ「ワセリン」ヲ使用シテ實驗シタ處、「ツ」ヲ合劑ニ加ヘテモ加ヘナクテモ「ツ」皮内反應ハ陽性ニ現ハレタノデアアル。余モ合劑ノミヲ注射セル3頭ノ海猴ニ就テ「ツベルクリン」親和性ノ有無ヲ實驗シタ處次ノ如キ成績ガ得ラレタ。

第一節 實驗記載

「ヒヨレストリン」0.1 瓦、「オリーブ」油 0.5 瓦、「ワゼリン」0.5 瓦ノ合劑ヲ 3 頭ノ健常海猿ノ腹腔内ニ注射シ、50 日後ニ「ツ」皮内反應及ヒ皮膚

竝ニ肝臟ニ就テ「ツ」親和性ヲ見タノデアル。尙此ノ 3 頭ノ海猿ノ各臟器ニハ結核性病變ハ見ラレナカツタ。

第二節 實驗成績

第 42 表ガソノ實驗成績デアル。本表一見ル如ク「ツベルクリン」皮内反應ハ何レモ陽性デアルガ、皮膚竝ニ肝臟ノ「ツベルクリン」親和性ハ陰性デアル。之ニ依レバ非特異性「ツ・ア」海猿ニ於テ現ハレル「ツ」皮内反應ト特異性「ツ・ア」海

猿ニ於ケルソレトハ、ソノ本態ニ於テ異ツタ作用ガ存在スルコトヲ暗示スルモノデアル。特異的「ツベルクリン」反應ガ抗元抗體反應トスナラバ、非特異性「ツ」反應ハ抗元抗體反應デハナイ様ニ思ハレル。

第 42 表 非特異性「ツベルクリン・アレルギー」海猿皮膚及肝臟ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗

海猿種類	海性實驗番號	10% 併「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 - 依ル親和性試驗									
		R	I	皮海内反應番號	皮膚			肝臟			對照		
					R	I	成績	R	I	成績	R	I	
非特異性「ツベルクリン・アレルギー」海猿	31 ↑	380	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1108	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3
					1109	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.3 × 1.3	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	
					1110	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.3 × 1.3	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	
					1111	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0 × 1.0	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	
,,	32 ↑	400	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	1112	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	1.2 × 1.2	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	
					1113	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.0 × 1.0	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	
					1114	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.3 × 1.3	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	
,,	33 ↑	410	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	1115	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0 × 1.0	1.4 × 1.4	1.0 × 1.0	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	
					1116	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.2 × 1.2	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	

第三節 小 括

非特異性「ツベルクリン・アレルギー」海猿ノ皮膚竝ニ肝臟ニハ「ツベルクリン」親和性ガ無イ。

第九章 結核海猿及ヒ健常海猿皮膚竝ニ肝臟ノ「ツベルクリン」有效因子親和性

第一節 實驗記載

菌體又ハ「ツベルクリン」中ノ毒素ガ多元的デアルコトハ近年實驗的ニ明カニサレル様ニナリ、所謂「ツ」死ヲ起ス毒素 To-物質ト皮膚反應物質 Ha-物質トハ區別スベキモノデアルト Küster³⁸ 糟谷³⁹、同僚府田⁴⁰等ニ依リ唱ヘラレ、ソノ生化學的研究ハ盛ニ檢討サル、ニ至ツタ。依テカ

カル「ツベルクリン」有效因子(村田分割)ト結核海猿皮膚竝ニ肝臟トノ關係ヲ見ルベク本實驗ヲ企圖シタノデアル。即チ 3 頭ノ健常海猿ニ人型 F 株結核菌 1.0 瓦皮下接種後 4 週間目ニ「ツベルクリン」皮内反應ヲ檢シタ後、皮膚竝ニ肝臟ニ就テ「ツ」有效因子親和性ノ有無ヲ實驗シタ。

尙健常海猿ノ皮膚並ニ肝臟ニ就テモ「ツ」有效因

子親和性有無ヲ檢シタ。

第二節 實驗成績

第一項 Ha-物質

本項ノ實驗成績ハ第 43 表ニ記載シテアル如ク、結核海猿ノ皮膚及ビ肝臟ハ Ha-物質親和性陽性ナルモ、健常海猿ニハ親和性ヲ認メナイ。

第二項 To-物質

本項ノ實驗成績ハ第 44 表ニ記載シテアル如ク、結核海猿ニ於テハ To-物質ノ親和性陽性デアル

ガ、健常海猿デハ陰性デアル。

第三項 Np-物質

Ha-物質、To-物質同様結核海猿ニ於テハ、ソノ親和性陽性ナルモ、健常海猿ノ皮膚及ビ肝臟ニハ親和性ガナイ。ソノ成績ハ第 45 表ニ記載シテアル。

第三節 小 括

結核海猿ノ皮膚及ビ肝臟ハ「ツベルクリン」有效因子ノ親和性アルモ、健常海猿ニ於テハ證明サ

レナイ。三種ノ有效因子中親和性最モ強キハ、Np-物質デ次デ Ha-物質、To-物質ノ順デアル。

第 43 表 結核及ビ健常海猿ノ皮膚及ビ肝臟ノ「ツベルクリン」有效因子 (Ha-物質) 親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番用號	皮 膚		肝 臟		對 照			
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猿	22	♂	350	2.5×2.5	2.0×2.0	1081	0.5×0.5	0.3×0.3	+	0.3×0.3	—	+	2.0×2.0	1.5×1.5
						1082	0.5×0.5	0.3×0.3	+	0.4×0.4	—	+	1.5×1.3	1.2×1.0
						1083	0.7×0.7	0.4×0.4	+	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.8×1.8	1.5×1.5
,,	23	♂	340	2.0×2.0	1.5×1.5	1084	0.4×0.3	—	+	0.5×0.5	0.2×0.2	+	2.0×2.2	1.8×2.0
						1085	0.5×0.5	0.5×0.5	+	0.4×0.4	—	+	2.3×2.3	2.0×2.0
						1086	0.3×0.3	—	+	0.7×0.7	0.5×0.5	+	1.7×1.7	1.5×1.5
,,	24	♂	370	3.0×3.0	2.5×2.5	1087	0.4×0.4	—	+	0.3×0.3	—	+	1.9×1.8	1.6×1.5
						1088	0.7×0.7	0.5×0.5	+	0.5×0.5	0.3×0.3	+	2.0×2.0	1.8×1.8
						1089	0.4×0.4	—	+	0.3×0.3	—	+	1.0×1.0	0.8×0.8
健常海猿	91	♀	310	—	—	1180	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
						1181	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						1182	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
,,	92	♀	330	—	—	1183	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.3×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						1184	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
						1185	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2

第 44 表 結核及ビ健常海猿皮膚並ニ肝臟ノ To-物質親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗番號	實驗時體重(瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内反應番號	皮内反應ニ依ル親和性試驗					
			R	I		皮 R	皮 I	膚 成績	肝 R	肝 I	臟 成績
結核海猿	25 ♀	380	2.7	2.5	10	10900.6×0.60.3×0.3+0.3×0.3 +1.9×1.81.6×1.5					
						10920.5×0.50.3×0.3+0.3×0.3 - +2.0×2.01.8×1.8					
						10930.4×0.40.2×0.2+0.7×0.70.5×0.5+1.8×1.81.5×1.5					
..	26 ♀	360	2.3	2.0	2.0	10940.5×0.60.3×0.4+0.4×0.4 - +1.5×1.51.2×1.2					
						10950.2×0.2 - +0.5×0.50.3×0.3+1.4×1.41.2×1.2					
..	27 ♂	400	2.8	2.5	2.5	10960.7×0.70.5×0.5+0.6×0.60.3×0.3+1.3×1.31.0×1.0					
						10970.8×0.80.5×0.5+0.3×0.3 - +2.0×2.01.5×1.5					
健常海猿	93 ♂	350	-	-	-	10981.0×1.00.8×0.8±0.5×0.5 - +1.3×1.31.0×1.0					
						11861.2×1.21.0×1.0-1.3×1.31.0×1.0-1.4×1.41.2×1.2					
						11871.3×1.31.0×1.0-1.3×1.31.0×1.0-1.5×1.51.2×1.2					
..	94 ♀	320	-	-	-	11881.0×1.00.8×0.8-1.2×1.21.0×1.0-1.3×1.31.0×1.0					
						11891.3×1.31.0×1.0-1.4×1.41.2×1.2-1.5×1.51.2×1.2					
						11901.2×1.31.0×1.0-1.3×1.31.0×1.0-1.6×1.61.3×1.3					
11911.5×1.51.2×1.2-1.4×1.41.2×1.2-1.6×1.61.3×1.3											

第 45 表 結核及ビ健常海猿皮膚及ビ肝臟ノ Np- 物質親和性有無試驗成績

海猿種類	海性實驗番號	實驗時體重(瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内反應番號	皮内反應ニ依ル親和性試驗					
			R	I		皮 R	皮 I	膚 成績	肝 R	肝 I	臟 成績
結核海猿	28 ♀	320	2.3	2.0	2.0	10990.4×0.4 - + - - +1.7×1.71.5×1.5					
						11000.3×0.3 - +0.2×0.2 - +1.8×1.81.5×1.5					
						1101 - - + - - +1.0×1.00.8×0.8					
..	29 ♀	345	2.6	2.3	2.3	11020.5×0.50.2×0.2+0.3×0.3 - +1.3×1.31.0×1.0					
						11030.4×0.4 - +0.3×0.3 - +1.5×1.51.2×1.2					
..	30 ♀	350	3.0	3.0	2.5	11040.3×0.3 - +0.5×0.50.3×0.3+1.6×1.61.3×1.3					
						11050.2×0.2 - +0.4×0.40.2×0.2+1.7×1.71.5×1.5					
						11060.5×0.60.2×0.3+0.2×0.2 - +1.5×1.51.3×1.3					
健常海猿	95 ♂	320	-	-	-	1107 - - + - - +1.2×1.21.0×1.0					
						11921.5×1.51.3×1.3-1.2×1.21.0×1.0-1.4×1.41.2×1.2					
						11931.2×1.21.0×1.0-1.3×1.31.0×1.0-1.5×1.51.2×1.2					
..	96 ♀	340	-	-	-	11941.5×1.51.2×1.2-1.4×1.41.2×1.2-1.6×1.61.3×1.3					
						11951.2×1.21.0×1.0-1.3×1.31.0×1.0-1.5×1.51.3×1.3					
						11961.4×1.41.0×1.0-1.3×1.51.0×1.2-1.3×1.41.0×1.0					
11971.0×1.00.8×0.8-1.2×1.21.0×1.2-1.3×1.31.0×1.0											

第十章 健常及ヒ結核「マウス」皮膚竝ニ各臓器ノ「ツベルクリン」親和性

第一節 實驗記載

海狸ニ於ケル實驗成績ハ第九章迄ニ記載シテアル如ク、「ツ・ア」海狸ノ皮膚竝ニ各臓器ニハ「ツベルクリン」親和性アルコトガ明白トナツタノデ、次ニ天然結核免疫動物デアル「マウス」ニ就テ實驗ヲ行ツテ見タ。即チ3頭宛ノ健常及ヒ結核「マウス」ニ就テ「ツベルクリン」親和性ノ有無

ヲ實驗シテ見タ。健常「マウス」15瓦以上ノモノヲ選ビ、之ニ人型F株結核菌2.0疋皮下注射シ、1ヶ月後「ツ」皮内反應ヲ行ツタ後、皮膚竝ニ各臓器ニ就テ「ツベルクリン」親和性ヲ見タノデアル。

第二節 實驗成績

第一項 皮膚

第46表ガツノ實驗成績デアル。即チ結核海狸ト異リ「マウス」ハ結核ニ感染スルモ、「ツ」皮内反應ハ陰性デアリ、皮膚ノ「ツベルクリン」親和性モ認メラレナイ。健常「マウス」モ同様デア

第二項 各臓器

結核及ヒ健常「マウス」ノ肺臟、肝臟、子宮等一ハ、第47、48、49ノ3表ニ記載シテアル如ク、何レモ「ツベルクリン」親和性ヲ認メナイ。即チ天然免疫性ノ「マウス」ニハ「ツ」親和性ハナイノデアル。

第三節 小 括

天然結核免疫ヲ有スル「マウス」ハ結核ニ感染スルモ、「ツ・ア」發現セス、又皮膚竝ニ各臓器ニハ

「ツベルクリン」親和性モ證明サレナイ。

第 46 表 健常及ヒ結核「マウス」皮膚ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「マウス」種類	性別	實驗時番號	體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 - 依ル親和性試驗								
				R	I	皮内反應番號	健常「マウス」皮膚			結核「マウス」皮膚			對照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「マウス」	♀	1	15	—	—	632	1.5×1.2	1.3×1.0	—	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3
						633	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
結核「マウス」	♀	4	20	—	—	634	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0
						647	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.6×1.6	1.3×1.3
健常「マウス」	♀	2	15	—	—	648	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2
						649	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
結核「マウス」	♀	5	15	—	—	662	1.5×1.6	1.3×1.4	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.5	1.4×1.2
						663	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.1×1.0	0.9×0.8
健常「マウス」	♀	3	15	—	—	664	1.4×1.5	1.2×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						664	1.4×1.5	1.2×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2

第 47 表 健常及ビ結核「マウス」肺臓ノ「ツベルクリン」親和性實驗

「マウス」種類	「マウス」番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番號	健常「マウス」肺臓			結核「マウス」肺臓			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
健「マウス」常	1♀	15	—	—	635	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.2×1.2	
					636	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	
結「マウス」核	4♀	20	—	—	637	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	
					638	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	
健「マウス」常	2♀	15	—	—	650	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.4×1.4	
					651	1.5×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
結「マウス」核	5♀	15	—	—	652	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5	
					653	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0	
健「マウス」常	3♀	15	—	—	665	1.7×1.6	1.5×1.4	—	1.4×1.5	1.2×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	
					666	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8	
結「マウス」核	6♀	20	—	—	667	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	

第 48 表 健常及ビ結核「マウス」肝臓ノ「ツベルクリン」親和性實驗

「マウス」種類	「マウス」番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番號	健常「マウス」肝臓			結核「マウス」肝臓			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
健「マウス」常	1♀	15	—	—	638	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					639	1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	
結「マウス」核	4♀	20	—	—	640	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	
					641	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
健「マウス」常	2♀	15	—	—	653	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0	
					654	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.8	1.5×1.6	
結「マウス」核	5♀	15	—	—	655	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
					656	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
健「マウス」常	3♀	15	—	—	668	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					669	1.4×1.5	1.2×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	
結「マウス」核	6♀	20	—	—	670	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.7×1.6	1.5×1.4	

第 49 表 健常及ビ結核「マウス」腸ノ「ツベルクリン」親和性實驗

「マウス」種類	「マウス」番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番號	健常「マウス」腸			結核「マウス」腸			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
健「マウス」常	1♀	15	—	—	641	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					642	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
結「マウス」核	4♀	20	—	—	643	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					644	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
健「マウス」常	2♀	15	—	—	656	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0	
					657	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	
結「マウス」核	5♀	15	—	—	658	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
					659	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
健「マウス」常	3♀	15	—	—	671	1.6×1.7	1.3×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	
					672	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	
結「マウス」核	6♀	20	—	—	673	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	

第50表 健常及ビ結核「マウス」子宮ノ「ツベルクリン」親和性實驗

「マウス」種類	性	實驗時(天)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應—ヨル親和性試驗									
			R	I	皮内反應用號	健常「マウス」子宮			結核「マウス」子宮			對照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
健「マウス」	常	1♀	15	—	—	644	2.0×2.0	1.8×1.8	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.9×2.0	1.6×1.7
						645	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3
結「マウス」	核	4♀	20	—	—	646	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						659	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
健「マウス」	常	2♀	15	—	—	660	1.5×1.6	1.3×1.4	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
						661	1.3×1.4	1.1×1.2	—	1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.3	1.2×1.0
結「マウス」	核	5♀	15	—	—	674	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.5×1.4	1.3×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						675	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.7	1.5×1.4
健「マウス」	常	3♀	15	—	—	676	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7	—	0.8×0.8	0.5×0.5
						676	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.7×0.7	—	0.8×0.8	0.5×0.5

第十一章 健常及ビ結核「ラッテ」皮膚竝ニ各臓器ノ「ツベルクリン」親和性

第一節 實驗記載

「マウス」同様天然結核免疫ヲ有スル「ラッテ」ニ就テ、皮膚竝ニ各臓器ガ「ツベルクリン」親和性ヲ有スルヤ否ヤヲ實驗シテ見タ。3頭ノ成熟「ラッテ」ニ人型F株結核菌5.0疋皮下接種後1ケ

月目ニ「ツ」皮内反應ヲ實施シ、皮膚竝ニ各臓器ニ就テ實驗シタノデア。健常「ラッテ」ニ就テモ同時ニ實驗シタ。

第二節 實驗成績

第一項 皮膚

健常及ビ結核「ラッテ」ノ皮膚ニ關スル實驗成績ハ第51表ニ記載シテアル。即チ「ツ」皮内反應ハ何レモ陰性デアリ、結核ニ感染スルモ陽性トナラナイ。又「ツベルクリン」親和性ヲ認めラレナイノデア。

第二項 各臓器

健常及ビ結核「ラッテ」ノ肺臓、肝臓、脾臓、腎臓、心臓、筋肉、腸、子宮等ノ各臓器ニ關スル實驗成績ハ、夫々第52表、53表、54表、55表、56表、57表、58表、59表ニ記載シテアル如ク何レモ「ツベルクリン」親和性ヲ認めルコトガ出来ナイ。

第三節 小 括

天然結核免疫動物デア「ラッテ」ハ「マウス」ト同様ニ結核菌ヲ接種サル、モ、「ツベルクリン」アレルギー」發現シナイノデアツテ、皮膚竝ニ

各臓器モ健常「ラッテ」同様ニ「ツベルクリン」親和性が證明サレナイノデア。

第 51 表 健常及ビ結核「ラッテ」皮膚ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗									
						皮海内反應用番號	健常「ラッテ」皮膚			結核「ラッテ」皮膚			對 照		
							R	I	成績	R	I	成績	R	I	
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	677	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.0	0.8×0.8		
					678	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0		
結核「ラッテ」	4♀	280	—	—	679	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.4×1.4	—	1.5×1.5	1.2×1.2		
					704	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2		
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	705	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.3×1.3		
					706	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2		
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	731	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.8×1.8		
					732	2.0×2.0	1.8×1.8	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5		
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	733	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2		
					733	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2		

第 52 表 健常及ビ結核「ラッテ」肺臟ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗									
						皮海内反應用番號	健常「ラッテ」肺臟			結核「ラッテ」肺臟			對 照		
							R	I	成績	R	I	成績	R	I	
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	680	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0		
					681	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5		
結核「ラッテ」	4♀	280	—	—	682	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2		
					707	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0		
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	708	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2		
					709	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3		
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	734	1.6×1.6	1.4×1.4	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5		
					735	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5		
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	736	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2		
					736	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2		

第 53 表 健常及ビ結核「ラッテ」肝臟ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗									
						皮海内反應用番號	健常「ラッテ」肝臟			結核「ラッテ」肝臟			對 照		
							R	I	成績	R	I	成績	R	I	
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	683	1.5×1.4	1.2×1.1	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3		
					684	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2		
結核「ラッテ」	6♀	280	—	—	685	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3		
					710	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.0×1.2	0.8×1.0	—	1.1×1.0	0.9×0.8		
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	711	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.3×1.3		
					712	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3		
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	737	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.7×1.7	1.5×1.5		
					738	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.2×1.3	—	1.7×1.7	1.6×1.6		
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	739	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.4	1.2×1.1	—	1.5×1.5	1.2×1.2		
					739	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.4	1.2×1.1	—	1.5×1.5	1.2×1.2		

第 54 表 健常及ビ結核「ラッテ」脾臓ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮海内反應番號	健常「ラッテ」脾臓			結核「ラッテ」脾臓			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	686	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5
結核「ラッテ」	4♀	280	—	—	688	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	713	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5
						1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	715	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
						1.7×1.7	1.5×1.6	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	740	1.7×1.8	1.5×1.6	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3
						1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.0×1.0
結核「ラッテ」	6♀	270	—	—	742	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.2×1.2

第 55 表 健常及ビ結核「ラッテ」腎臓ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = ヨル親和性試驗								
			R	I	皮海内反應番號	健常「ラッテ」腎臓			結核「ラッテ」腎臓			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	689	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5
結核「ラッテ」	6♀	280	—	—	691	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5
						1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	716	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	717	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.4×1.2
						1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.4×1.2
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	743	1.5×1.3	1.2×1.0	—	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.1×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
結核「ラッテ」	6♀	270	—	—	745	1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.3×1.4	1.0×1.1	—	1.5×1.5	1.0×1.0
						1.2×1.3	1.0×1.0	—	1.3×1.4	1.0×1.1	—	1.5×1.5	1.0×1.0

第 56 表 健常及ビ結核「ラッテ」心臓ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮海内反應番號	健常「ラッテ」心臓			結核「ラッテ」心臓			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	692	1.7×1.7	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3
						1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.4×1.4	—	1.7×1.7	1.5×1.5
結核「ラッテ」	4♀	280	—	—	694	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.8×1.8
						1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	719	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	721	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5
						1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	746	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3
結核「ラッテ」	6♀	270	—	—	748	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3
						1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3

第 57 表 健常及ビ結核「ラッテ」筋肉ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内癩反應番號	皮内反應 = 依ル親和性試驗							
			R	I		健常「ラッテ」筋肉			結核「ラッテ」筋肉			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	695	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						696	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.6
結核「ラッテ」	6♀	280	—	—	697	1.7×1.5	1.5×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	2.0×2.0	1.7×1.7
						722	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	723	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3
						724	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	749	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.2×1.2	1.0×1.0
						750	1.5×1.6	1.3×1.4	—	1.4×1.5	1.2×1.3	—	1.6×1.6
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	751	1.2×1.3	1.0×1.1	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0
						751	1.2×1.3	1.0×1.1	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4

第 58 表 健常及ビ結核「ラッテ」腸ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内癩反應番號	皮内反應 = 依ル親和性試驗							
			R	I		健常「ラッテ」腸			結核「ラッテ」腸			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	698	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						699	2.0×2.0	1.6×1.6	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.9×2.0
結核「ラッテ」	4♀	280	—	—	700	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.8×1.8	1.5×1.5
						725	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	726	1.7×1.5	1.5×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.5×1.5
						727	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	752	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						753	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.4×1.4
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	754	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
						754	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.3×1.3

第 59 表 健常及ビ結核「ラッテ」子宮ノ「ツベルクリン」親和性實驗成績

「ラッテ」種類	「ラッテ」番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内癩反應番號	皮内反應 = 依ル親和性試驗							
			R	I		健常「ラッテ」子宮			結核「ラッテ」子宮			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
健常「ラッテ」	1♀	230	—	—	701	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3
						702	1.7×1.7	1.4×1.4	—	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.6×1.6
結核「ラッテ」	4♀	280	—	—	703	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.4×1.4	1.0×1.0
						728	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.5×1.5
健常「ラッテ」	2♀	240	—	—	729	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2
						730	1.9×1.9	1.6×1.6	—	2.0×2.0	1.8×1.8	—	1.8×1.8
結核「ラッテ」	5♀	250	—	—	755	2.0×2.0	1.8×1.8	—	2.1×2.0	1.8×1.6	—	2.0×2.0	1.8×1.8
						756	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7
健常「ラッテ」	3♀	250	—	—	757	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						757	1.6×1.5	1.3×1.2	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.7×1.7

第十二章 結核海猿皮膚及ビ各臓器ノ「ツベルクリン」

親和性ニ及ボス乾燥ノ影響

第一節 實驗記載

第十一章迄ニ於テ「ツ・ア」動物ノ皮膚竝ニ各臓器ニハ著明ニ「ツベルクリン」ヲ親和スル作用アルコトガ判明シタル故、本章以下ニ於テハ此ノ親和性物質ノ性状ヲ檢討シ、「ツベルクリン」反應ノ本態ノ一端ヲ窺知スルコトニシタノデアアル。先ヅ初ニ乾燥ニ對スル影響ヲ檢查シタ。即

チ3頭ノ健常海猿ニ1.0 疋ノ人型F株結核菌接種後4週間目ニ「ツ」皮内反應ヲ檢シ、陽性ナルコトヲ確カメ、該海猿ノ皮膚竝ニ各臓器ヲ乾燥粉末トナシ、之ニ就テ「ツベルクリン」親和性ノ有無ヲ實驗シタノデアアル。

第二節 實驗成績

皮膚竝ニ肺臓ヲ乾燥粉末トナシ、之レニ就テ「ツベルクリン」親和性有無試驗ヲ行ヒタル實驗成績ハ、第60表ニ記載サレテキル如ク、「ツベルクリン」親和性ハ何レモ陰性デアアル。尙肝臓、脾臓、腎臓、心臟、腸及ビ子宮ニ就テモ實驗シテ

見タガ、同様ニ「ツベルクリン」親和性ハ消失シテキルコトガ判明シタ。然シ是等ノ實驗成績ハ皮膚ノ成績ト同一デアアルカラ、ソノ成績表ハ省略スルコトトシタ。

第 60 表 結核海猿皮膚及ビ肺臓ノ舊「ツベルクリン」親和性ニ及ボス乾燥ノ影響

海猿種類	海猿番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮海内反應番號	皮内反應ニ依ル親和性試驗														
			R	I		皮 R	皮 I	成績	肺 R	肺 I	成績	對照 R	對照 I							
結核海猿	72 ♀	350	2.3	2.3	2.0	810	1.8	1.8	1.5	1.5	—	1.5	1.5	1.3	1.3	—	1.7	1.7	1.5	1.5
						811	2.0	2.0	1.8	1.8	—	1.7	1.7	1.5	1.5	—	1.6	1.6	1.3	1.3
						812	2.0	2.0	1.5	1.5	—	1.6	1.6	1.3	1.3	—	1.7	1.7	1.5	1.5
,,	73 ♀	360	2.1	2.4	2.2	822	1.7	1.7	1.5	1.5	—	1.8	1.8	1.5	1.5	—	1.6	1.6	1.3	1.3
						823	1.0	1.0	0.8	0.8	—	1.2	1.2	1.0	1.0	—	1.3	1.3	1.0	1.0
						824	1.2	1.2	1.0	1.0	—	1.5	1.5	1.3	1.3	—	1.4	1.4	1.2	1.2
,,	74 ♀	330	2.7	2.7	2.5	834	1.5	1.5	1.2	1.2	—	1.6	1.6	1.3	1.3	—	1.3	1.3	1.0	1.0
						835	1.2	1.5	1.0	1.3	—	1.7	1.5	1.5	1.2	—	1.6	1.6	1.4	1.4
						836	1.3	1.3	1.0	1.0	—	1.4	1.4	1.2	1.2	—	1.5	1.5	1.0	1.0

第三節 小 括

結核海猿皮膚竝ニ各臓器ノ「ツベルクリン」親和性ハ乾燥ニ依リ消失スル。

第十三章 屠殺後ノ時間經過ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス影響

第一節 實驗記載

結核海狸皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ハ屠殺後ノ時間的經過ト如何ナル關係ガアルカヲ見ル爲一本實驗ヲ行ツタノデアル。先ヅ最初ニ屠殺後 24 時間後ノ皮膚竝ニ各臟器ニ就テ實驗シテ見タノデアル。即チ人型 F 株結核菌 1.0 疋感染後 4 週間經過シタ 3 頭ノ海狸ノ「ツ」皮内反應ヲ檢シタ後之ヲ屠殺シ、24 時間室温ニ

放置シタ後、皮膚竝ニ各臟器ニ就テ「ツベルクリン」親和性試験ヲ行ツタ處何レモ陰性ニ終ツタ。依テ時間ヲ短縮シ 1 時間ヨリ 7 時間迄ノ皮膚ノミニ就テ實驗シタ。各臟器ニ就テハ之迄ノ實驗ニテ皮膚ノ成績ニ一致シテキル故、省略スルコトトシタ。

第二節 實驗成績

第一項 屠殺後 24 時間

第 61 表ハ結核海狸皮膚及ビ肺臟ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績デアル。尙ソノ他ノ各臟器ニ就テ行ツタ實驗成績モ皮膚ノ成績ト同様デアルカラ、ソノ成績表ハ省略シタ。即チ屠殺後 24 時間經過 スルトキハ、皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ハ陰性トナル。

第二項 屠殺後 1 時間

本項ノ實驗成績ハ第 62 表ニ記載シテアル如ク、屠殺後 1 時間ニ於テハ、屠殺直後同様著明ニ「ツベルクリン」親和性ガ認めラレルノデアル。

第三項 屠殺後 2 時間

第 63 表ニ本項ノ實驗成績ガ記載サレテキル。即チ屠殺後 2 時間ニハ尙「ツ」親和性ヲ認メル。

第四項 屠殺後 3 時間

第 64 表ヲ見ルニ「ツ」親和性ハ尙陽性デアル。

第五項 屠殺後 4 時間

屠殺後 4 時間ニ於ケル結核海狸皮膚ノ「ツベル

クリン」親和性ハ (第 65 表ヲ見ルニ) 第 34 號海狸ニ於テハ陽性デアルガ、第 35 號海狸デハ陰性、第 36 號海狸ハ土デアル。即チ屠殺後 4 時間經過スルトキハ、親和性物質 (組織性抗体) ノ力ハ甚シク減弱シテ來ルコトガ認めラレル。

第六項 屠殺後 5 時間

屠殺後 5 時間ニ於テハ第 66 表ニ記載シテアル如ク、第 34 號ハ陽性デアルガ他ノ 2 例ハ陰性デアル。

第七項 屠殺後 6 時間

屠殺後 6 時間經過 スルトキハ、第 67 表ニソノ實驗成績ガ記載シテアル如ク、皮膚ノ組織抗体ハ全ク破壊サレルモノト見エ、「ツベルクリン」親和性ハ陰性トナル。

第八項 屠殺後 7 時間

第 68 表ニ實驗成績ガ記載サレテキル。即チ前項ト同様「ツベルクリン」親和性ハ陰性デアル。

第三節 小 括

結核海狸ハ屠殺後 3 時間迄ソノ皮膚ノ「ツベルクリン」親和性陽性ナルモ、4 時間後ニ至レバソノ作用減弱シ始メ、6 時間以後ニハ全ク親和性ガ失ハレルノデアル。即チ皮膚ノ組織抗体ハ屠

殺後 6 時間ニ至レバ破壊サレルモノト思ハレル。屠殺後 24 時間ニ於テ、皮膚竝ニ各臟器ニ「ツ」親和性が見ラレナカツタコトガ首肯サレルノデアル。

第 61 表 屠殺後 24 時間ノ結核海猿皮膚及ヒ肺臟ノ舊「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗														
		R	I	皮海内反應番號	皮 膚			肺 臟			對 照							
					R	I	成績	R	I	成績	R	I						
結核海猿	78 ♀	320	1.8	1.5	882	1.2	1.2	1.0	1.0	1.3	1.3	1.0	1.0	1.3	1.3	1.0	1.0	
						883	1.3	1.3	1.0	1.0	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0
						884	1.0	1.0	0.8	0.8	1.2	1.2	1.0	1.0	1.3	1.3	1.0	1.0
..	79 ♀	340	2.5	2.0	894	1.2	1.2	1.0	1.0	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	
						895	1.3	1.3	1.0	1.0	1.5	1.5	1.2	1.2	1.7	1.7	1.5	1.5
						896	1.4	1.4	1.2	1.2	1.5	1.5	1.2	1.2	1.5	1.5	1.2	1.2
..	80 ♀	350	2.6	2.3	906	1.6	1.6	1.3	1.3	1.7	1.7	1.5	1.5	1.8	1.8	1.5	1.5	
						907	1.0	1.0	0.7	0.7	1.3	1.3	1.0	1.0	1.2	1.2	1.0	1.0
						908	1.5	1.5	1.2	1.2	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.3	1.0	1.0

第 62 表 屠殺後 1 時間結核海猿皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗															
		R	I	皮海内反應番號	屠殺後 1 時間			直後(對照)			對 照								
					R	I	成績	R	I	成績	R	I							
結核海猿	31 ♂	330	3.0	3.0	1117	0.4	0.4	0.2	0.2	+	0.3	0.3	—	+	1.4	1.4	1.2	1.2	
						1118	0.3	0.3	—	+	0.4	0.4	0.2	0.2	+	1.3	1.3	1.0	1.0
						1119	0.5	0.5	0.3	0.3	+	0.3	0.3	—	+	1.5	1.5	1.0	1.0
..	35 ♂	360	2.5	2.0	1138	0.2	0.2	—	+	0.3	0.3	—	+	1.2	1.2	1.0	1.0		
						1139	0.4	0.4	—	+	0.3	0.3	—	+	1.5	1.5	1.3	1.3	
						1140	0.5	0.5	0.3	0.3	+	0.2	0.2	—	+	1.6	1.6	1.3	1.3
..	36 ♂	370	2.3	2.0	1159	0.5	0.5	0.2	0.2	+	0.4	0.4	0.2	0.2	+	1.3	1.3	1.0	1.0
						1160	0.3	0.3	—	+	0.3	0.3	—	+	1.5	1.5	1.2	1.2	
						1161	0.4	0.4	0.2	0.2	+	0.2	0.2	—	+	1.0	1.0	0.8	0.8

第 63 表 屠殺後 2 時間結核海猿皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗															
		R	I	皮海内反應番號	屠殺後 2 時間			直後(對照)			對 照								
					R	I	成績	R	I	成績	R	I							
結核海猿	34 ♂	330	3.0	3.0	1120	0.7	0.7	0.5	0.5	+	0.5	0.5	0.2	0.2	+	1.6	1.6	1.3	1.3
						1121	0.3	0.3	—	+	0.4	0.4	0.2	0.2	+	1.3	1.3	1.0	1.0
						1122	0.5	0.5	0.3	0.3	+	0.3	0.3	—	+	1.5	1.5	1.0	1.0
..	35 ♂	360	2.5	2.0	1141	0.3	0.3	—	+	0.4	0.4	0.2	0.2	+	1.3	1.3	1.0	1.0	
						1142	0.3	0.3	—	+	0.2	0.2	—	+	1.7	1.7	1.5	1.5	
						1143	0.4	0.4	0.2	0.2	+	0.3	0.3	—	+	1.5	1.5	1.3	1.3
..	36 ♂	370	2.3	2.0	1162	0.3	0.3	—	+	0.3	0.3	—	+	1.3	1.3	1.0	1.0		
						1163	0.5	0.5	0.3	0.3	+	0.1	0.4	—	+	1.6	1.6	1.3	1.3
						1164	0.6	0.6	0.3	0.3	+	0.3	0.3	—	+	1.7	1.7	1.5	1.5

第 64 表 屠殺後 3 時間結核海狸皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 狸 種 類	海 狸 番 號	性 實 驗 時 體 重 (瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮 海 狸 反 應 番 用 號	屠殺後 3 時間			直後 (對照)			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海狸	34 ↑	330	3.0 × 3.0	2.5 × 2.5	1123	0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	+ 0.3 × 0.3	—	+ 1.8 × 1.8	1.5 × 1.5		
					1124	0.4 × 0.4	—	+ 0.3 × 0.3	—	+ 1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		
					1125	0.3 × 0.3	—	+ 0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+ 1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		
..	35 ..	360	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	1144	0.4 × 0.4	—	+ 0.2 × 0.2	—	+ 1.5 × 1.6	1.3 × 1.4		
					1145	0.3 × 0.3	—	+ 0.3 × 0.3	—	+ 1.4 × 1.4	1.2 × 1.2		
					1146	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+ 0.4 × 0.4	—	+ 1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		
..	36 ..	370	2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	1165	0.6 × 0.6	0.3 × 0.3	+ 0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+ 1.5 × 1.5	1.2 × 1.2		
					1166	0.7 × 0.7	0.5 × 0.5	+ 0.3 × 0.3	—	+ 1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		
					1167	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+ 0.2 × 0.2	—	+ 1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		

第 65 表 屠殺後 4 時間結核海狸皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 狸 種 類	海 狸 番 號	性 實 驗 時 體 重 (瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮 海 狸 反 應 番 用 號	屠殺後 4 時間			直後 (對照)			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海狸	34 ↑	330	3.0 × 3.0	2.5 × 2.5	1126	0.6 × 0.6	0.3 × 0.3	+ 0.3 × 0.3	—	+ 2.0 × 2.0	1.8 × 1.8		
					1127	0.7 × 0.7	0.5 × 0.5	+ 0.4 × 0.4	—	+ 1.8 × 1.8	1.5 × 1.5		
					1128	0.7 × 0.6	0.5 × 0.4	+ 0.2 × 0.2	—	+ 1.5 × 1.5	1.0 × 1.0		
..	35 ..	360	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	1147	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	— 0.3 × 0.3	—	+ 1.2 × 1.2	1.0 × 1.0		
					1148	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	— 0.2 × 0.2	—	+ 1.3 × 1.3	1.0 × 1.0		
					1149	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	— 0.3 × 0.3	—	+ 1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		
..	36 ..	370	2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	1168	0.8 × 0.8	0.5 × 0.5	± 0.3 × 0.3	—	+ 1.3 × 1.3	1.0 × 1.0		
					1169	1.0 × 1.0	0.7 × 0.7	± 0.3 × 0.3	—	+ 1.5 × 1.5	1.2 × 1.2		
					1170	0.6 × 0.6	0.3 × 0.3	± 0.2 × 0.2	—	+ 1.0 × 1.0	0.8 × 0.8		

第 66 表 屠殺後 5 時間結核海狸皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海 狸 種 類	海 狸 番 號	性 實 驗 時 體 重 (瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗								
			R	I	皮 海 狸 反 應 番 用 號	屠殺後 5 時間			直後 (對照)			對 照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海狸	34 ↑	330	3.0 × 3.0	2.5 × 2.5	1129	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+ 0.3 × 0.3	—	+ 1.3 × 1.3	1.0 × 1.0		
					1130	0.6 × 0.6	0.3 × 0.3	+ 0.4 × 0.4	—	+ 1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		
					1131	0.8 × 0.8	0.5 × 0.5	+ 0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	+ 2.1 × 2.1	1.8 × 1.7		
..	35 ..	360	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	1150	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	— 0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	+ 1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1151	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	— 0.3 × 0.3	—	+ 1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		
					1152	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	— 0.2 × 0.2	—	+ 1.4 × 1.4	1.2 × 1.2		
..	36 ..	370	2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	1171	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	— 0.3 × 0.3	—	+ 1.3 × 1.3	1.0 × 1.0		
					1172	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	— 0.2 × 0.2	—	+ 1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1173	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	— 0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+ 1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		

第 67 表 屠殺後 6 時間結核海猿皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
			R	I	屠殺後 6 時間			直後(對照)			對照		
					皮内反應番號	R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猿	34 ↑	330	3.0 × 3.0	2.5 × 2.5	1132	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	-0.4 × 0.4	—	+1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1133	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	-0.3 × 0.3	—	+1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		
					1134	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	-0.3 × 0.3	—	+1.4 × 1.4	1.2 × 1.2		
					1153	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	-0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+1.7 × 1.7	1.5 × 1.5		
..	35 ..	360	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	1154	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	-0.2 × 0.2	—	+1.5 × 1.5	1.2 × 1.2		
					1155	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	-0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	+1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1174	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	-0.3 × 0.3	—	+1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		
.	36 ..	370	2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	1175	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	-0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+1.8 × 1.8	1.5 × 1.5		
					1176	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	-0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	+1.4 × 1.4	1.0 × 1.0		

第 68 表 屠殺後 7 時間結核海猿皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海性實驗番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
			R	I	屠殺後 7 時間			直後(對照)			對照		
					皮内反應番號	R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核海猿	34 ↑	330	3.0 × 3.0	2.5 × 2.5	1135	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	-0.2 × 0.2	—	+1.2 × 1.2	1.0 × 1.0		
					1136	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	-0.3 × 0.3	—	+1.3 × 1.3	1.0 × 1.0		
					1137	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	-0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1156	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	-0.5 × 0.5	0.2 × 0.2	+1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		
..	35 ..	360	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	1157	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	-0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	+1.4 × 1.4	1.2 × 1.2		
					1158	1.6 × 1.7	1.3 × 1.4	-0.3 × 0.3	—	+1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1177	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	-0.3 × 0.3	—	+1.5 × 1.5	1.3 × 1.3		
..	36 ..	370	2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	1178	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	-0.2 × 0.2	—	+1.6 × 1.6	1.3 × 1.3		
					1179	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	-0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	+2.0 × 2.0	1.8 × 1.8		

第十四章 結核海猿ノ皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」

親和性ニ及ボス熱ノ影響

「アレルギー」疾患ニ於テ、患者血清中ニ含有サレテキル「レアギン」ハ、極メテ易熱性デ 56°C 30 分間ノ加熱デソノ作用ガ減弱サレルカ、尖ハレルコトハ三澤⁽³⁹⁾ノ實驗ニ於テ證明サレテキル。

又「ツベルクリン」反應ハ麻疹、猩紅熱、「インフルエンザ」、腸「チフス」等ノ急性傳染病ノ有熱期ニ於テ屢々消失スルコトハ、v. Pirquet⁽⁴⁰⁾、Preisch⁽⁴¹⁾、Rolly⁽⁴²⁾、Moltschanoff⁽⁴³⁾、Schiff⁽⁴⁴⁾、

Berliner⁽⁴⁵⁾、Kranhals⁽⁴⁶⁾、高須⁽⁴⁷⁾、大住、山大路⁽⁴⁸⁾、Mitchel、Nelson、Leblanc⁽⁴⁹⁾等ニヨリ報告サレテキル。格魯布性肺炎ニ就テハ Nothmann⁽⁵⁰⁾、Rolly⁽⁴²⁾ノ報告ガアルガ、矢張り有熱期ニ於テハ「ツベルクリン」反應陰性ニシテ、恢復期ニ陽性トナルト述バテキル。坂本、唐澤⁽⁵¹⁾ハ格魯布性肺炎ニ於テ「ツベルクリン」皮内反應ハ、有熱期ニハ減退乃至消失スルコトハ事實デアアルガ、解熱後早期ニ於テハ尙陰性デアアル

モノが存在スルコト、及ビ解熱後陽性トナツタ患者ガ他ノ疾患例ヘバ肺膿瘍、肋膜炎等ガ併發シテ熱發スルコトガアツテモ、「ツベルクリン」皮内反應ハ陰性トナラヌコトヨリ、「ツ」皮内反應ノ消失ノ原因ハ單ニ體溫ノ上昇ノミニ歸スベキモノデナク、本疾患ノ爲メニ起ツタ身體ノ變調ニヨルモノデアラウト述ベテキル。

第一節 實驗記載

人型 F 株結核菌 1.0 疋皮下接種後 4 週間經過セル 3 頭ノ結核海狸ニ就テ、先ヅ 10% 舊「ツベルクリン」皮内反應ヲ検査シ、陽性ナルコトヲ確かメタ後、皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ニ及ボス熱ノ影響ヲ實驗シタノデアアル。先ヅ最初ニ 56°C 30 分間加熱セル場合ノ影響ヲ見タノデアアルガ、皮膚竝ニ各臟器乳劑ヲ初メニ加熱シタ後「ツベルクリン」ヲ混合セル場合ト、「ツベルクリン」ヲ混合後 20 時間 37°C ニ保存シ

余ハ結核海狸皮膚或ハ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ガ熱ニヨリ如何ナル影響ヲ受クルモノナルカヲ實驗シ、此ノ「ツ」親和性物質即チ組織性抗體ガ熱ニヨリ變化スル状態ヲ觀察シテ、臨牀上ノ一時的「アレルギー」ノ成因ヲ究明セントシタノデアアル。

第二節 實驗成績

第一項 皮膚竝ニ各臟器ヲ 56°C 30 分間加熱セル場合

第 69 表ハ結核海狸ノ皮膚及ビ肺臟乳劑ヲ 56°C 30 分加熱後「ツ」親和性ノ有無ヲ見タル實驗成績デアアル。尙ソノ他ノ各臟器ノ實驗成績モ之ト同様ナル故ソノ成績表ハ省略シタ。即チ「ツ」親和性陽性ナル結核海狸ノ皮膚竝ニ各臟器ノ「ツ」親和性ハ 56°C 30 分加熱スルコトニ依リ陰性トナルノデアアル。

第二項 皮膚竝ニ各臟器糜ト「ツベルクリン」トヲ混和シ 20 時間 37°C ニ保存後 56°C 30 分間加熱セル場合

本項ノ實驗成績ハ第 70 表ニ記載シテアル。ソノ他ノ臟器ノ實驗成績ハ之ト略々同一デアアルカラソノ表ハ省略シタ。即チ一旦結合シタル「ツベルクリン」ハ 56°C 30 分加熱サレルコトニ依リ、再ビ分離スル爲メニ之ヲ結核海狸ノ皮内ニ注射スルトキハ、對照ノ成績ト變リガナイノデア

タ後ニ 56°C 30 分間加熱セル場合ノ 2 種ノ方法ニ就テ實驗シテ見タ。次ニ皮膚竝ニ各臟器乳劑ヲ全部實驗スル代リニ肝臟乳劑ヲ以テ代表サセ之レニ就テ 0°C ノ如キ低溫ヨリ 40°C、42°C、45°C、50°C ニ 1 時間放置シタ後ニ「ツベルクリン」親和性ノ有無ヲ検査シタ。更ニ肝糜ニ「ツベルクリン」ヲ加ヘ、之ヲ 20 時間 40°C ノ孵卵器ニ納メタ後、「ツベルクリン」親和性ニ如何ナル變化ガアルカヲモ實驗シタノデアアル。

ル。即チ「ツベルクリン」ニ對スル組織性抗體ガ破壊サレルトキハ、既ニ結合シテキルトコロノ「ツベルクリン」ヲ遊離セシムルコトヲ示スモノデアアル。

第三項 肝糜ヲ 0°C ニ 1 時間置キタル場合

本項ノ實驗成績ハ第 71 表デアアル。即チ 0°C ニ 1 時間放置スルトキハ、「ツベルクリン」親和性ハ失ハレルコトヲ示シテキル。

第四項 肝糜ヲ 40°C ニ 1 時間置キタル場合

結核海狸ノ肝糜ヲ 40°C ノ重湯煎中ニ入レタル後「ツベルクリン」親和性ヲ見タ實驗成績ハ第 72 表ニ記載シテアル如ク、9 例中 6 例ハ陽性デ 3 頭ハ陰性デアアル。

第五項 肝糜ヲ 42°C ニ 1 時間置キタル場合

第 73 表ガソノ實驗成績デアアル。本實驗ニ於テ

ハ 1 例トデ他ハ陽性デア。即チ肝臓ヲ 42°Cニ 1 時間置クモ「ツ」親和性ハ尙陽性デア。

第六項 肝臓ヲ 45°Cニ 1 時間

置キタル場合

第 74 表ニ實驗成績ガ記載シテアル如ク、陰性ノ場合モアルガ、尙親和性ガ保タレテキルコトヲ示シテキル。

第七項 肝臓ヲ 50°Cニ 1 時間

置キタル場合

第 75 表ガソノ實驗成績デア。肝臓ヲ 50°Cニ加熱スルトキハソノ作用全ク失ハレ、56°C 30 分加熱セル場合ノ成績ト同様デア。

第八項 肝臓ト「ツベルクリン」混和後

40°C 20 時間放置セル場合

第 76 表ニソノ成績ガ記載シテアル如ク 40°C 1 時間加熱ノ場合ニハ親和性消失シナイガ、「ツベ

ルクリン」ト共ニ 20 時間 40°Cニ置クトキハ、肝臓ノ「ツベルクリン」親和作用ガ行ハレタコトヲ物語ツテキル。即チ臨牀上傳染病ノ如キ高熱ヲ伴フ疾患ニ於テハ、體內ノ「ツベルクリン」親和性抗體ノ力ガ著シク減弱スル爲ニ、一時的「ツベルクリン・アレルギー」状態ガ生ズルノデアツテ、恢復期ニハ復活スルコトヲ説明スル實驗的證明デア。坂本、唐澤⁽⁵²⁾ハ一時的の高熱状態例ヘバ「マラリア」ノ如キ疾患ニ於テハ「アレルギー」トナラヌト述ベテキルガ、之モ 45°C 1 時間肝臓ヲ加熱スルモ「ツ」親和性存在スルコトヨリ説明シ得ルト思フ。組織性抗體ハ短時間 40—45°C 加熱スルモ破壊サレヌガ、40°Cヲ 20 時間以上持續的ニ作用サセレバソノ作用ガ著シク減弱スルカ破壊サレルコトヲ示スモノデア。

第三節 小 括

結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ハ 56°C 30 分間ノ加熱ニヨリ消失スル。又一日結合シタル「ツベルクリン」モ 56°C 30 分間ノ加熱ニヨリ遊離スル。結核海猿ノ肝臓ハ 0°Cニ 1 時間、50°Cニ 1 時間放置スルトキハ、ソノ

「ツ」親和性ガ失ハレルガ 40°C—45°C 1 時間デハ尙陽性デア。然シ肝臓ト「ツベルクリン」混合後 20 時間 40°C 作用サセレバ、「ツ」親和性陰性トナル。

第 69 表 結核海猿皮膚及ヒ肺臟ノ舊「ツベルクリン」親和性ニ及ボス熱ノ影響

加熱方法	海猿番號	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
			R	I	皮内反應番號	皮膚			肺臟			對照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
56°C 30分+ 「ツベルクリン」	66 ♀	350	3.0×3.0	2.5×2.5	758	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					759	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.3×1.3	1.0×1.0
					760	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.5×1.5	1.3×1.3
,,	67 ♀	370	2.5×2.5	2.0×2.0	770	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.8×0.8	0.5×0.5
					771	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.8×1.8	1.6×1.6	—	2.0×2.0	1.8×1.8
					772	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.3×1.3	—	1.6×1.6	1.3×1.3
,,	68 ♀	320	2.3×2.3	2.0×2.0	782	2.0×2.0	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.3×1.3
					783	1.8×1.7	1.5×1.4	—	1.9×2.0	1.6×1.7	—	1.4×1.4	1.2×1.2
					784	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.0×1.0	0.8×0.8

第 70 表 結核海猴皮膚及ヒ肺臟ノ舊「ツベルクリン」親和性及ホス熱ノ影響

加熱方法	海猴番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験								
			R	I	皮海猴内反應番號用號	皮膚			肺臟			對照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
「ツ」ト混合 37°C 20時間 56°C 30分	69 ♀	340	2.0 × 2.0	1.8 × 1.8	118	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.3	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.3	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
						1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.0	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
						1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.3	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.3	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
„	70 ♀	370	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	118	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	1.5	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.3	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3
						2.0 × 2.0	1.8 × 1.8	1.8	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	2.0	2.0 × 2.0	1.5 × 1.5
						2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	2.0	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	1.5	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3
„	71 ♀	380	2.5 × 2.5	2.0 × 2.0	118	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.3	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	1.5	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2
						1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	1.3	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	1.3	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
						1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	1.5	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2

第 71 表 「ツベルクリン」親和性及熱トノ關係(結核海猴肝臟)

溫度 (作用時間)	海猴番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験								
			R	I	皮海猴内反應番號用號	0°C 1時間			37°C 對照)			對照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
0°C	37 ↑	340	2.8 × 2.8	2.5 × 2.5	118	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0	0.3 × 0.3	—	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5
						1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	0.8	0.4 × 0.4	—	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
37°C	„	„	„	„	118	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.0	0.6 × 0.6	—	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
0°C	38 „	320	2.5 × 2.5	2.2 × 2.2	118	0.8 × 0.8	0.5 × 0.5	0.5	0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	0.2	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
						1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	0.8	0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	0.2	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
37°C	„	„	„	„	118	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0	0.3 × 0.3	—	—	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2
0°C	„	380	3.1 × 3.2	2.8 × 3.0	119	1.0 × 1.0	0.7 × 0.7	0.7	0.2 × 0.2	—	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
						1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.0	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	0.3	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3
37°C	„	„	„	„	119	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0	0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	0.2	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3

第 72 表 「ツベルクリン」親和性及熱トノ關係(結核海猴肝臟)

溫度 (作用時間)	海猴番號	性實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試験								
			R	I	皮海猴内反應番號用號	40°C 1時間			37°C (對照)			對照	
						R	I	成績	R	I	成績	R	I
40°C	37 ↑	340	2.8 × 2.8	2.5 × 2.5	118	0.7 × 0.7	0.5 × 0.5	0.5	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	0.3	2.0 × 2.0	1.6 × 1.6
						1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.0	0.4 × 0.4	—	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5
37°C	„	„	„	„	118	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	0.3	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	0.3	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
40°C	38 „	320	2.5 × 2.5	2.2 × 2.2	119	0.3 × 0.3	—	—	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	0.3	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5
						1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	1.0	0.3 × 0.3	—	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2
37°C	„	„	„	„	119	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	1.0	0.4 × 0.4	—	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2
40°C	39 „	380	3.1 × 3.2	2.8 × 3.0	119	0.6 × 0.6	0.3 × 0.3	0.3	0.3 × 0.3	—	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5
						0.7 × 0.7	0.5 × 0.5	0.5	0.2 × 0.2	—	—	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5
37°C	„	„	„	„	119	0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	0.2	0.3 × 0.3	—	—	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3

第 73 表 「ツベルクリン」親和性ト熱トノ關係(結核海癩肝臟)

溫 度 (作用時間)	海 癩 番 號	性 質 實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗									
					皮 海 癩 反 應 番 號	42°C 1 時間			37°C (對 照)			對 照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
42°C	40 ♀	380	2.5×2.5	2.3×2.3	1199	—	—	+	—	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	
					1200	0.5×0.5	0.3×0.3	+	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.5×1.5	1.2×1.2	
37°C	„	„	„	„	1201	0.3×0.3	—	+	0.2×0.2	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	
42°C	41 „	360	2.0×2.0	1.5×1.5	1205	0.6×0.6	0.3×0.3	+	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	
					1206	0.5×0.5	0.3×0.3	+	0.2×0.2	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	
37°C	„	„	„	„	1207	0.6×0.5	0.3×0.2	+	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	
42°C	42 „	390	2.3×2.3	2.0×2.0	1211	0.7×0.7	0.5×0.5	+	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	
					1212	0.8×0.8	0.5×0.5	±	0.3×0.3	—	+	1.2×1.2	1.0×1.0	
37°C	„	„	„	„	1213	0.5×0.5	0.3×0.3	+	0.4×0.4	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	

第 74 表 「ツベルクリン」親和性ト熱トノ關係(結核海癩肝臟)

溫 度 (作用時間)	海 癩 番 號	性 質 實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗									
					皮 海 癩 反 應 番 號	45°C 1 時間			37°C (對 照)			對 照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
45°C	40 ♀	380	2.5×2.5	2.3×2.3	1202	0.6×0.6	0.3×0.3	+	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	
					1203	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.7×0.7	0.5×0.5	+	2.3×2.3	2.0×2.0	
37°C	„	„	„	„	1204	0.5×0.5	0.3×0.3	+	—	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2	
45°C	41 „	360	2.0×2.0	1.5×1.5	1208	0.7×0.7	0.5×0.5	+	0.2×0.2	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5	
					1209	0.8×0.8	0.5×0.5	±	0.3×0.3	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0	
37°C	„	„	„	„	1210	1.2×1.2	1.0×1.0	±	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.8×1.8	1.5×1.5	
45°C	42 „	390	2.3×2.3	2.0×2.0	1214	0.5×0.5	0.3×0.3	+	—	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	
					1215	0.7×0.7	0.5×0.5	+	—	—	+	1.7×1.7	1.5×1.5	
37°C	„	„	„	„	1216	0.5×0.5	0.3×0.3	+	0.3×0.3	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2	

第 75 表 「ツベルクリン」親和性ト熱トノ關係(結核海癩肝臟)

溫 度 (作用時間)	海 癩 番 號	性 質 實 驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗									
					皮 海 癩 反 應 番 號	50°C 1 時間			37°C (對 照)			對 照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
50°C	43 ♀	400	3.2×3.3	3.0×3.0	1217	2.2×2.0	1.8×1.5	—	0.2×0.2	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	
					1218	2.4×2.4	2.0×2.0	—	0.8×0.8	0.5×0.5	+	2.0×2.0	1.5×1.5	
37°C	„	„	„	„	1219	1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.4×0.4	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5	
50°C	44 ♀	385	2.7×2.7	2.5×2.5	1220	2.0×2.0	1.8×1.8	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5	
					1221	1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5	1.3×1.3	
37°C	„	„	„	„	1222	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.3×0.3	—	+	1.6×1.6	1.3×1.3	
50°C	45 ♀	375	2.2×2.2	2.0×2.0	1223	1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	1.7×1.7	1.5×1.5	
					1224	1.4×1.4	1.2×1.2	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2	
37°C	„	„	„	„	1225	1.8×1.8	1.5×1.5	—	0.4×0.4	0.2×0.2	+	2.0×2.0	1.5×1.5	

第 76 表 「ツベルクリン」親和性ト熱トノ關係、結核海狸肝臟)

温 度 (二〇時 時間)	海 狸 番 號	性 質 時 體 重 (瓦)	10% 舊「ツベルク リン」皮内反應		皮 海 狸 反 應 番 用 號	皮内反應ニ依ル親和性試験									
			R	I		40°C 20 時間			37°C 20 時間 (對照)			對 照			
						R	I	成 績	R	I	成 績	R	I		
40°C	46 ♀	420	3.0×3.0	2.6×2.6		1.7×1.7	1.5×1.5	—	—	—	+	1.8×1.8	1.5×1.5		
37°C	„ „ „							1.5×1.5	1.2×1.2	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5
									1.2×1.2	1.0×1.0	—	0.2×0.2	—	+	1.5×1.5
40°C	47 „	430	3.2×3.2	3.0×3.0		1.6×1.6	1.3×1.3	—	0.6×0.6	0.3×0.3	+	1.7×1.7	1.5×1.5		
37°C	„ „ „							1.0×1.0	0.8×0.8	—	—	—	+	1.3×1.3	1.0×1.0
									2.0×2.0	1.8×1.8	—	0.8×0.8	0.5×0.5	+	1.7×1.7
40°C	48 „	400	2.6×2.6	2.3×2.3		1.3×1.3	1.0×1.0	—	0.3×0.3	—	+	1.5×1.5	1.2×1.2		
37°C	„ „ „							1.5×1.5	1.3×1.3	—	0.4×0.4	—	+	1.4×1.4	1.2×1.2
									1.5×1.6	1.3×1.4	—	0.5×0.5	0.3×0.3	+	1.3×1.3

第十五章 「ツベルクリン・アレルギー」動物組織ノ「ツベルクリン」

親和性ニ及ボス補體ノ影響

實驗の過敏症ノ場合ソノ血清ノ補體作用ガ減弱スルコトハ今日周知ノ事實トサレテキル。即チ Schütze u. Scheller⁽⁵²⁾, Sleeswijk⁽⁵³⁾, Doerr u. Russ⁽⁵⁴⁾, Friedberger u. Hartoch⁽⁵⁵⁾, Hartoch u. Sirenski⁽⁵⁶⁾, Paul u. Popper⁽⁵⁷⁾, Löwenstein⁽⁵⁸⁾ノ諸氏ハ過敏症「ショック」ノ場合補體量ノ減少スルコトヲ報告シテ以來、補體ノ減少ハ Friedberger u. Hartoch⁽⁵⁹⁾, 徳永⁽⁶⁰⁾, Veil u. Buchholz⁽⁶¹⁾, Schnabel⁽⁶²⁾, 稻野⁽⁶³⁾ノ諸氏一ヨリ過敏症ノ重要ナ一特徴ト見做サレルニ至ツタ。然シ人類ニ於ケル「アレルギー」性疾患ノ場合ニ於ケル實驗報告ハ多數アルガ、ソノ成績ハ必ズシモ一致シテキナイノデアル。例ヘバ Paul u. Pély⁽⁶⁴⁾ハ 30 例ノ蕁麻疹、氣管枝喘息、偏頭痛、クイック氏浮腫等ノ「アレルギー」性疾患ニ就テ、ソノ血清中ノ補體含量ヲ測定シテ見タ處ソノ殆ド全症例ニ於テ補體作用ノ減弱シテキルコトヲ認メテキル。Deutsch und Weiss⁽⁶⁵⁾等モ蕁麻疹ノ患者ニ於テ同様ニ補體ノ減少ヲ報告シテキル。然ルニ杉原⁽⁶⁶⁾ハ氣管枝喘息患者ノ發作

時ニ Jodeicon ヲ注射シテ喘息發作ヲ誘發サセソノ發作前後ノ血清ノ補體量ヲ検査シタガ、著シキ變化ヲ認メナカツタト云ヒ、柞原⁽⁶⁷⁾ハ「アレルギー」性疾患殊ニ氣管枝喘息竝ニ蕁麻疹患者ノ血清ニ就テ、補體含量ヲ測定シテ之ヲ報告シテキルガ、之ニ依ルト一般ニ氣管枝喘息患者ト蕁麻疹患者ノ血清ノ補體作用ハ健康者血清ニ比シ僅カニ弱キモ、ソノ値ハ概ネ正常値範圍内ニアル。

過敏症ト「ツベルクリン」反應ニ於ケル血液ノ變化ハ Löwenstein⁽⁶⁸⁾ノ著書ニモ見ラルル通り、著シイ差異ガアル。即チ「ツベルクリン」反應ノ際ニハ血液ノ不凝固性が見ラレナイシ、又白血球減少症ヤ淋巴球ノ増加ガ起リ、Friedberger 及ビ共同研究者ニ依テ實驗サレタ如キ補體ノ減少が見ラレナイト述バラレテキル。

余ハ「ツベルクリン」親和作用ト補體トノ關係ヲ明カニシ、延イテ「ツベルクリン」反應ニ補體ガ關係シテキルカ否カラ決定センガ爲ニ次ノ實驗ヲ企圖シタノデアル。

第一節 56°C 30 分加熱及ビ乾燥後補體ヲ加ヘタル結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性

第一項 實驗記載

結核海猿皮膚竝ニ各臟器ヲ 56°C 30 分加熱スルトキハ「ツベルクリン」親和性が失ハレルコトヲ第十四章ニ於テ記述シタ。56°C 30 分加熱スルトキ、補體ノ作用失ハレルコトハ成書ニ記述シテアル通りデアル。「ツベルクリン」親和作用ガ補體ヲ必要トスルナラバ、56°C 30 分加熱ニ依リ補體ノ作用ヲ消失セシメタ後、新鮮ナル補體ヲ加ヘタ場合ニ、「ツベルクリン」親和性が陽性トナラナケレバナラヌ理デアル。依テ結核海猿(人型F株結核菌1.0 疋感染後4 週間「ツ」皮内反應陽性)ノ皮膚竝ニ各臟器糜5.2 疋ニ補體0.5 疋、「ツ」0.3 疋混合シ、37°C 20 時間孵卵器ニ納メ、「ツ」親和性ノ有無ヲ實驗シタ。

第二項 實驗成績

第 77 表ニ 56°C 30 分加熱及ビ乾燥後補體ヲ加ヘタル結核海猿皮膚ノ「ツ」親和性ノ有無ヲ試驗セル實驗成績ガ記載サレテキル。同様ニ各臟器ニ就テモ實驗シテ見タガ皮膚ト同様ナ成績ヲ得タル故ソノ成績表ハ省略シタ。即チ結核海猿ノ皮膚及ビ各臟器ヲ 56°C 30 分加熱後或ヒハ乾燥後新鮮ナル補體ヲ加フルモ、「ツベルクリン」親和性ハ發現シナイノデアル。故ニ 56°C 30 分加熱或ハ乾燥スルトキハ、補體ノ作用ガ消滅シタ爲ニ「ツベルクリン」親和性が陰性トナツタノデハナク、親和性物質(組織性抗體)ガ破壊サレタ爲ニ親和性が消失シタノデアル。

第 77 表 56°C 30 分加熱及ビ乾燥後補體ヲ加ヘタル結核海猿皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	實驗時數(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗									
			R	I	皮内海猿反應番號	56°C 30 分加熱皮膚糜 + 補體			乾燥皮膚糜 + 補體			對照		
						R	I	成績	R	I	成績	R	I	
結核海猿	81 ♀	320	2.4 × 2.3	2.0 × 2.0	918	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	
					919	1.5 × 1.6	1.3 × 1.3	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	
					920	1.4 × 1.4	1.2 × 1.2	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	
..	82 ♀	350	2.0 × 2.0	1.6 × 1.6	921	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	—	1.3 × 1.4	1.1 × 1.2	—	1.4 × 1.4	1.1 × 1.1	
					922	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.6 × 1.6	1.4 × 1.4	—	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	
					923	1.8 × 1.8	1.5 × 1.5	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2	
..	83 ♀	370	2.8 × 2.5	2.2 × 2.2	924	1.5 × 1.5	1.3 × 1.3	—	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3	—	1.7 × 1.7	1.4 × 1.4	
					925	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0	—	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0	
					926	1.8 × 1.5	1.5 × 1.2	—	1.6 × 1.5	1.3 × 1.2	—	1.7 × 1.7	1.5 × 1.5	

第二節 補體ヲ加ヘタル「屠殺後 24 時間經過後結核海猿」及ビ「脱感作海猿」皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性

第一項 實驗記載

第五章及ビ第十三章ニ於テ脱感作海猿及ビ屠殺後 24 時間後ノ結核海猿皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ハ陰性デアルコトヲ記述シタ。

是等ノ海猿皮膚竝ニ各臟器ニ補體ヲ加ヘタル場合、「ツベルクリン」親和性が陽性トナルカ否カニ就テ實驗シタノデアル。即チ第五章ニ記載シテアル如キ脱感作結核海猿ト第十三章ニ記載シ

テアル如キ結核海狸皮膚竝ニ各臟器糜ニ一定ノ補體ヲ加ヘテ、「ツベルクリン」親和性ノ有無ヲ實驗シタノデアル。

第二項 實驗成績

屠殺後 24 時間經過後結核海狸及ビ脱感作海狸ノ皮膚乳劑ニ新鮮ナル補體ヲ加ヘ、「ツベルクリン」親和性が發現スルカ否カヲ見タ 實驗成績ハ第 78 表ニ記載サレテキルガ如ク、何レモ陰性ニ終ツテキル。各臟器ニ就テモ實驗シテ見タガ

同様に「ツ」親和性ハ認メラレナカツタ(表ハ省略)。即チ屠殺後 24 時間經過スルトキハ各組織ガ死滅スルト同時ニ、組織性抗體モ破壊サレル爲ニ、新鮮ナル補體ヲ加フルモ親和性ハ復活シナイモノト思ハレル。又脱感作結核海狸ハ補體ガ減少シタ爲ニ「ツ」親和性が陰性トナツタノデハナク、脱感作ニヨリ親和性物質即チ組織性抗體ガ消失シタ爲ニ、「ツ」親和性が發現シナイモノト思ハレルノデアル。

第 78 表 補體ヲ加ヘタル「屠殺後 24 時間經過後ノ結核海狸皮膚」及ビ「脱感作海狸皮膚」
「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

海狸種類	海狸番號	海狸實驗時體重(五)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗															
			R	I	皮内海狸屠殺後 24 時間經過後結核海狸皮膚+補體			脱感作結核海狸皮膚+補體			對照									
					R	I	成績	R	I	成績	R	I								
結核海狸	19♀	340	2.5	2.0	2.0	1.8	981	1.3	1.3	1.0	1.0	1.4	1.4	1.2	1.2	1.5	1.5	1.2	1.2	
							982	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3	1.6	1.6	1.3
脱感作結核海狸	84♀	360	—	—	—	—	983	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.2	1.0	1.0	1.3	1.3	1.0	1.0	
							984	1.8	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.5	1.5	1.4	1.4	1.2
結核海狸	20♀	320	3.0	3.0	2.7	2.7	985	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	1.2	1.2	
							986	1.2	1.2	1.3	1.0	1.0	1.0	1.3	1.4	1.1	1.2	1.0	1.0	0.8
脱感作結核海狸	85♀	310	—	—	—	—	987	1.7	1.5	1.5	1.2	1.2	1.6	1.7	1.3	1.4	1.7	1.7	1.5	1.5
							988	1.6	1.6	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.2	1.2	1.5	1.5	1.2	1.2
結核海狸	21♀	380	2.4	2.2	2.0	1.8	989	1.0	1.0	0.8	0.8	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	
							989	1.0	1.0	0.8	0.8	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	

第三節 補體ヲ加ヘタル結核「マウス」及ビ結核「ラッテ」皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性

第一項 實驗記載

結核菌ヲ接種セル「マウス」及ビ「ラッテ」ノ皮膚竝ニ各臟器ニハ、「ツベルクリン」親和性が見ラレヌコトハ、既ニ第十、第十一章ニ記載シテアル通デアル。カ、ル動物ニ新鮮ノ海狸補體ヲ加ヘタル場合、親和性が發現スルカ否カヲ實驗シテ見タ。即チ人型 F 株結核菌 2.0 疋皮下接種セル「マウス」及ビ 5.0 疋皮下接種セル「ラッテ」一就テ 1 ヶ月後、皮膚竝ニ各臟器糜ニ新鮮ナル海狸補體ヲ加ヘテ「ツベルクリン」親和性發現スルヤ否ヤヲ見タ。

第二項 實驗成績

第 79 表ニ補體ヲ加ヘタル結核「マウス」及ビ「ラッテ」皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績ガ記載サレテキル。各臟器ニ就テノ實驗成績モ皮膚ト同様に「ツ」親和性ハ見ラレナイノデアル(表省略)。即チ結核「マウス」及ビ「ラッテ」皮膚竝ニ各臟器ハ補體ヲ加ヘテモ「ツ」親和性ハ發現シナイノデアル。之ニ依レバ天然結核免疫動物ハ、結核ニ感染スルモ「ツベルクリン」ニ對スル組織性抗體ガ產生セザル爲ニ、「ツ」親和性が發現シナイモノト思

ハレル。從テ「ツベルクリン」皮内反應モ現ハレ ナイノデアル。

第 79 表 補體ヲ加ヘタル結核「マウス」及ビ「ラッテ」皮膚ノ「ツベルクリン」親和性有無實驗成績

動物種類	動物番號	性別	實驗時體重(瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應ニ依ル親和性試驗								
				R	I	皮海内反應番號	結核「マウス」皮膚+補體			結核「ラッテ」皮膚+補體			對 照	
							R	I	成績	R	I	成績	R	I
結核「マウス」	7♀	♀	15	—	—	1026	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.3×1.3	1.0×1.0
						1027	1.8×1.7	1.5×1.4	—	1.6×1.6	1.3×1.3	—	1.5×1.5	1.2×1.2
結核「ラッテ」	7♀	♀	230	—	—	1028	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.7×1.7	1.5×1.5	—	1.7×1.7	1.5×1.5
						1044	1.8×1.8	1.5×1.5	—	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.6×1.6	1.3×1.3
結核「マウス」	8♀	♀	15	—	—	1045	1.0×1.0	0.8×0.8	—	1.2×1.2	1.0×1.0	—	1.0×1.0	0.8×0.8
						1046	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.5×1.6	1.2×1.3	—	1.4×1.4	1.2×1.2
結核「ラッテ」	8♀	♀	250	—	—	1062	1.4×1.4	1.2×1.2	—	1.6×1.7	1.3×1.4	—	1.6×1.8	1.2×1.4
						1063	1.4×1.6	1.2×1.3	—	1.3×1.3	1.0×1.0	—	1.2×1.2	1.0×1.0
結核「ラッテ」	9♀	♀	240	—	—	1064	1.5×1.5	1.2×1.2	—	1.5×1.7	1.2×1.3	—	1.6×1.7	1.3×1.4

第四節 結核海狸皮膚竝ニ肝臟糜中補體有無實驗

第一節ヨリ第三節迄ノ實驗ニヨリ、補體ガ存在スルモ組織性抗體ナキトキハ、「ツベルクリン」親和作用ガ發現シナイコトガ判明シタ。依テ組織性抗體ガ存在スル場合、「ツベルクリン」親和作用ニ補體ガ關與スルカ否カヲ見ルコトニシタ。即チ「ツベルクリン」親和性陽性ナル結核海狸皮膚竝ニ肝臟乳劑中ニ補體ガ含有シテキルカ否カ、若シ存在スルトセバ「ツベルクリン」ヲ加ヘテ見タ場合、補體ガ減少スルカ否カヲ檢シテ「ツベルクリン」親和作用ニ補體ヲ必要トスルカ否カヲ推論スルコトトシタ。

第一項 實驗記載

人型F株結核菌1.0疋皮下接種後1ヶ月經過セル2頭ノ海狸ニ就テ「ツ」皮内反應ヲ檢シ、該海狸ノ皮膚竝ニ肝臟約0.5瓦ヲ切除シ、食鹽水ヲ以テ20倍ノ乳劑ヲ調製、直ニ遠心沈澱シ上清ヲ更ニ細菌濾過管ニテ濾過シ、濾液中ニ補體ガ含有スルカ否カヲ、溶血作用ニ依リ檢査スルコ

トニシタ。即チ溶血價10000倍ノ溶血素ノ3000倍液ヲ使用量トシ、ソノ0.5瓦、2.5%血球浮游液0.5瓦、食鹽水1.0瓦ヲ、濾液0.5瓦ニ加ヘ、37°C 2時間、一夜冷室ニ放置シタ後、溶血作用ガ起ルカ否カヲ見タノデアル。對照ニハ新鮮ナル20倍ノ補體0.5瓦加ヘテ、濾液自己ニ溶血阻止作用アルカ否カヲ檢査シタ。

第二項 實驗成績

第80表ガ本項ノ實驗成績デアル。即チ結核海狸ノ皮膚竝ニ肝臟乳劑中ニハ、溶血作用ヲ起スニ足ル補體ガ存在シテキナイコトガ判明シタ。猶乳劑濾液ハ溶血阻止作用ガ存在シナイ故、若シ少量ノ補體ガ存在シテキテモ溶血作用ハ現ハナケレバナラヌ理デアルガ事實ハ反對デアル。此ノ實驗成績ヨリ皮膚竝ニ肝臟ニ「ツベルクリン」ヲ加ヘテ、補體ガ減少スルカ否カノ實驗ハ不必要トナツタノデアル。

第五節 小 括

結核海狸皮膚竝ニ各臟器ヲ56°C 30分加熱セル時、屠殺後24時間經過セル結核海狸及ビ脫感

作海狸、又ハ結核「マウス」竝ニ「ラッテ」等ノ皮膚及ビ各臟器ニ補體ヲ加ヘテモ「ツベルクリン」

第80表 結核海猿皮膚竝ニ肝臟糜中補體有無實驗成績

海性 猿 番 號	實驗 時 體 重 (瓦)	10%舊「ツベルクリン」皮 内反應		結核海猿皮膚濾液								結核海猿肝臟濾液													
		R	I	1	2	3	4	對I	對II	對III	對IV	1	2	3	4	對I	對II	對III	對IV						
40 ♂	360	2.8	2.8	2.5	2.5	試驗管番號	1	2	3	4	對I	對II	對III	對IV	1	2	3	4	對I	對II	對III	對IV			
						濾液 1:1	0.5	0.4	0.3	0.2	0.5	—	—	—	0.5	0.4	0.3	0.2	0.5	—	—	—			
						食鹽水	1.0	1.1	1.2	1.3	0.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.1	1.2	1.3	0.5	1.5	1.5	2.0			
						溶血素3單位	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5	—	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5	—			
						2.5%血球液	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
						補體 1:20	—	—	—	—	0.5	0.5	—	—	—	—	—	—	0.5	0.5	—	—			
										37°C 2時間				37°C 2時間											
						結果(溶血)				—	—	—	—	卅	—	—	—	—	—	—	—	卅	—	—	—
						「ツベルクリン」 親和性				+				+											
						41 ♀	410	2.5	2.5	2.2	2.2	試驗管番號	1	2	3	4	對I	對II	對III	對IV	1	2	3	4	對I
濾液 1:1	0.5	0.4	0.3	0.2	0.5							—	—	—	0.5	0.4	0.3	0.2	0.5	—	—	—			
食鹽水	1.0	1.1	1.2	1.3	0.5							1.5	1.5	2.0	1.0	1.1	1.2	1.3	0.5	1.5	1.5	2.0			
溶血素3單位	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5							—	0.5	—	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5	—			
2.5%血球液	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5							0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
補體 1:20	—	—	—	—	0.5							0.5	—	—	—	—	—	—	0.5	0.5	—	—			
				37°C 2時間								37°C 2時間													
結果(溶血)				—	—							—	—	卅	—	—	—	—	—	—	—	卅	—	—	—
「ツベルクリン」 親和性				+								+													

備考 「ツベルクリン」親和性(+)トアルハ皮膚乳劑ノ意ナリ

親和性ハ陽性トナラナイ。「ツベルクリン」親和性陽性ノ結核海猿皮膚竝ニ肝臟乳劑ニハ溶血作用ヲ起スニ足ルダケノ補體ヲ含有シテキナイ。以上ノ事實カラ推論シテ「ツベルクリン」親和作用ニハ補體ガ關係シナイモノト云ヘルト思フ。又脫感作トハ各組織中ニ「ツベルクリン」ト親和

作用ヲ營ム物質(組織性抗體)ガ消失シタ狀態デアルトモ云ヘルノデア。天然結核免疫動物タル「マウス」、「ラット」等ニ「ツ・ア」ガナイノハ、結核菌ヲ接種スルモ體內組織ニ「ツベルクリン」ニ對スル組織性抗體ガ產生サレナイ爲デアラシイ。

第十六章 脫感作結核海猿血清中「ツベルクリン」親和作用阻止性抗體有無實驗

「アレルギー」疾患ニ脫感作療法ヲ行フ時ハ、患者血清中ニ一種ノ抗體ガ產生セラレ、此ノ抗體ハ「アレルギー」ト「レアギン」トノ抗元抗體反應ヲ阻止スル作用ガアルト説ク者ガアル。之ニ依レバ從來信ジラレテキタ脫感作又ハ除感作ノ定義ヲ訂正シナケレバナラナクナル。カ、ル實驗ヲ行ツタノハ Cooke, Barnard, Hebal, Stull⁽⁶⁹⁾

ノ諸氏デ、枯草熱患者ニ特異的脫感作療法ヲ行ヒ、ソノ血清ニ就テ Prausnitz-Küstner 氏反應ヲ應用シテ、治療機轉ニ關スル研究ノ結果次ノ如ク結論シテキルノデア。

1) 臨牀的ニ免疫處置ヲ爲シタ患者ノ血液又ハ血清ヲ無處置患者ニ注射スル時ハ、被働性免疫ニ依リ患者ノ症狀ハ輕快スル。

- 2) 患者血清中ノ「レアギン」ハ特異性脱感作ニ依リ變化スルモノデハナイ。
- 3) 「アレルギー」ト無處置患者血清トノ混合液、ヲ健康人ノ皮内ニ注射スルトキハ、1時間以内ニ直接反應ガ現ハレルガ、脱感作療法ヲ受ケタ患者血清ト「アレルギー」トノ混合液ヲ注射シタ場合ニハ無反應カ輕微ノ反應シカ現ハレナイ。
- 4) 「アレルギー」ト無處置患者血清トノ混合液ヲ正常人ノ皮内ニ注射後 48 時間後ニ、「アレルギー」ヲ再注射スルトキハ Prausnitz-Küstner 氏反應陰性デアルガ、處置患者血清ヲ用ヒタ場合ニハ陽性ニ現ハレル。
- 5) 此ノ處置患者血清ガ Prausnitz-Küstner 氏反應ヲ阻止スル現象ハ「アンチヒスタミン」作用デモナク、皮膚感作抗體トノ結合デモナク、又「アレルギー」トノ結合或ハ「アレルギー」ノ分解デモナイ。
- 6) Prausnitz-Küstner 氏反應ヲ阻止スル抗體ハ特異的ニ作用スル。
- 7) Prausnitz-Küstner 氏反應ヲ應用シテ行ツタ血清學的研究ニ依リ「アレルギー」ト「レアギン」トノ作用ヲ阻止スル特別ナ型ノ免疫抗體ガ發生スルコトガ判明シタ。故ニ「アレルギー」疾患ニハ「アレルギー」ト免疫作用トガ共存シテキ

ルコトヲ示スモノデアル。

又 Cohn and Nelson⁽⁷⁰⁾ハ「ブタ」草ノ花粉浸出液ヲ繰返シ注射セル 緬羊血清中一モ矢張り、Prausnitz-Küstner 氏反應ヲ阻止スル抗體ガ存在シテキルコトヲ報告シテキル。

結核ニ於テ「ツベルクリン」ヲ注射シタ患者血清中ニ「ツベルクリン」反應ヲ減弱セシメル「アンチクチン」アリト云フコトハ、既ニ緒言ニ於テ述ベテオイタガ、此ノ作用モ Cooke 等ノ實驗ヨリ推論スレバ、直接「ツベルクリン」ヲ中和セシメルノデハナク、血清中ニ特別ノ抗體ガ產生セラレ、此ノ抗體ガ「ツベルクリン」ト組織性抗體トノ反應ヲ阻止スルモノト考ヘテモ良イノデアル。

余ハ第五章ニ於テ脱感作結核海狸血清ニハ「ツベルクリン」ヲ中和スル物質ノ無イコトヲ述ベタ。即チ「アンチクチン」ノ如キ抗體ヲ證明スルコトガ出來ナカツタノデアル。依テ「ツベルクリン」親和作用ヲ阻止スルガ如キ物質ガ、脱感作海狸血清中ニ證明サレルヤ否ヤヲ實驗シテ見タ。第五章ノ實驗ハ生體內ニ於ケル實驗デアルガ本實驗ハ試験管内ニ於テ、「ツベルクリン」親和性が減弱サレルカ否カヲ見タ實驗デアル。

第一節 實驗記載

人型 F 株結核菌 1.0 疋皮下接種後 4 週間目ニ「ツベルクリン」皮内反應ヲ行ヒ、陽性ナルコトヲ確メタ後、50 倍「ツベルクリン」0.1 疋ヨリ始め、遞増的ニ隔日ニ注射シ 1 ヶ月後ニハ「ツベル

クリン」原液 0.5 疋ニモ無反應トナツタ 3 頭ノ脱感作海狸ノ血清ニ就テ、「ツベルクリン」親和作用阻止抗體ノ有無ヲ検査シタ。

第二節 實驗成績

第 81 表ガソノ實驗成績デアル。即チ結核海狸皮膚及ヒ肝臓乳糜ニ脱感作結核海狸血清ヲ加ヘテモ、「ツベルクリン」親和性ニハ何等ノ影響ヲ

與ヘナイコトガ譯ル。故ニ結核ニ於テハ脱感作スルモ血清中ニ「ツベルクリン」反應ヲ阻止スルガ如キ抗體ハ證明サレナイノデアル。

第三節 小 括

結核海狸ヲ脱感作スルモ、「ツ・ア」海狸ノ「ツベルクリン」親和性ヲ阻止スベキ特別ノ抗體ハ産

セラレス。

第 81 表 脱感作結核海猿血清中「ツベルクリン」親和作用阻止性抗體有無實驗成績

海猿種類	海猿番號	性	實驗時體重(瓦)	10% 舊「ツベルクリン」皮内反應		皮内反應 = 依ル親和性試驗						
				R	I	皮内反應番號	結核海猿皮膚糜 + 脱感作海猿血清 + 「ツベルクリン」		結核海猿肝糜 + 脱感作海猿血清 + 「ツベルクリン」		對 照	
							R	I	成績	R	I	成績
結核海猿	42 ♂	♂	320	2.5 × 2.5	2.3 × 2.3	1198	0.3 × 0.3	—	0.4 × 0.4	0.2 × 0.2	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
						1199	0.2 × 0.2	—	0.3 × 0.3	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2
脱感作結核海猿	93 ♂	♂	300	—	—	1200	0.3 × 0.3	—	0.3 × 0.3	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
結核海猿	43 ♂	♂	360	2.7 × 2.7	2.3 × 2.3	1201	0.3 × 0.3	—	0.2 × 0.2	—	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2
						1202	0.4 × 0.4	—	0.3 × 0.3	—	1.3 × 1.3	1.0 × 1.0
脱感作結核海猿	94 ♂	♂	340	—	—	1203	0.5 × 0.5	0.3 × 0.3	0.4 × 0.4	—	1.6 × 1.6	1.3 × 1.3
結核海猿	44 ♀	♀	400	2.3 × 2.3	2.0 × 2.0	1204	0.3 × 0.3	—	0.5 × 0.5	0.2 × 0.2	1.5 × 1.5	1.2 × 1.2
						1205	—	—	0.2 × 0.2	—	1.2 × 1.2	1.0 × 1.0
脱感作結核海猿	95 ♀	♀	370	—	—	1206	—	—	—	—	1.0 × 1.0	0.8 × 0.8

第十七章 總 括

以上ノ實驗成績ヲ總括スレバ第 82 表ノ如ク、結核海猿、BCG 接種海猿、流動「バラフィン」及ヒ加熱乾燥死菌皮下接種海猿等ノ如キ「ツベルクリン・アレルギー」陽性ノ海猿ノ血清ハ、「ツベルクリン」中和作用陰性デアルガ、皮膚竝ニ各臟器ノ「ツベルクリン」親和性ハ陽性デアル。

之ニ反シ脱感作海猿、陰性「アレルギー」海猿、健常海猿、健常及ヒ結核「マウス」竝ニ「ラッテ」ノ如キ「ツベルクリン・アレルギー」陰性動物ノ血清ニ於テハ「ツベルクリン」中和性無キモ、皮膚竝ニ各臟器組織ニ於ケル「ツベルクリン」親和性ハ全ク缺除シテキルノデアル。又「ツベルク

第 82 表

動物種類	10% 舊「ツベルクリン」	血清ノ	皮膚及ヒ各臟器ノ	皮膚及ヒ各臟器
	皮内反應	舊「ツベルクリン」中和性	舊「ツベルクリン」親和性	食鹽水浸出液ノ舊「ツベルクリン」中和性
結核海猿	+	—	+	—
BCG 接種海猿	+	—	+	/
非免疫性「ツベルクリン・アレルギー」海猿	+	—	+	/
非「アレルギー」性免疫海猿	—	—	—	/
脱感作結核海猿	—	—	—	/
陰性「アレルギー」海猿	—	—	—	/
非特异性「ツベルクリン・アレルギー」海猿	+	—	—	/
健常海猿	—	—	—	/
結核「マウス」	—	/	—	/
健常「マウス」	—	/	—	/
結核「ラッテ」	—	/	—	/
健常「ラッテ」	—	/	—	/

リン」親和性陽性ノ皮膚或ハ臓器組織ト雖モ、ソノ食鹽水浸出液ニハ「ツベルクリン」中和性ヲ認メナイノデアアル。

「ツベルクリン」有效因子デアアル Ha-物質、To-物質、Np-物質モ「ツベルクリン」同様、結核海猿皮膚或ハ各臓器ニ親和サレルコトハ第 83 表ニ記載シテアル通りデアアル。

「ツベルクリン・アレルギー」海猿ノ皮膚或ハ各

第 83 表 結核海猿ノ皮膚及ヒ各臓器ノ「ツベルクリン」有效因子親和性有無實驗成績

「ツベルクリン」 有效因子ノ種類	海猿種類	「ツベルクリン」 有效因子親和作用	
		皮膚	各臓器
Ha-物質	結核海猿	+	+
	健常海猿	-	-
To-物質	結核海猿	+	+
	健常海猿	-	-
Np-物質	結核海猿	+	+
	健常海猿	-	-

第 84 表

「ツベルクリン」親和性ニ 及ボス諸種影響		皮膚 「ツベルクリン」 親和性	各臓器 「ツベルクリン」 親和性
乾燥粉末		-	-
屠殺後ノ關係	屠殺後 1 時間	+	+
	2 ..	+	+
	3 ..	+	+
	4 ..	±	±
	5 ..	±	±
	6 ..	-	-
	7 ..	-	-
24 ..		-	-
作用熱並ニ作用時間	56°C 30 分 (「ツベルクリン」混合前)	-	-
	56°C 30 分 (「ツベルクリン」混合 37°20 時間後)	-	-
	0°C 1 時間 (「ツベルクリン」混合前)	-	-
	40°C 1 時間 (「ツベルクリン」混合前)	+	+
	42°C 1 時間 (「ツベルクリン」混合前)	+	+
	45°C 1 時間 (「ツベルクリン」混合前)	±	±
	50°C 1 時間 (「ツベルクリン」混合前)	-	-
	40°C 20 時間 (「ツベルクリン」混合後)	-	-

臓器ノ親和性ハ第 84 表ノ如ク、皮膚或ハ各臓器ヲ乾燥セル場合、屠殺後 6 時間以上経過セル時、56°C 30 分或ハ 50°C 1 時間加熱セル時、「ツベルクリン」ト臓器糜ヲ混合後 40°C 20 時間作用セル場合等ニ於テ消失スルノデアアル。

「ツベルクリン」親和性ト補體トノ關係ハ第 85 表ニ記載シテアル如ク、一旦消失セル「ツベルクリン」親和性ハ補體ヲ加フルモ復活シナイシ、「ツベルクリン」親和性ナキ結核「マウス」及ヒ「ラッテ」ノ臓器ニ補體ヲ加フルモ「ツベルクリン」親和性ハ發現シナイノデアアル。又「ツベルクリン」親和性陽性ナル皮膚或ハ臓器糜中ニハ溶血反應ヲ起スニ足ル補體ガ存在シナイノデアアル。

「ツベルクリン」ヲ頻回注射シテ脱感作シタル結核海猿血清中ニハ、「ツベルクリン」親和性ヲ阻止スルガ如キ物質ヲ證明スルコトハ出來ナイ。

第 85 表

「ツベルクリン」親和性ト補體トノ關係
「ツベルクリン」親和性陰性ノ動物ノ皮膚並ニ各臓器ニ補體ヲ加ヘタル場合「ツ」親和性發現ノ有無實驗成績

動物種類	生前 10% 「ツベルクリン」 皮内反應	皮膚並ニ各臓器ノ 「ツベルクリン」 親和作用
56°C 30 分加熱 + 補體 (結核海猿)	+	-
屠殺後 24 時間 + 補體 (結核海猿)	+	-
脱感作結核海猿 + 補體	-	-
結核「ラッテ」 + 補體	-	-
結核「マウス」 + 補體	-	-

結核海猿皮膚並ニ肝臓糜中補體有無實驗成績

結核海猿	生前「ツベルクリン」 皮内反應	「ツベルクリン」 親和性	補體
皮膚糜	+	+	-
肝臓糜	+	+	-

第十八章 考 按

「ツベルクリン・アレルギー」ト結核免疫ノ問題ハ現在盛ニ研究發表サレテキルガ、要スルニ「ツベルクリン」反應ノ本態ガ鮮明サレナイ爲ニ種々論議サレテキルノデアツテ、何レカ一方ガ確實ニサレ得ルナレバ自ラ明白ナルモノト思ハレル。「ツベルクリン」反應ノ本態ニ關シテハ R. Koch ガ「ツベルクリン」ヲ發見シテ以來多數ノ學者ニ依テ研究論議サレテキルノデアル。例ヘバ Wassermann u. Bruck⁷⁴⁾ハ側鎖説ニ依リ之ヲ説明シヨウトシ、「ツベルクリン」注射ニ依リ補體ト結合スル抗「ツベルクリン」ガ發生シ之ガ「ツベルクリン」ト配合シテ結核組織ニ炎症ヲ起スノデアルト述べ Wolff-Eisner⁷⁵⁾ハ Lysintheorie ヲ高調シ、「ツベルクリン」作用ハ如何ナル種類ヲ問ハズ、其ノ中ニ含有スル結核菌體或ハ菌體蛋白ノ作用ニ基因シ、ソノ菌體ノ生死ニ關係ナク何レモソノ刺戟的作用ハ皆蛋白ノ作用ニ外ナラズトシテ、該蛋白ノ刺戟ハ體內ニ於テ抗體ノ產生ヲ促シ、以テ菌或ハ菌體蛋白ノ融解性抗體ヲ發生スルモノデアルト述べ、既ニ存在セル抗體即チ「リジン」ハ新ニ「ツベルクリン」ノ形トシテ注入サレタル結核菌蛋白ヲ融解シ、茲ニ初メテ毒性ヲ現ハシ反應ヲ呈スルモノデアルト云ツテキル。南⁷⁶⁾ハ此ノ説ヲ支持シ、カ、ル抗體ハ網狀織内皮細胞系統ニ於テ產生サレルモノトナシ、「ツベルクリン」反應ノ本態ヲ之ヲ以テ説明シテキルノデアル。

然シ乍ラ「ツベルクリン」反應ハ抗原抗體反應デハナイト説イテキル者モアル。例ヘバ Selter⁷⁷⁾ハ結核臓器中ニ「ツベルクリン」ト結合スベキ抗體ヲ證明スルコトガ出來ヌカラ、「ツベルクリン」反應ハ抗原抗體反應ニ非ズトナシ、「ツベルクリン」ハ一ツノ刺戟物質トシテ作用スルモノデ、體內ニ於テ變化サレナイモノデアル。而モ「ツベルクリン」ハ 150°C ニ加熱スルモノノ作用ヲ失ハナイ。「ツベルクリン」ハ「アンチゲン」デハナク、免疫作用ヲ有シテキナイト述べテキル

ノデアル。Karl Zieler⁷⁵⁾モ「ツベルクリン」反應ハ狹義ニ於ケル抗體反應デナイト云ツテキル。「ツベルクリン」反應ノ特異性ニ關シテハ Selter u. Blumenberg⁷⁶⁾ハ非特異性反應デアルト云フテキルガ、Bessau⁷⁷⁾、Fernbach⁷⁸⁾、涌谷⁷⁹⁾、K. Zieler u. Hämel⁸⁰⁾等ハソノ特異性ヲ強調シテキルノデアル。今日ニ於テハ量的關係ヲ顧慮スルナラバ、「ツベルクリン」反應ノ特異的價値ハ一般ニ信ジラレテキルコトデアル。

「ツベルクリン・アレルギー」動物ノ體內ニ「ツベルクリン」ト結合スベキ一種ノ抗體ガ存在スルコトハ、既ニ緒言ニ於テ述べタ如ク多數ノ研究發表ガアルガ、血清内ニアルカ將又組織内ニアルカノ問題ニ關シテハ今日尙決定シテ居ラナイノデアル。余ハ「ツベルクリン・アレルギー」動物ノ血清中ニハカ、ル抗體ヲ證明スルコトガ出來ナカツタガ、皮膚竝ニ各臓器組織中ニハ明カニ「ツベルクリン」トハ特異的ニ結合スル抗體ヲ證明シタノデアル。即チ結核海猿、BCG 接種海猿、流動「パラフィン」竝ニ加熱乾燥死菌皮下注射海猿ノ皮膚及ビ各臓器組織中ニハ試験管内デ「ツベルクリン」ト結合スル抗體ガ存在シテキルガ、脱感作結核海猿、陰性「アレルギー」海猿、加熱乾燥死菌靜脈内注射海猿、健常及ビ結核「マウス」、「ラット」、健常海猿等ノ「ツ」皮内反應陰性ナル動物ニ於テハカ、ル事實ガ認めラレナイノデアル。又非特異的「ツ・ア」海猿ハ「ツ」皮内反應陽性ナルニ拘ハラズ、「ツ」親和性ハ證明サレナイコトハ、カ、ル動物ニ於ケル「ツ」反應ハ抗原抗體反應デハナク、單ニ皮膚ニ對シ刺戟物質トシテ作用スルコトヲ物語ツテキルノデアル。

以上ノ事實ハ「ツ」反應ト「ツ」親和性トガ密接ナル關係ニ立ツテキルコトヲ示スモノデ、免疫即チ抵抗力トハ何等ノ關係無キコトヲ示スモノデアル。

猶此ノ「ツベルクリン」親和性ハ熱ニ對シテ弱ク

56°C 30 分加熱ニヨリ陰性トナリ、屠殺後 6 時間以上経過スル時、組織ヲ乾燥スル際ニモ消失スルノデアル。カ、ル消失ノ原因ハ組織性抗體ガ破壊スル爲デアツテ補體ガ關係シテキルノデナイコトハ第十五章ニ於テ述ベタ通りデアル。臨牀上「ツベルクリン」反應ガ陰性トナル場合、例ヘバ麻疹、猩紅熱、腸「チフス」、急性肺炎ノ如キ熱性疾患ノ有熱期ニ一時的「アネルギー」ガ存在スルコトハ既ニ述ベタ通りデアルガ、カ、ル事實ハ「ツベルクリン」親和性が 40°C 20 時間ノ作用ニヨリ全ク陰性トナルコトヨリ考フレバ熱性疾患ノ有熱期 20 時間以上持続セル場合ニハ、体内ニ存在スル組織性抗體ガ破壊スル爲デアツテ、解熱後 2—3 日陰性期ガ存在スルハ新ニ抗體ガ產生スル迄ニ、一定ノ時日ヲ要スルコトヲ示スモノデアルト思フ。

陰性「アネルギー」ハ結核ガ重症トトツタ時ニ起ル現象デアルガ、之ハ体内ニ存在スル組織性抗體ガ、体内ニ產生セル「ツベルクリン」ニ依リ飽和サレ、新ニ外部ヨリ注入セラレタ「ツベルク

リン」ト結合スベキ抗體ガ存在セザル爲ニ起ル現象ト思ハレル。此ノコトハ結核動物ヲ脱感作セル陽性「アネルギー」ノ説明ニモナルト思フ。海狸ニ「ヒヨレスチリン」、「オリーブ油」、「ワゼリン」ノ合劑ヲ注射スルトキハ、非特異性「ツ・ア」ガ成立スルガ、カ、ル海狸ニ發現スル「ツ・ア」ハ抗原抗體反應デナイコトハ、第八章ニ於テ述ベタ通りデアル。即チ非特異性「ツ・ア」海狸ノ皮膚竝ニ各臟器ニハ「ツベルクリン」ト結合スル組織性抗體ガ證明サレタコトヨリ明白デアル。人間ニ於ケル「アレルギー」疾患ヲ脱感作スルトキハ、血清内ニ抗原抗體反應ヲ阻止スル處ノ抗體ガ產生サレルト説クモノガアルガ、結核動物ヲ脱感作セル場合ニハカ、ル抗體ハ證明スルコトガ出来ナイノデアル。

以上ノ實驗成績ヨリ「ツベルクリン」反應ハ、恰モ腸「チフス」ニ於ケル ヴェダール氏 反應ノ如ク診斷の價値ハアルガ、免疫即チ抵抗力ヲ意味スルモノデハナイノデアル。

第十九章 結 論

- 1) 「ツベルクリン・アレルギー」海狸ノ皮膚竝ニ各臟器組織ハ「ツベルクリン」或ハ「ツベルクリン」有效因子ノ親和性ヲ有スルモ、「ツベルクリン」反應陰性動物ニハ證明サレナイ。然シ非特異性「ツベルクリン・アレルギー」海狸ハ例外デアツテ、「ツベルクリン」反應陽性ニモ拘ハラズ皮膚及ビ各臟器組織ノ「ツベルクリン」親和性ハ陰性デアル。
- 2) 「ツベルクリン」反應陰性陽性トニ論ナク、血清ニハ「ツベルクリン」中和性ヲ認メナイ。
- 3) 「ツベルクリン」親和性抗體ハ乾燥、熱ニ對シテ抵抗力弱ク、又屠殺後 6 時間以上経過スルトキハ破壊サレル。
- 4) 「ツベルクリン」親和作用ハ補體ト無關係ニ發現スル。
- 5) 「ツベルクリン」反應ハ「ツベルクリン・アレルギー」動物体内ニ存在スル組織性抗體ト「ツベ

ルクリン」トガ結合スル際起ル抗原抗體反應デアルト思ハレル。

- 6) 何等カノ原因ニ依リ此ノ組織性抗體ガ消失スルトキハ「ツベルクリン」親和性ハ陰性トナル。例ヘバ陰性「アネルギー」ハ体内ニ產生セル「ツベルクリン」ニ依リ、脱感作ニヨル陽性「アネルギー」ハ注射サレタ「ツベルクリン」ニ依リ組織性抗體ガ中和サレタ状態デアリ、急性傳染病ノ發熱期ニ見ラレル一時的「アネルギー」ハ熱ニヨリ組織性抗體ガ破壊サレタ爲ニ起ルモノデア
- 7) . 此ノ抗體ハ組織細胞ニ鈎著シ、組織ノ食鹽水浸出液中ニハ遊出シナイ。
- 8) 「ツベルクリン」親和作用ハ結核免疫ト無關係デアル。
- 9) 從テ「ツベルクリン・アレルギー」ト結核免疫トハ不即不離ノ關係ニ立ツモノトハ思ハレナ

イ。

擱筆スルニ臨ミ終始御懇篤ナル御指導及ヒ絶エザル御鞭撻竝ニ御校閲ノ勞ヲ賜ハリタル恩師戸

田教授ニ對シ滿腔ノ謝意ヲ捧ゲ、尙本實驗ニ種々御援助下サレシ同僚村田、若菜兩學士ニ對シ感謝ス。

文 獻

1) W. Jadassohn; Arch. f. Dermat. u. Syphilis. Bd. 156, S. 690, 1928. 2) Engwer, Berl. Klin. W. 58 Jg. S. 803, 1921. 3) 三澤敬義, 日本内科学會雜誌. 第25卷. 133頁. 昭和12年. 4) E. Löwenstein u. M. Pickert, D. M. W. Bd. 34, S. 2262, 1908. 5) J. Citron, Berl. Klin. W. 46 Jag. II, S. 2288, 1909. 6) Bing u. Ellermann, Mitteilungen aus d. Gesichtsk. Med. Institute I, Kopenhagen 1912. 7) F. Hamburger u. R. Monti, Beitr. Klin. Tbk. 16 Bd. S. 271, 1910. 8) W. C. White u. D. A. L. Graham, J. of Med. Research: Vol. 20, p. 67, 1909. 9) W. Jadassohn, Klin. W. Bd. 20, S. 913, 1920. 10) W. Jadassohn u. H. Martenstein, Klin. W. Bd. 23, S. 1210, 1923. 11) Römer u. v. Hofe, Münch. Med. W. 70 Jahrg. S. 1014, 1923. 12) 吉澤惟雄, 實驗醫學雜誌. 第7卷. 大正12年. 13) 貴島定和, 結核. 第8卷. 1450頁. 昭和5年. 14) 本間英史, a) 結核. 第6卷. 550頁. 昭和3年. b) 結核. 第9卷. 791頁. 昭和6年. 15) F. Ebersson, Jour. Amer. Med. Assoc. Vol. 90, p. 260, 1928. 16) F. Ebersson u. M. A. Sweeney, Jour. Immunol. Vol. 20, p. 395, 1931. 17) Arnold Kirch u. Béla Spigiti, Beitr. Klin. Tbk. Bd. 45, S. 325, 1920. 18) J. Sörgo, a) D. M. W. 37 Jahrg. S. 1015, 1911. b) Wien. Kl. W. 26 Jg. II. S. 1837, 1924. 19) H. Moral u. S. Sarbadhikary, D. M. W. 50 Jahrg. S. 1408, 1924. 20) M. Schlegel, D. M. W. 50 Jahrg. S. 1446, 1924. 21) H. J. Corper u. C. B. Vidal, Amer. Rev. Tbc. Vol. 37, p. 238, 1938. 22) B. Fellner, Wien. Klin. W. 32 Jag. S. 936, 1919. 23) H. Martenstein u. B. Schapiro, D. M. W. 49 Jahrg. S. 947, 1923. 24) W. Jadassohn, Klin. W. 2 Jg. S. 913, 1923. 25) F. Klempner u. S. Peschic, D. M. W. 49 Jahrg. S. 403, 1923. 26) E. Hoke u. A. Lang, Zschr. f. Tbk. Bd. 39, S. 352, 1924. 27) G. Bessou u. O. Köhler, Jb. f. Kindhlk. Bd. 105, S. 39, 1924. 28) E. Brieger u. W. Landau, D. M. W. 51 Jahrg. I, S. 735, 1925. 29) H. Königfeld, Zbl. f. Bakt. Bd. 106, S. 111, 1928. 30) 工藤(友), 結核=於ケル「アレルギー」ノ本態竝ニ免疫トノ關係ニ關スル研究. (第一報). (結核. 第16卷). 31) Herbert Koch, Wien. Klin. W. 41 Jg. I, S. 481, 1928.

32) V. Hayek, Das tuberkulöse Problem, 1923. 33) E. Urbach; Kl. u. Ther. d. Allerg. Kht. S. 17, 1935. 34) O. Naegeli, Münch. Med. W. 76 Jahrg. I, S. 782, 1929. 35) H. Lehmann-Facius; Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 51, S. 520, 1927. 36) J. D. Pilcher, Amer. Rev. Tbc. Vol. 21, p. 669, 1930. 37) 小林諒雄, 結核. 第9卷. 1123頁. 昭和6年. 38) E. Küster u. M. Maschmann, a) D. M. W. 57 Jahrg. S. 1497, 1931. b) Hope Seyler, Bd. 193, S. 10, 1930. 39) 糟谷伊佐久, 東京醫誌. 2946號. 9頁. 昭和10年. 2967號. 13頁. 昭和11年. 2971號. 41頁. 昭和11年. 2973號. 25頁. 昭和11年. 2989號. 7頁. 昭和11年. 40) V. Pirquet, D. M. W. Bd. 34, S. 1297, 1908. 41) Preisch, Zit nach Pirquet. 42) Fr. Rolly, Münch. Med. W. 57 Jahrg. II, S. 2275, 1910. 43) W. J. Moltschanoff, Jahrb. Kinderheilk. Bd. 75, S. 435, 1912. 44) Er. Schiff, Mschr. Kinderheilk. Bd. 14, S. 567, 1918. 45) M. Berliner, D. M. W. 45 Jahrg. I, S. 228, 1919. 46) H. Krannhals, Münch. M. W. 57 Jahrg. S. 836, 1910. 47) 高須正末, 日本傳染病學會雜誌. 昭和6年2月. 48) 大住, 山大路, 診斷ト治療. 第18卷. 第7號. 今村氏ニヨル. 49) G. Mitchel, W. E. Nelson u. Th. Leblanc, Amer. Jour. of Child, Vol. 49, p. 695, 1935. 50) Nothmann, Arch. f. Kinderheilk. Bd. 53, S. 146, 1910. 51) 坂本, 唐澤, 結核. 第12卷. 1頁. 昭和9年. 52) A. Schütze u. R. Scheller, Zschr. f. Hyg. Bd. 36, S. 459, 1901. 53) J. G. Sleeswijk, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 2, S. 133, 1909. 54) R. Dörr u. K. Russ, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 3, S. 181, 1909. 55) E. Friedberger u. O. Hartoch, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 3, S. 581, 1909. 56) O. Hartoch u. N. Sirenskij, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 12, S. 85, 1912. 57) B. Paul u. H. Popper, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 82, S. 25, 1934. 58) E. Löwenstein, Kl. u. Therp. d. Allergischenkht. Urbach, 1935. 59) E. Friedberger, O. Hartoch, Berl. Kl. W. 46 Jag. II, S. 1647, 1909. 60) 徳永百太郎, 醫學中央雜誌. 427號, 434號, 445號, 447號, 464號. 大正13年. 大正15年. 61) W. H. Veil u. B. Buchholz, Klin. W. XI, Jg. II, S. 2019, 1932. 62) P. Schnabel, Med. Klin. 28 Jg. S. 714, 1933.

- 63) 稻野實, 千葉醫學雜誌. 第 12 卷. 第 10 號. 昭和 9 年. 64) B. Paul u. M. Pély, a) Klin W. 14 Jahg. S. 163, 1935. b) Ref. Zbl. f. H. Bd. 49, S. 668, 1935. 65) F. Deutsch u. E. Weiss, Med. Kl. 29 Jahrg, II, S. 1402, 1933. 66) 杉原仁彦, 東京醫學會雜誌. 第 47 卷. 646 頁. 昭和 8 年. 67) 柞原貞夫, 日本內科學會雜誌. 第 24 卷. 279 頁. 昭和 11 年. 68) E. Löwenstein, Vorlesungen über Tbk. S. 309, 1920. 69) R. A. Cooke, J. H. Barnard, S. Hebald u. A. Stull, J. Exp. Med. Vol. 62, p. 733, 1935. 70) M. B. Cohen u. T. Nelson, J. Immunol. Vol. 34, p. 63, 1938. 71) A. Wassermann u. C. Bruck, D. M. W. 32 Jahrg. S. 449, 1906. 72) A. Wolff-
- Eisner, Hdb. d. Serum u. Chemoth. 1931. 73) 南廣憲, 結核. 第 3 卷. 867 頁. 大正 14 年. 74) H. Selter, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 32, S. 325, 1921. 75) K. Zieler, Zschr. f. Immunitätsf. Bd. 34, S. 240, 1922. 76) H. Selter u. W. Blumenberg, Beitr. Kl. Tbk. Bd. 66, H. 1/2, 1927. 77) G. Bessau, a) Jahrb. d. Kinderh. Bd. 81, 1915. b) Berl. Kl. W. 53 Jg. S. 801, 1916. 78) H. Fernbach, D. M. W. 51 Jahrg. II, S. 1983, 1925. 79) 涌谷重治, 結核. 第 5 卷. 1195 頁. 昭和 2 年. 80) K. Zieler u. J. Hämel, Beitr. Kl. Tbk. Bd. 70, H. 4-5, 1928. 81) 村田正夫, 結核. 第 16 卷. 692 頁. 昭和 13 年.